

参考資料

(犯罪報道分析シート)

参考資料

(犯罪報道分析シート)

犯罪報道分析シート

福岡3女性殺害事件(2004年)

新聞 毎日(朝刊→朝、夕刊→夕)

No.	日付	紙面	プライバシー										コメント	その他				
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族		識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他		
1	1/19/05	朝	○	○	○													右脇腹複数か所刺され失血死。
2	1/19/05	朝	○	○	○													18日の午前4~6時に死亡。着衣が乱れ所持品がなかった。
3	1/19/05	夕	○	○	○	○		○	○		○							遺体があった公園はいつもの通勤ルートだった。
4	1/20/05	朝	○	○	○			○										現場近くに不審な白いワゴンが止まっていた。待ち伏せの可能性。
5	1/20/05	夕	○	○	○			○			○							被害者の葬儀には約200人が殺到。
6	3/8/05	夕	○	○	○													福島さんの携帯を持っていた男を発見し、身柄を確保。
7	3/8/05	夕	○	○	○													携帯を持ち去った男を逮捕した。
8	3/9/05	朝	○	○	○			○										犯人の自宅から別の物証も押収された。
9	3/9/05	朝	○	○	○													男は携帯を「拾った」と供述。
10	3/9/05	朝	○	○	○													男が自宅から福岡市に向かい、襲った後に所持品を満ち去った疑い。
11	3/10/05	夕	○	○	○													福島さんを殺害した男を強盗殺人で再逮捕。殺害を認めた。
12	3/10/05	夕	○	○	○			○			○	○						容疑者逮捕のカギは携帯電話の発信記録の特性だった。
																		奈良の小学1年女児誘拐殺人事件でも携帯より容疑者を見つけた。
13	3/11/05	朝	○	○	○			○										福島さん以外に殺された2人の所持品が男宅から見つかった。
14	3/11/05	朝	○	○	○			○										
15	3/11/05	朝	○	○	○			○				○	○					人気のないところで1人歩きの女性が狙われている。
16	3/11/05	朝						○					○	○				奈良の女児誘拐殺人事件
																		奈良の女児誘拐殺人事件
																		容疑者は昨年相次いで事故を起こしていた。
17	3/11/05	夕	○	○	○													ほかの女性と刺し傷が酷似。久保田さんと現場のDNAが一致。
18	3/11/05	夕	○	○	○			○			○							犯人は飯塚市と北九州市に土地勤が会った。
19	3/11/05	夕	○	○	○													DNAで犯人と凶器の特定を行う。
20	3/12/05	朝	○	○	○													犯人と凶器のDNAが一致。ほか2人の殺害も認めた。
21	3/12/05	朝	○	○	○													
22	3/12/05	朝	○	○	○	○	○					○	○	○				3女性それぞれの親族・近所と識者のコメントあり。
23	3/12/05	夕		○	○													犯人「乱暴目的で襲った」と供述。
24	3/12/05	夕		○	○									○				わいせつ犯罪が近年全国的に増えている。
25	3/13/05	朝	○	○	○													携帯は発信記録から身元を明らかにするため継続して使わせていた。
																		奈良の小1女児誘拐殺人事件
26	3/14/05	夕		○	○													犯人は通常必要ない配送ルートで2回15分ほど停車していた。
27	3/15/05	夕		○	○													DNA鑑定でDNAが一致。ほかの2人も殺害したと供述。
28	3/16/05	地方	○	○	○			○			○							大学の友人らが福島さんに寄せ書き。ビデオメールも企画。
29	3/17/05	朝		○	○													犯人は殺害を否定。強盗も一部否認した。
30	3/19/05	朝		○	○													自宅から3人の遺品があり、DNAも一致。
31	3/22/05	夕		○	○													3女性の遺品を「戦利品や記念品にならと思った。」と供述。
32	3/23/05	朝		○	○													
33	3/23/05	夕		○	○													福岡県警は実況見分を行った。
34	3/24/05	夕		○	○													犯人を立ち合わせ実況見分を行った。
35	3/26/05	朝		○	○													犯人「どう行動したのか記憶にない」とはなしたことがわかった。

	日付	紙面	プライバシー										コメント		性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他		
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	関連・問題提起・提案・その他				
36	4/1/05	朝		○	○													福岡地検犯人を地裁に起訴した。
37	4/4/05	朝	○	○	○													福岡県警は犯人を再逮捕した。
38	4/23/05	朝		○	○													県警は週明けにも再逮捕する方針。
39	4/25/05	朝		○	○													福岡地検は別の強盗殺人罪で追起訴した。(パート店員殺害)
40	4/27/05	朝	○	○	○	○												久保田さん殺害で犯人を再逮捕した。
41	5/11/05	夕		○	○													専門大生殺害で犯人を立ち合わせ実況見分を行った。
42	5/18/05	朝	○	○	○													犯人を追起訴した。3人殺害を認める供述もあり。
43	6/22/05	夕	○	○	○													初公判が行われ福岡と北九州の2事件が審理入りした。
44	6/23/05	朝	○	○	○													
45	7/10/05	朝		○	○													福岡空港で若い女性が襲われる事件。
46	7/12/05	朝										○		○				現場近くで働く女性は来るまで自宅まで送り迎え。
47	7/20/05	夕	○	○	○													男は強盗傷害など7事件に関与。
48	9/6/05	朝																遺族の調書を読んで被告は事件の重大さに気づく。
49	11/18/05	朝																被告は「強盗目的なかった」と一部否認したが殺意認めた。
50	1/27/06	朝													○			被告は「強盗目的なかった」と一部否認したが殺意認めた。
51	3/10/06	朝	○	○														被告「警察のごりおしで供述変えさせられ否定しても聞いてくれなかった」
52	3/30/06	夕	○	○			○	○										公判で被告を諭す場面があった。
53	4/28/06	朝																残された遺族の気持ちやコメントあり。
54	6/29/06	夕																福島さんの生前の性格や夢などについて記載。
55	6/29/06	夕	○	○				○										被告が告発文を郵送していた。
56	6/29/06	夕	○	○	○													検察側は死刑を求刑。
57	9/8/06	朝																久保田さんの生前の性格や夢などについて記載。
58	11/12/06	朝	○	○				○										検察側は死刑を求刑。9月7日に結審。
59	11/13/06	夕	○	○	○													弁護側は更正の可能性をみて死刑回避を求めた。
60	11/14/06	朝	○	○	○													福島さんの生前について父親のコメント。
61	11/14/06	朝		○														福岡地裁は求刑どうり死刑を言い渡した。
62	11/14/06	朝		○	○													反省は不十分で更正について悲観的。
63	11/14/06	朝	○	○				○							○	○		福岡地裁判決の要旨を記載。
64	11/21/06	朝																
65	11/21/06	夕																3人の遺族のコメントと識者のコメントを記載。
66	7/11/07	朝	○	○	○													被告は死刑を控訴(1審)
67	2/7/08	夕	○	○	○													控訴審で被告側は精神・情状鑑定を要求した。
68	2/8/08	朝																福岡高裁は被告の控訴を棄却した。精神鑑定も却下していた。
69	2/22/08	朝																高裁は被告の控訴を棄却。「一審判決の死刑はやむを得ない」と裁判長
																		高裁判決を不服とし、最高裁に上告した。

犯罪報道分析シート

福岡3女性殺害事件(2004年)

新聞 読売(朝刊→朝、夕刊→夕)

	日付	紙面	プライバシー										コメント	性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他			
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族			識者	関連・問題提起・提案・その他		
1	3/10/05	夕	○	○	○	○	○											福島さんは福岡空港で働いていた。
2	3/10/05	夕	○	○	○	○	○											金目的の連続強盗殺人として捜査。
3	3/10/05	夕	○	○	○			○	○			○	○					遺族や知人からのコメントあり。
4	3/11/05	朝	○	○	○	○			○									出身小学校などの経歴も記載。
5	3/11/05	朝																地域の防犯意識を高める。警官の増員やパトロールの強化。
6	3/11/05	朝	○	○	○							○	○					遺族や知人・近所からのコメントあり。
7	3/11/05	夕	○	○	○													容疑者は福島さんの携帯を使って出会い系サイトに接続。
8	3/12/05	朝	○	○	○													腹を包丁で刺した後金品を奪った。
9	3/12/05	朝	○	○	○													
10	3/12/05	朝	○	○	○													警察は包丁の血液でDNA鑑定を進めていく。
11	3/12/05	夕	○	○	○													犯人は歩行中の福島さんをトラックを道脇に止めて後を付けて犯行
12	3/12/05	夕	○	○	○	○												
13	3/13/05	朝	○	○	○	○												40分間で福島さんを殺害・逃走した。
14	3/14/05	夕	○	○	○	○												被害者は顔に傷などあり、激しく抵抗した跡があった。
15	3/15/05	朝	○	○	○	○												容疑者、上司に「明日は一人で運送させてくれ」とたのんでいた。
16	3/18/05	朝	○	○	○	○												容疑者はほかの殺害した女性の鍵も持っていた。
17	3/19/05	朝	○	○	○	○												容疑者同行で実況見分を行った。
18	3/23/05	夕	○	○	○	○						○						
19	3/26/05	夕			○													容疑者「3人とも殺意なかった」と供述
20	4/1/05	朝	○	○	○	○												容疑者を福岡地裁に起訴
21	4/4/05	朝	○	○	○	○												容疑者を大中さん殺害で再逮捕した
22	4/4/05	朝	○	○	○	○												
23	4/4/05	夕	○	○	○													容疑者「一人歩きの若い女性を狙っていた」と供述
24	4/5/05	夕	○	○	○													容疑者を福岡地検に送検した
25	4/18/05	朝	○	○	○													容疑者を同行し、南方の公園で実況見分を行った
26	4/25/05	朝	○	○	○	○												容疑者を銃刀法違反で地裁に追起訴した。
27	4/27/05	朝	○	○	○													久保田さん殺害で容疑者を逮捕。
28	4/27/05	朝	○	○	○													
29	4/28/05	朝	○	○	○													被告を福岡地検に送検した。
30	5/18/05	朝	○	○	○													被告を地検に追起訴した。
31	5/18/05	朝	○	○	○	○												
32	6/22/05	夕	○	○	○													初公判が22日、地裁で開かれた。
33	6/22/05	夕	○	○	○	○												被告「殺意はなかった」と公判で供述。
34	6/22/05	夕	○	○	○								○					被害者3人の遺族からのコメントあり。
35	6/23/05	朝	○	○	○	○												公判で検察側は遺族の供述調書の朗読に多くの時間を割いた。
36	7/20/05	夕	○	○	○	○												久保田さんの殺害で第2回目の公判が行われた。
37	9/6/05	朝																第3回公判で弁護側は被告の供述調書の大半を不同意とした。
38	11/18/05	朝	○	○	○													第5回公判が行われた。飯塚市の事件以外は殺意を否認。

	日付	紙面	プライバシー										コメント	性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他		
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者		関連・問題提起・提案・その他		
39	1/27/06	朝															第7回公判で裁判長は被告を厳しく諭した。
40	3/10/06	朝	○	○									○				公判で遺族は悲痛な心情を訴える場面もあった。
41	4/28/06	朝															被告は警察に告発文を送っていたことが明らかになった。
42	6/29/06	夕															論告求刑公判で検察は死刑を求刑。
43	6/29/06	夕	○	○	○												
44	6/29/06	夕	○														論告求刑で遺族は被告に怒りをあらわにした。今回で公判10回目。
45	6/30/06	朝	○														9月7日に弁護側の最終弁論があり、結審する。
46	9/8/06	朝	○	○	○												最終弁論では弁護側は殺意をすべて否認していた。
47	11/12/06	朝	○	○	○												被告は死刑回避を求め殺意を争っている。
48	11/13/06	夕	○	○									○				死刑判決が出された。(13日、福岡地裁)
49	11/13/06	夕	○	○	○												
50	11/13/06	夕	○	○	○												求刑どおり死刑判決。容疑者「控訴については考えさせてほしい」と供述。
51	11/14/06	朝	○	○													3女性連続殺人の地裁判決要旨を記載。
52	11/21/06	朝	○	○	○												被告は判決を不服とし、高裁に控訴した。
53	7/10/07	朝	○	○	○												被告の控訴審初公判が行われた。弁護側は心神喪失が心神耗弱を主張。
54	7/11/07	朝															弁護側は被告の精神鑑定を申請した。
55	11/7/07	朝															控訴審第3回公判で裁判長は被告の精神鑑定を却下し結審した。
56	2/7/08	夕	○	○	○												鈴木被告の控訴を棄却した。精神鑑定も裁判長は却下した。
57	2/7/08	夕	○	○	○												同上
58	2/8/08	朝	○	○	○												同上
59	2/22/08	夕						○	○								被告は判決を不服とし、20日付最高裁に上告した。
60	12/13/08	朝	○	○													久保田さんの遺族の意見陳述のコメントを記載。
61	12/24/08	朝	○	○				○	○								久保田さんの妹のコメントや活動を記載。奈々さんへの歌を歌っている。

犯罪報道分析シート 福岡3女性殺害事件(2004年)

新聞 西日本(朝刊→朝、夕刊→夕)

No.	日付	紙面	プライバシー								コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他	
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者		関連・問題提起・提案・その他	
1	12/13/04	夕						○							遺体の女性は20歳前後とみられる。	現場公園付近の住民のコメント
2	12/14/04	朝	○	○	○		○			○						現場近くの伊岐須小学校は集団登下校
3	12/14/04	夕	○	○	○	○		○	○						生徒に単独行動や夜間の外出を控えるよう注意を呼びかけたいとしている	
4	12/29/04	朝	○	○	○											
5	12/29/04	朝	○	○	○											
6	1/1/05	朝	○	○	○	○				○	○					
7	1/18/05	夕													遺体の女性は20~30歳くらい。	第一発見者の女性のコメント
8	1/18/05	夕						○		○	○				遺体の女性は20代とみられる。	現場~隣の保育所に保護者からの問い合わせ 公園に隣接する運動場に園児は出さない
															現場付近の主婦・保育所長・市保育課職員	
9	1/19/05	朝	○	○	○	○			○	○					被害者の知人男性「きちょうめんな性格の人だった。夜中に遊び歩くような人ではなかった」	
10	1/19/05	夕	○	○	○	○		現場		○						地元小学校などは集団登下校の検討
															現場近くの主婦・保育所に幼児を預けにきていた保護者	
11	1/20/05	朝	○	○	○	○				○	○				現場近くの団地付近で前年の6月に帰宅途中の20代女性が背後から近づいてきた軽乗用車の中年の男に無理やり車に乗せて連れ去られそうになる事件が発生していた	
12	1/21/05	朝	○	○	○	○	○	出棺	○		○	○				
13	1/21/05	夕	○	○	○	○									現場近くで痴漢事件。県警、似顔絵を公開。前年6月にも女性が軽自動車に無理やり乗せられそうになる事件が発生。	
14	1/28/05	朝		○	○											コラム「ほばしら」の記事
15	1/29/05	朝		○	○										飯塚市伊川の食品メーカーの駐車場で、帰宅中の女性従業員が襲われて首を絞められるなどの事件が18日と25日の夜に相次いで起きていた。いずれも逃げて無事だった。12月13日に専門学校生女性(当時18)の遺体が見つかった公園から1キロほどの距離。	いずれの駐車場にも街灯が設置されているが、夕方以降は人通りが少ない
16	1/31/05	夕		○	○										事件後門司税関福岡空港税関支署の「職員の出勤への不安の声がある」との要請を受けて同署は27日に官公庁職員に防犯教室を実施。実演訓練も実施。	
17	2/1/05	朝	○	○	○	○									殺害現場付近で情報提供を呼びかける捜査員	県警、情報提供を呼びかけるピラを配布した
18	2/1/05	朝	○	○	○	○										
19	2/7/05	朝	○	○	○	○				情報提供の看板	○				同僚の1人「仕事もきちんとこなすまじめな女性。なぜ殺されなければならないのか」	
20	2/28/05	朝		○	○											
21	3/8/05	夕	○	○	○	○										被害者の携帯電話を所持していた男を逮捕
22	3/8/05	夕	○	○	○										被害者の携帯電話からは主にアダルトサイトにアクセス	
23	3/9/05	朝	○	○	○											
24	3/9/05	夕		○	○											
25	3/10/05	朝		○	○										ブルーシートで囲われたワゴン車を調べる捜査員ら	
26	3/10/05	夕	○	○	○	○									容疑者の顔写真	
27	3/10/05	夕														容疑者の経歴や周囲の人の声など
28	3/10/05	夕	○	○	○		○	○		○	○				客室乗務員を目指して英語の勉強を続けていた。物証になったヘッドホンステレオの内容は英会話の教材だった。「頑張り屋の証」が物証となった。	
															事件現場の献花	
29	3/11/05	朝	○	○	○	○									容疑者が女性3人を殺害したと供述	

	日付	紙面	プライバシー								コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他	
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者		関連・問題提起・提案・その他	
64	5/18/05	朝	○	○	○											
65	5/18/05	朝	○	○	○	○		現場	○	○	○	○				被害者それぞれの生活や人柄についてなど
66	6/20/05	朝														被告の初公判
67	6/22/05	夕	○	○	○											
68	6/22/05	夕	○	○	○								○			
69	6/22/05	夕		○	○											
70	6/25/05	夕											護身術の指導を受ける記者	警察官から護身術を教わる。防犯グッズの売り上げについてなど。		特集記事「pint」
71	7/20/05	夕	○	○	○											被害者の父親や友人の調書からの引用
72	8/3/05	朝	○													被害者の通っていた専門学校生が歯科技工コンテストで最優秀賞だったという記事
73	9/6/05	朝														被害者についての記述特になし
74	11/18/05	朝														被害者についての記述特になし
75	12/14/05	朝	○	○	○							○	公園が危険個所であるとの指摘は一般論。一周忌の夜、木々は伐採され街灯がともっていたが、どうして犠牲がでるまで放置してきたのか		現場の公園に花を植えた主婦(62)コメント	
76	12/14/05	朝	○	○	○							○				
77	12/28/05	朝														2005年福岡の10大ニュースとして
78	12/28/05	朝											写真説明/飯塚市の専門学校生が殺害された公園で行なわれた現場検証			被害者についての記述特になし
79	3/10/06	朝	○	○	○								被告の顔写真、福島さんの殺害現場となった公園に植えられた桜			被害者の親族による意見陳述の様子
80	4/28/06	朝														被害者についての記述特になし
81	6/26/06	朝														「今週の予定」欄。29日に論告求刑(福岡地裁)
82	6/29/06	夕	○	○	○								被告の顔写真			検察「更正の余地ない」死刑を求刑
83	6/29/06	夕	○	○	○											被害者久保田さんの手記に触れ声をつまらせ涙を流す検察官
84	9/8/06	朝		○	○											被告、強盗殺人罪でなく障害致死罪の適用求め
85	11/12/06	朝														「今週の予定」欄。13日に判決(福岡地裁)
86	11/13/06	夕	○	○	○								被告の顔写真			地裁、求刑通りの死刑判決。次席検事の話
87	11/14/06	夕	○	○												謝罪のない被告に怒りを感じる遺族のコメント
88	11/14/06	朝														福岡三女性殺害の判決要旨
89	11/14/06	朝	○	○									被害者の写真や似顔絵	○		久保田さんの母親が記者に宛てて書いた手紙
90	11/21/06	朝														死刑判決を不服として被告が福岡高裁に控訴
91	12/3/06	朝	○													福島さん両親が花を供えた方々にお礼の言葉
92	7/11/07	朝		○	○											控訴審で被告の精神鑑定を申請
93	11/7/07	朝		○	○											福岡高裁での遺族の意見陳述より引用

犯罪報道分析シート

舞鶴女子高校生殺害事件(2008年)

新聞 朝日(朝刊→朝、夕刊→夕) 大阪(地方版・京都) 東京 名古屋

No.	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他		
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族			識者	関連・問題提起・提案・その他
1	5/9/08	朝	○	○	○	○			○	○				女性の遺体/着衣なく/女子生徒	深夜に警察に保護されていた	
2	5/9/08	朝京	○	○	○			現場	○		○			男子生徒「夜に出歩いて事件に巻き込まれるような子ではない」 別の男子生徒「小柄でおとなしく、控えめな感じがする子」	女子生徒が巻き込まれた愛知豊田市の事件 コメント複数	
3	5/9/08	夕	○	○	○			2枚	○		○			テレビで事件を知った中学女子「夜は歩くのが怖い」 近所の女性「若い子やし、本当になんかわんね」	高校の女子生徒たちの後ろ姿写真 花束を供えてくれるように頼む女性写真	
4	5/9/08	朝	○	○	○	写真	○	○	○	○	母			女子生徒/『なぜ娘が』母親が手記/『何の落ち度もない娘』 『かわいく写っている写真を使っていたら〜』	学校「守れず悔しい」/行動と事件の経緯 校長コメント「行き先や帰宅時間を告げるように」	
5	5/9/08	夕東	○	○	○	地図			○					『現場付近 若い男女の声』/衣服や靴を脱がされた後に暴行	地図	
6	5/9/08	朝東	○	○	○	地図	○	○	○	○	母			『高1女子と確認』/女性の遺体/着衣はなかった 母親が手記、写真「かわいく撮れている」 中学の同級生(女子)「少女漫画をよく読んでいた」 女性教諭「私でも行ける高校あるかな」	中学卒業文集 中学時代を詳細 地図/下校の女子小学生の後ろ姿写真	
7	5/10/08	朝京	○	○	○			小学生の登校				府教委次長・知事			『子どもの見守りの強化』/緊急校長会	
8	5/10/08	朝	○	○	○				○		母			狭い交友関係〜トラブルなかったか/女子生徒「ひとごととは思えない」	プロフ文章を詳細/取材報道13社合意	
9	5/10/08	夕	○	○	○				○	○				『狭い交遊 なぜ外出』/サンダルのヒール部分は約6cm/赤いバッグ、白のキャミソールやサンダル 着衣なかった 性的な暴行は受けていないことが確かめられた/男女の声を聞いた	写真、バッグとサンダル・防犯カメラ映像 交友関係の乏しさ	
10	5/10/08	朝	○	○	○									男女の話し声/着衣はなく		
11	5/10/08	夕東	○	○	○									高1女子遺棄		
12	5/11/08	朝京	○	○	○			現場							○	防犯対策会議『定期巡回 夜に実施』
13	5/11/08	朝	○	○	○	地図					○			市内の繁華街で〜舞鶴署員に保護/深夜に友人と会っていたとみられる記述	携帯HPの書き込み詳細	
14	5/11/08	朝東	○	○	○									ジーンズ〜色は濃紺で、女性もののMサイズ/若い男女の話し声	携帯HPの書き込み詳細	
15	5/12/08	夕東	○	○	○											暴行詳細『鼻骨折、脇腹も殴打』
16	5/12/08	朝東	○	○	○	地図		現場に献花			○			2人の映像/若い男女の声/『女子高生が携帯片手におしゃべり〜』/若い男性の声	HPに画像投稿	
17	5/13/08	夕東	○	○	○									着衣はなく/防犯カメラ〜女性と男性は前後にやや離れて歩いていた	遺体の様子詳細	
18	5/13/08	朝東	○	○	○									『防犯カメラ映像「同行者」は男性』/男女が顔見知りだった可能性もある		
19	5/14/08	夕	○	○	○	地図		防犯パトロール車			○			近くの専門学校〜女子学生を午後6時までに下校させている 夕〜運転手「夜〜中高生の女の子がたむろし、それを目当ての男の子もたくさん〜」 高3女「携帯で気軽に『夜に遊ぼうよ』とかできる。そんな感じで出会う人も多かった」 防犯カメラに男女の姿/若い男女とみられる話し声	『集団下校続く』飲食店客遠のく』 『飛び交ううわさ』 自衛隊城下町/街の様子詳細	
20	5/14/08	朝京	○	○	○			集団下校小学生			PTA会長			家庭での会話を大切にし、生命の尊さを教える・危険回避能力を身につける安全教育	『「安全を」緊急宣言 PTA教など6団体』	
21	5/14/08	朝	○	○	○	地図								『男性特定急ぐ』/お気に入りのバッグに新品のサンダル姿で深夜外出した少女 事件直前まで行動をともにしていたとみられる男性 着衣は周囲に散乱していたが、性的暴行はされていない/男女が会話する声 女性の前、自転車を押して歩く男性 「引っ込み思案だった」〜初対面の人物と一緒にいたとは考えにくい ブログ〜10代の少女らしい心情や人間関係の記述「いい感じ。会いたい」「惚れるな〜」		
22	5/15/08	夕	○	○	○									『現場近く 女性の声』/若い女性がやや大きい声で〜話し・甲高い声 女性と自転車を押して歩く男性	日テレなど、豊田市で殺された女子高生の顔写真を使い、放映	

	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他		
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族			識者	
23	5/16/08	夕	○	○	○	地図								『闇夜7キロ少女はなぜ 寂しい道3時間』/女子高生殺害事件/少女(多数) 誰かと待ち合わせる～最適の場所/女性と自転車男性 デート向きのスポットもあるが、少女が深夜に訪れるには寂しすぎる/男女の声	記者が体験 携帯で撮影・コメント付きでHPIに掲載	
24	5/16/08	朝	○	○	○									身に付けていた女性用の下着を見つけたと発表		
25	5/19/08	朝京	○	○	○			7枚						高1女子殺害事件/少女への折り/自転車を押す男性	『揺れる街』/捜査の様子など写真	
26	5/20/08	朝	○	○	○									防犯カメラに映っていた男性と会った	『午前1時 最後のメール』親族あて	
27	5/28/08	夕	○	○	○			衣服		○	母・手記			濃紺で細身のジーンズの上に、灰色のノースリーブのパーカー姿。厚底のサンダル 赤いバッグ 身長154センチ、ポニーテール姿/自転車男性と歩く姿/「一緒に歩く男女を見た」 男女の声/女の子が、同級生に恋心を寄せる姿を描いたマンガを公開	母、情報提供求め手記 同種の衣服を公開・写真	
28	5/29/08	朝名	○	○	○									『豊田と舞鶴の女子高生 被害者映像誤る』	フジと系列27社間違えて放映	
29	6/4/08	朝	○	○	○			カメラ画像						『同行男性の画像公開』/女性と自転車男性 男性の身長170～175センチ、黒っぽい上着とスボン姿、つばつきの帽子～		
30	6/7/08	朝	○	○	○			○						自分の意思で、男性と連れだつて現場付近に向かったとみて/男性と一緒に歩く姿 男性は身長170～175センチ、つばのある帽子、黒っぽい上着とスボン姿	知人・親族へのメール文章掲載	
31	6/7/08	朝京	○	○	○			カメラ画像			府警			女性と並んで自転車を押す男性/男性は身長～、黒っぽい上着とスボン姿、帽子 府警、住民らに説明会 夜に1人で外出しないことなど注意点伝える	発生から1ヵ月情報提供呼びかけ	
32	7/7/08	朝京	○	○	○						府警			並んで歩く男性、身長などの特徴	殺害2ヵ月情報提供呼びかけ	
33	8/8/08	朝京	○	○	○						○			女性と並んで自転車を押す男性、身長・服装など	事件から3ヵ月情報提供呼びかけ	
34	9/8/08	朝京	○	○	○									女性と並んで自転車を押す男性	殺害4ヵ月 情報提供呼びかけ	
35	11/8/08	朝	○	○	○			○						『舞鶴女子高生殺害から半年』/ともに映った、男性の画像	殺害から半年情報提供呼びかけ	
36	11/27/08	朝	○	○	○	地図	○				○			ドライバー「若い女性と自転車の男が一緒にいるのを見た」 男 黒いつば付き帽子に黒いジャンパー。白いタオル	無職の男に捜査	
37	11/27/08	夕東	○	○	○									弁護士	『準抗告』強制的取り調べ懸念	
38	11/27/08	朝東	○	○	○	地図	○	カメラ画像						元最高検事	『60歳男宅きょう捜索』『綱渡りの手法』	
39	11/28/08	夕	○	○	○			家宅捜査			○			○ 女子高生殺害事件/男「交友関係～待ち合わせしていたと思う」	法教授コメント「家宅捜査へ疑問」、裁判員	
40	11/28/08	夕	○	○	○			家宅捜査								弁護士が捜査へ立ち会い
41	11/28/08	朝	○	○	○									弁護士	弁護士、裁判員～捜査側の姿勢に疑問	
42	11/28/08	朝京			○						○			○ 女子高生殺害事件	府警本部長コメント「正念場」	
43	11/28/08	夕東	○	○	○											捜査に弁護士立ち会い
44	11/28/08	朝東	○	○	○									弁護士	弁護士、裁判員～捜査側の姿勢に疑問	
45	11/29/08	朝	○	○	○											男宅捜査
46	11/29/08	夕	○	○	○											2日目家宅捜索
47	11/30/08	朝	○	○	○											捜査計17時間
48	12/1/08	朝	○	○	○											男宅隣も捜査
49	12/2/08	朝	○	○	○											捜査続く
50	12/4/08	朝	○	○	○											男宅の捜査終了
51	12/16/08	朝京			○								○	○ 女子高生殺害事件	府警本部長会見「無念晴らす」	
52	12/26/08	朝京	○	○	○								○	○ 女子高生殺害	舞鶴署で本部長訓示	
53	1/22/09	朝京			○											京都地検初女性次席検事会見/裁判員
54	2/26/09	朝	○	○	○											男に窃盗で実刑
55	3/22/09	朝京	○	○	○						住民	府警				府警、捜査状況の住民説明会

	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他	
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族		識者	関連・問題提起・提案・その他
56	4/7/09	夕	○	○	○	地図	○	○		○	○		真新しいサンダルをはき、お気に入りの赤いバッグ～街灯もほとんどない暗い夜道を徒歩 防犯カメラに、自転車を押した男と映っていた/容疑者の服装など	逮捕実名/知人・兄にメール、電話 目撃者の証言/住民コメント「物証あるか」	
57	4/7/09	夕	○	○	○							容疑者	容疑者	検察	女性とともに自転車を押しながら歩く男 『高1殺害容疑 60歳逮捕』実名/裁判員 冤罪～取り調べの透明性～慎重な捜査
58	4/7/09	朝	○	○	○		○					容疑者			男が～一緒に歩いていたことは確実視 逮捕へ 60歳きょうにも/事件の経緯
59	4/7/09	夕東	○	○	○	地図		カメラ画像		○			容疑者の服装など/真新しいサンダルをはき、お気に入りの赤いバッグ 街灯もほとんどない暗い夜道を徒歩で/自転車を押した男と映っていた	逮捕実名/知人・兄にメール、電話 目撃者の証言	
60	4/7/09	夕東	○	○	○							容疑者	容疑者		高1殺害容疑で逮捕 60歳・実名
61	4/7/09	朝東	○	○	○		○					容疑者			逮捕へ 捜査受けた60歳
62	4/8/08	夕	○	○	○					○					『アリバイの供述変遷』
63	4/8/08	朝	○	○				現場		○		○	知人と待ち合わせをしたか、呼び出された/狭い交友関係	捜査員の言葉から捜査の軌跡/裁判員	
64	4/9/09	朝京	○	○	○					○			公務員男性「同じ年の娘がいるが、一人で帰ってくるなといつも言っている」 男性会社員 入学を機に緊急連絡用として長女に携帯電話を持たせた	母校(中学校)で入学式 校長・保護者コメント	
65	4/9/09	夕	○	○	○							○	送検の車 女子高生が殺害されて埋められた重大事件で世の中の注目度が高い 元最高検事・元裁判長・作家・冤罪事件の弁護に関わった教授	弁護士会が支援/容疑者送検「可視化」 和歌山カレー・裁判員・冤罪などコメント	
66	4/9/09	夕東	○	○	○										弁護士会が支援 容疑者送検
67	4/9/09	朝東	○	○	○								自転車を押す男性と～女性が一緒に歩く/男女2人連れ/男の服装	新たに住民目撃情報	
68	4/10/09	夕	○	○	○							○			勾留決定に準抗告
69	4/11/09	朝京	○	○	○							校長・住民	舞鶴署長		逮捕、署が住民説明会
70	4/11/09	朝	○	○	○								弁護士会、府警、地検、教授コメント	「全取り調べ録画を」/裁判員	
71	4/12/09	朝	○	○	○										勾留取り消し請求、棄却
72	4/14/09	朝	○	○	○										勾留取り消し求め、特別抗告
73	4/18/09	朝	○	○	○										10日勾留延長
74	4/18/09	夕東	○	○	○									○	容疑者否認続く
75	4/21/09	朝京	○	○	○										勾留延長取消し 準抗告棄却
76	4/25/09	朝京	○	○	○										勾留延長取消し 特別抗告棄却
77	4/28/09	朝	○	○	○	地図		○					2人が出会い、一緒に歩いていた/女性と男性が映っていた/男女が目撃され	きょう起訴/20年前の女性暴行事件	
78	8/7/09	朝京		○	○								女子高校生殺害/女子生徒を殺害	弁護士側、証拠開示を要求	
79	11/5/09	朝京		○	○								舞鶴女子高校生殺害/女子生徒を殺害	公判前整理手続き	

犯罪報道分析シート

舞鶴女子高校生殺害事件(2008年)

新聞 毎日(朝刊→朝、夕刊→夕) 大阪(地方版・京都) 東京 中部 西部 ※●は、「写真有」だが、内容不明

No.	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他	
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族			識者
1	5/8/08	夕東	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	教委	高1少女の遺体/若い女性が～死亡/教委「おとなしく物静かな印象」	中学時代、不登校など
2	5/8/08	夕	○	○	○		●	○	○			○	教委・高校	女子高生変死/物静かな少女/女子生徒に何があったのか/おとなしく物静かな印象	中学時代、不登校など
3	5/8/08	夕	○	○	○	○	●	○	○					少女遺体/若い女性が～死亡	中学不登校/同市01年、高3女子殺害事件
4	5/9/08	朝東	○	○	○	○	●							女子高生変死/遺体に着衣なく	小学時代の女友達に電話内容
5	5/9/08	朝	○	○	○		●	○	○	○	母			女子高生殺害/同級生女子「のほほんとした性格で優しい人」/周辺に気遣いを見せおしゃれにも興味があり、職場実習では美容院を選んだ/「可愛らしい子だった」	小・中時代、同級生・担任などコメント
														「花のように」卒業文集に	卒業文集記載
														母手記、「何の落ち度もない娘」「かわいく写っている写真を使っていたら～」	事件前後の動き(時間と行動など)
6	5/9/08	朝	○	○	○	○	●		○					女子高生変死/遺体に着衣なく/Tシャツと白色ベスト、白色キャミソール、サンダル、かばん	小学時代の女友達に電話内容
														長女/2日にも、自宅からいなくなり～見つかる騒ぎ	
7	5/9/08	朝中	○	○	○	○	●		○					女子高生変死/遺体に着衣なく/Tシャツと白色ベスト、白色キャミソール、サンダル、かばん/長女	小学時代の女友達に電話内容
8	5/9/08	京都	○	○	○			○	○			校長		女子高生殺害/物静かでおとなしい生徒だったのに、一体なぜ?	校長会見、入学後の様子
9	5/9/08	夕東	○	○	○									女子高生殺害/衣類を脱がされるなどした後/住民が複数の男女の声を聞いていた	女友達に電話、友人にメール
10	5/9/08	夕	○	○	○		●	○				校長・知人		女子高生殺害/知人女性「繊細な人だった。あんな子が事件に遭うなんて」	不登校だった中学時代
															知人女性に近況報告や悩み等メール内容記載
11	5/9/08	夕	○	○	○									女子高生殺害/衣類を脱がされるなどした後/住民が複数の男女の声を聞いていた	女友達に電話、友人にメール
12	5/10/08	朝東	○	○	○							友人		女子高生殺害/住民が複数の男女が話す声を聞いた	最後に携帯電話した友人女性のコメント
13	5/10/08	朝	○	○	○		●		○	○	○			女子高生殺害/制服を着た同世代の少女ら30人が冥福を祈り～	母が報道陣にコメントを発表
														1年男子「おとなしそうなお子だった」	
14	5/10/08	朝	○	○	○							友人		女子高生殺害/住民が複数の男女が話す声を聞いた	最後に携帯電話した友人女性のコメント
15	5/10/08	京都	○	○	○		●		○		○			女子高生殺害	「安全確保徹底」校長会/再発防止/知事コメント
16	5/10/08	夕東	○	○	○		●							女子高生殺害/防犯カメラに女性/「ミュール」と呼ばれるサンダル	
17	5/10/08	夕	○	○	○		●		○					女子高生殺害/バッグは赤い肩掛けタイプ。普段から使っているもの	バッグとサンダル公開、目撃情報求め
														サンダルは白色で～新しいもの。「ミュール」と呼ばれるタイプ。不安定で～	バッグについては母親が公開を要望
														制服姿の女子生徒ら約40人が参列	
														「かわいく撮れている」と話した笑顔の写真が遺影	
18	5/10/08	夕	○	○	○		●							女子高生殺害/防犯カメラに女性	
19	5/10/08	夕西	○	○	○		●							女子高生殺害/防犯カメラに被害少女?	バッグなど遺留品を公開
20	5/11/08	朝東	○	○	○		●		○					女子高生殺害/紺色のジーンズ/着衣を脱がされるなどし～/ベストはナイロン製	
														捜査本部、「キャミソール」を「長袖の薄い下着」と訂正	
														買ったばかりのサンダル/「可愛く撮れている」と気に入っていた笑顔の遺影	
21	5/11/08	朝	○	○	○		●							女子高生殺害/買ったばかりのサンダル	
22	5/11/08	朝	○	○	○		●							女子高生殺害/紺色のジーンズ/着衣を脱がされるなどし～/ベストはナイロン製	
														捜査本部、「キャミソール」を「長袖の薄い下着」と訂正	
23	5/12/08	朝東	○	○	○		●					同級生		女子高生殺害/同級生「おとなしい良い子だった」	同級生ら、花手向け
24	5/12/08	朝	○	○	○		●							女子高生殺害/襲って着衣を奪い/ジーンズ、ベスト、下着、サンダルなど発見	
25	5/12/08	夕東	○	○	○		●							女子高生殺害	防犯カメラに2人連れ
26	5/12/08	夕	○	○	○		●							女子高生殺害	防犯カメラに2人連れ

	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族		
27	5/13/08	朝	○	○	○			●			○		女子高生殺害/深夜の外出不せ…/暗闇の中、なぜ、人気のない山間部に向かった～ 深夜から未明という時間帯に訪れたのか 誰かと落ち合ったり、殺意を持った犯人に誘い出された可能性も 複数の男女の話し声や、女性の「キャー」という声 顔面への激しい暴行は顔見知りによる犯行の可能性が高い 着衣を奪っているのに性的暴行の痕跡はなく わいせつや強盗目的でなければ交友関係のトラブルが考えられる ジーンズ、携帯電話や下着、サンダル、バッグなどが発見	遺留品を捜索/情報提供求める
28	5/13/08	夕東	○	○	○			●					女子高生殺害/自転車を押す男、同行/女性の悲鳴 「キャッ」というような短く甲高い女性の悲鳴 若い女性の声「あっち…」「こっち…」・激しい口調だった	防犯カメラ
29	5/14/08	朝	○	○	○								女子高生殺害	
30	5/14/08	京都	○		○								女子高生殺害 家庭では会話を大切に、～話し合い～生命の尊さを教える 学校～安全管理の徹底と、危険予測・回避能力を身につけさせる安全教育の徹底を	各地で相次ぐ事件を受け 緊急アピール 府PTA協など
31	5/14/08	夕東	○	○	○								女子高生殺害	遺体の傷詳細
32	5/14/08	夕	○	○	○								女子高生殺害	遺体の傷詳細
33	5/14/08	夕西	○	○	○								女子高生殺害	遺体の傷詳細
34	5/15/08	朝	○	○	○								女子高生殺害/女性と自転車を押す男性/府道を歩く男女2人の目撃情報	防犯カメラ
35	5/15/08	夕東	○	○	○								女子高生殺害/女性と自転車を押す男性	防犯カメラ
36	5/15/08	夕	○	○	○			●					女子高生殺害/誰かと待ち合わせるため～可能性 白っぽい服の女性/自転車を押す男性と一緒に歩く女性	
37	5/16/08	朝	○	○	○								女子高生殺害/白色の上衣にジーンズ/連れだつて自転車を押して歩く男性/下着発見	
38	5/16/08	夕	○	○	○			●					女子高生殺害/買ったばかりのサンダル～ヒールの高さは6.2センチ。長く歩くには適さない 男性「こんなところ普段は歩かんよ」/近くの若者たちには、深夜のデートにぴったりかも 「1人だったら間違いなく引き返すだろう」 危害が加えられる可能性があると思うと知っていれば、絶対に一緒に歩かないだろう よほど地理に詳しくなければ、川に下りようと思わないだろう 痛む足でどこに、なぜ行こうとしたのか	記者が足取りをたどる
39	5/17/08	朝	○	○	○								女子高生殺害/女性と自転車を押す男性	
40	5/19/08	朝東	○	○	○								女子高生殺害/知人男性にメール「迷子になった」 府警 待ち合わせ相手に会えなかったことなどを「迷子」と表現した可能性も	
41	5/20/08	朝	○	○	○					○			女子高生殺害/兄へメール～誰かと一緒にいたり、待ち合わせている様子はうかがえず	複数の友人にメール「迷子になった」
42	5/28/08	夕	○	○	○			●		○	母・手記		灰色のノースリーブのパーカー、袖が黒、胴体部分が白の長袖Tシャツ、紺色ジーンズ 赤いバッグ、白いサンダル/身長154センチ 中学生の時に描いた漫画も公開。中2の女子生徒が同級生に片思いをするストーリーなど 一部テレビで深夜の外出不せを批判するようなコメント～「等身大の姿を知って欲しい」として公表	事件時の着衣公開 母手記「情報を教えて」
43	6/4/08	朝東	○	○	○								女子高生殺害/男性と歩く姿を公開/男性は身長170～175センチ	情報提供呼びかけ
44	6/4/08	朝	○	○	○								女子高生殺害/自転車を押す男性と一緒に歩く映像/男性は身長170～175センチ つばのある野球帽のような帽子、背中に白い縦線が入った黒っぽい服。右利き	映像公開 情報提供呼びかけ

No.	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族		
45	6/7/08	朝東	○	○	○		●	○	○	親友			女子高生殺害 最後に電話で話した同級生女子生徒「人見知りだけど、友達思いで優しい性格。誰かが悩んでいると一緒に心配していた」 「いつも夜中に出歩くような子じゃない。人が少なく涼しい夜に歩いてみたかったのでは」 「お母さんにばれんように、はよ帰りや」 自転車の男性と歩いていたことに対し、「知らない人に付いていくことはありえない」	趣味、音楽/不登校だった
46	6/7/08	朝	○	○	○		●	○	○	親友			女子高生殺害/最後に電話で話した同級生女子生徒「あんなにいい子がなぜ」 「人見知りだけど、友達思いで優しい性格。誰かが悩んでいると一緒に心配していた」 「いつも夜中に出歩くような子じゃない。家にいることが多く、人が少なく涼しい夜に歩いてみたかったのでは」 「お母さんにばれんように、はよ帰りや」 自転車の男性と歩いていたことに対し、「知らない人に付いていくことはありえない」 男性は背中に白っぽい縦線が入った服/交友関係を中心に捜査	発生1ヵ月 情報提供呼びかけ
47	6/7/08	京都	○	○	○		●		○	府警			女子高生殺害	府警が住民説明会/情報提供を
48	7/7/08	朝東	○	○	○								女子高生殺害/一緒に防犯カメラに映っていた自転車を押す男性	殺害2ヵ月 有力情報なく
49	7/7/08	朝	○	○	○								女子高生殺害/一緒に防犯カメラに映っていた自転車を押す男性	殺害2ヵ月 情報求める
50	8/8/08	京都	○	○	○		●						女子高生殺害/一緒に防犯カメラに映っていた自転車を押す男性	発生から3ヵ月 情報提供を
51	9/8/08	京都	○	○	○								女子高生殺害	発生から4ヵ月 情報提供呼びかけ
52	11/8/08	朝	○	○	○		●		○				女子高生殺害/小学時代の担任「先生、飲んでください」とお茶を出す笑顔が心に残る 小杉さんと自転車を押して歩く男性	事件から半年
53	11/8/08	朝	○	○	○					親友・元担任			女子高生殺害/府道で目撃の男女/女性と男性の2人連れ 「男はゆったりとした上着姿、背格好から年配のようにも～」、ひさし付きの帽子	
54	11/15/08	夕	○	○	○								女子高生殺害/一緒に自転車を押しながら歩く年配の男性 誰かと待ち合わせた可能性～交友関係を中心に捜査	
55	11/16/08	朝東	○	○	○								女子高生殺害/一緒に自転車を押しながら歩く年配の男性 誰かと待ち合わせた可能性～交友関係を中心に捜査/男～ゆったりとした上着姿～	
56	11/27/08	朝東	○	○	○								女子高生殺害 深夜に1人で出掛けた少女が事件に巻き込まれたことから、当初は顔見知りによる犯行説が有力視 交友関係を中心に捜査/一緒に自転車を押しながら歩く年配の男性	
57	11/27/08	朝東	○	○	○		●						女子高生殺害/自転車を押す男性と歩く姿	60歳 男宅、きょう搜索
58	11/27/08	朝	○	○	○								女子高生殺害 深夜に1人で出掛けた少女が事件に巻き込まれたことから、当初は顔見知りによる犯行説が有力視	
59	11/27/08	朝	○	○	○		●		○	○			女子高生殺害/会社員男性「まだ高校生の身で無惨に殺された彼女のためにも～」 舞鶴女子校高生殺人事件 母親がパジャマ姿の美穂さんを確認/美穂さんと歩く自転車の男	ブログ書き込み、メール、電話内容掲載 殺害事件の経過(日時・行動・捜査など)
60	11/27/08	朝	○	○	○		●						女子高生殺害/自転車を押す男と歩く姿	
61	11/27/08	夕東	○	○	○						○		女子高生殺害	準抗告申し立て、極めて異例
62	11/27/08	夕	○	○	○		●		○				女子高生殺害/女子高校生殺害事件	住民のコメント複数
63	11/27/08	夕	○	○	○						○		女子高生殺害	準抗告申し立て、極めて異例

No.	日付	紙面	プライバシー										コメント	性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他	
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族				識者
64	11/28/08	朝東	○	○	○										女子高生殺害	準抗告棄却 特別抗告/裁判員
65	11/28/08	朝	○	○	○								○	女子高生殺害	立ち会い捜査、裁判員/教授コメント・冤罪等	
66	11/28/08	夕東	○	○	○									女子高生殺害		
67	11/28/08	夕	○	○	○									女子高生殺害	捜査に弁護士立ち会い	
68	11/28/08	夕西	○	○	○									女子高生殺害	捜査に弁護士立ち会い	
69	11/29/09	朝	○	○	○									女子高生殺害/一緒に自転車を押して歩く男 白いマスクの男/2人で~ゆっくり歩いている様子	防犯カメラ画像の詳細	
70	11/29/09	京都	○	○	○									女子高生殺害	住民コメント複数「静かな暮らしを」	
71	11/29/09	夕東	○	○	○									女子高生殺害/一緒に自転車を押して歩く男/男 白いマスク	防犯カメラ画像	
72	11/29/09	夕	○	○	○									女子高生殺害	自宅捜査を続行	
73	11/30/08	朝東	○	○	○									女子高生殺害	自宅捜査	
74	11/30/08	朝	○	○	○									女子高生殺害	自宅捜査	
75	12/1/08	朝東	○	○	○									女子高生殺害	自宅捜査	
76	12/1/08	夕東	○	○	○									女子高生殺害	自宅捜査	
77	12/3/08	朝	○	○	○									女子高生殺害	自宅捜査	
78	12/4/08	朝東	○	○	○									女子高生殺害	自宅捜査	
79	12/4/08	朝	○	○	○								○	女子高生殺害/一緒に歩く、自転車を押す男	元検事「手法は適正」	
80	12/7/08	朝東	○		○									女子高生殺害	特別抗告棄却	
81	12/7/08	朝	○		○									女子高生殺害	特別抗告棄却	
82	4/7/09	朝東	○	○	○									女子高生殺害/1人で出掛け、知人と待ち合わせた可能性~交友関係を中心に捜査	60歳男、逮捕へ	
83	4/7/09	朝	○	○	○									女子高生殺害/同級生女子「のほほんとした性格で優しい人」 卒業文集にクラスメートらに感謝の気持ちをつづり/自分の性格を「たぶん頑固、気分屋」 周辺に気遣いを見せ/母手記「何の落ち度もない娘」 母親がハッパ姿の美穂さんを確認/美穂さんと歩く自転車の男	小学校高学年ころに不登校気味 卒業文集、ブログ内容掲載 殺害事件の経過(日時・行動・捜査など) ブログ書き込み、メール、電話内容掲載	
84	4/7/09	朝	○	○	○									女子高生殺害/1人で出掛け、知人と待ち合わせた可能性~交友関係を中心に捜査 舞鶴女子高生殺害事件/遺体に着衣はなく/自転車を押す男と歩く姿	60歳男、逮捕へ	
85	4/7/09	夕東	○	○	○									女子高生殺害/自転車を~一緒に歩く男/舞鶴女子高生殺害事件/遺体に着衣はなく	60歳受刑者を逮捕	
86	4/7/09	夕東	○	○	○									女子高生殺害/自転車の男と一緒に歩く姿~顔見知り説 校長「笑顔が印象的だった」	逮捕(実名)/不登校ぎみだった 裁判員制度導入前の起訴、調べが注目	
87	4/7/09	夕	○	○	○									女子高生殺害/容疑者は黒の帽子とジャンパー姿で店によく通っていた ジャーナリスト「罪のない少女が惨殺された事件」	ジャーナリスト「決め手に欠ける」取り調べ録画化 逮捕(実名)/法教授コメント「慎重な審査」	
88	4/7/09	夕	○	○	○									女子高生殺害/校長「笑顔が印象的だった」	不登校ぎみだった	
89	4/7/09	夕	○	○	○									女子高生殺害/自転車の男と一緒に歩く姿~顔見知り説/舞鶴女子高生殺害事件	裁判員制度導入前の起訴、調べが注目	
90	4/8/09		○	○	○									女子高生殺害/容疑者、少年の可能性高い ジャーナリスト「罪のない少女が惨殺された事件」	府警会見コメント/ジャーナリスト「捜査手法稚拙」 法教授「慎重に捜査か」	
91	4/8/09	朝	○	○	○									舞鶴女子高生殺人事件/容疑者、少年の可能性高い 高1の娘~主婦「どんな事件が起きるか分からない時代なので私たちも気をつけないと」	府警会見コメント	
92	4/8/09	朝	○	○	○									女子高生殺害/被害者と一緒に歩く、自転車の男	容疑を否認	
93	4/8/09	朝西	○	○	○									舞鶴女子高生殺人事件/容疑者、少年の可能性高い	府警会見コメント	
94	4/8/09	京都	○	○	○									女子高生殺害/副校長「笑顔が明るくてかわいいなという印象だった」 高校、不審者に注意して下校するよう指導	高校、住民、民生児童委員コメント	
95	4/8/09	夕東	○	○	○									女子高生殺害/午前3時ごろに男女/防犯カメラに男女の姿/男女2人を目撃		

	日付	紙面	プライバシー										コメント	性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他		
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者		関連・問題提起・提案・その他		
96	4/9/09	朝東	○	○	○							○			女子高生殺害/被害者と歩く「自転車の男」 容疑者、報道前後、服装が黒系からピンクなどの派手なものに		
97	4/9/09	朝	○	○	○							○	○		舞鶴女子高生殺人事件/当初、地元の少年の中に容疑者がいる 自転車を押して小杉さんと歩く男	容疑者への捜査経緯	
98	4/9/09	京都	○	○	○							○	○		女子高生殺害/副校長「二度と痛ましい事件が起きないよう、自分で危機意識を高めて」 夜間外出はなるべく控える、特に女子生徒は複数で行動する、 不審者がいたらすぐに助けを求めるなど注意事項	高校始業式・母校(中)入学式	
99	4/10/09	朝東	○	○	○												拘置決定
100	4/10/09	朝	○	○	○								○		舞鶴女子高生殺人事件 検察関係者・弁護士・元最高検検事・日弁連事務局長など	徳島ラジオ商殺人事件 裁判員制度目前の逮捕に関し、識者コメント	
101	4/10/09	朝	○	○	○							○			女子高生殺害/女子高生殺害事件	凶器の分析	
102	4/11/09	朝	○	○	○								○		女子高生殺害/小杉さんと一緒に映っていた自転車の男	弁「拘置は不当」/弁護士会「冤罪の温床」	
103	4/12/09	朝	○	○	○								○	○	女子高生殺害/子育て支援協議会長「～少年非行防止にも取り組みたい」	裁判員/地元での防犯活動	
104	4/14/09	朝	○	○	○									○	女子高生殺害/不安そうな表情を浮かべる～いつもの笑顔を取り戻し	中学生の頃から不登校気味	
105	4/28/09	朝	○	○	○									○	女子高生殺害 阪大法科大学院教授・作家	きょう起訴/裁判員/和歌山カレー事件 捜査手法・公判のポイントなどを識者に聞いた	
106	4/29/09	朝東	○	○	○										女子高生殺害/小杉さんの着衣をはぎ取るなどし	否認のまま起訴	
107	4/29/09	朝	○	○	○										女子高生殺害/起訴状、わいせつ目的/小杉さんの着衣をはぎ取るなどし	殺人と強制わいせつ致死で起訴	
108	5/6/09	朝	○	○	○									○	女子高生殺害/夜間に1人で外出した小杉さんが巻き込まれたとみられる 防犯推進委員協議会会長「～平時から油断しないように気をつけたい」	あす1年/防犯の取り組みが広がり 防犯に携わる住民のコメント	
109	5/8/09	朝	○	○	○										女子高生殺害	事件から1年 遺族が冥福祈る	
110	5/8/09	朝西	○	○	○										女子高生殺害	事件から1年 母親らが献花	
111	5/8/10	朝	○	○	○										女子高生殺害/被害者が男と歩く様子が映った	事件から2年、長引く公判前手続き	
112	5/8/10	京都	○	○	○							○			女子高生殺害	発生2年 現場に献花/住民防犯活動・コメント	

犯罪報道分析シート

舞鶴女子高校生殺害事件(2008年)

新聞 読売(朝刊→朝、夕刊→夕) 大阪(地方版・京都) 東京

No.	日付	紙面	プライバシー								コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他					
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者							
1	5/9/08	朝	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	母手記	周囲への感謝を忘れなかったという少女の理不尽な死	小・中時代の様子/不登校/性格		
																遺体現場を調べる捜査員	友人・学校関係者「思いやりのある優しい子だったのに」	高校登校時の様子/卒業文集内容		
																	近所の人や同級生ら 年少の子どもの面倒見のいい優しい子			
																	同級生男子「物静かでおとなしい性格、人から恨みを買うような子ではない」			
																	校長「生活面や交友関係に問題はなかった」			
																	母手記・写真提供「かわいく撮れている」と言って「何の落ち度もない娘」			
																	舞鶴市女子高校生殺人事件			
2	5/9/08	朝	○	○	○	○	○										女性の遺体が見つかった事件/衣類は身につけていなかった	登校1日だけ/「死にたい」と口に		
																	夜に家出し、深夜、市内で署員に保護			
3	5/9/08	朝東	○	○	○	○	○	○	○	○							女性の遺体が見つかった事件/衣類は身につけておらず	「死にたい」と口に/友人への電話		
																	遺体現場を調べる捜査員	登校1日だけ、様子/小6から不登校		
																	夜に家出し、深夜、市内で署員に保護/校長「生活面や交友関係に問題はなかった」			
																	近所の人ら～年少の子どもの面倒見のいい優しい子			
4	5/9/08	夕	○	○	○			○									高1女「～同じ年だけにショック。掃り道は暗く、一人では掃らないようにしたい」と不安げ	府教委、緊急召集/住民コメント		
																	登校する高校生徒			
																	別の女子「怖い。どこにも寄り道せずに帰る」と表情こわばらせ			
																	校長、一人での登下校や夜間の外出は控えるように注意			
																	母親が子どもの手をしっかり握って幼稚園に向かう姿も			
																	近くの主婦「若い子が亡くなるなんて悲しすぎる。本当にかわいそう」			
5	5/9/08	夕	○	○	○												未明、男女の大声	友人へのメール・電話内容		
6	5/9/08	夕東	○	○	○		○									母手記	未明に「男女の大声」/母手記「何の落ち度もない娘」	友人へのメール・電話内容		
7	5/10/08	朝	○	○	○	地図		通夜参列者	○	校長							若い男女の話し声/サンダルは、事件の4,5日前に買ったもの/笑顔の遺影	防犯ビデオ		
8	5/10/08	朝	○	○	○			校長ら									○	女子生徒殺害事件	子どもの安全確保徹底、校長会/知事コメント	
																		「節度をもって取材・報道」申し合わせ		
9	5/10/08	朝東	○	○	○			通夜参列者	○	校長								男女の大きな話し声/笑顔の遺影		
																		校長、一人での登下校や夜間の外出は控えるよう注意		
10	5/10/08	夕東	○	○	○			バッグ・サンダル										バッグは赤色で、高さ13センチ、長さ38センチ。サンダルは白色で、靴底が平ら	バッグ・サンダル公開、母「情報提供に～」と要望	
																		「かわいく撮れている」写真を遺影		
11	5/11/08	朝	○	○	○													ジーンズは濃紺色/白いベスト/サンダル	写真、カメラの人影・葬儀場のひつぎ	
12	5/11/08	朝	○	○	○													女子高校生殺人事件/同じ1年の長女～母親「娘が同じ目に、と思うとぞっとする」	「安全確保学校と連携」/PTA総会、会長コメント	
13	5/11/08	朝東	○	○	○													ジーンズは濃紺色/白いベスト/サンダル		
14	5/12/08	朝	○	○	○													携帯電話、ベスト、財布、バッグ、下着類、サンダル、ジーンズ・所持品発見		
																		遺留品発見場所		
																		小学校同級生「笑顔が今も忘れられない」		
15	5/12/08	朝東	○	○	○													プロフ	最後のプロフ文章・カメラ写真内容掲載	
16	5/12/08	夕東	○	○	○	地図													ビデオに男と被害者か、歩く姿/男女の話し声/女性が男と連れだって歩く姿	
																			男と合流、遺体現場へ向かった可能性	
17	5/13/08	朝	○	○	○														未明、「あっち」「こっち」などと、怒った口調で～若い女性の声/会話する男女の声	情報提供求めるフリーダイヤル
																			若者同士が話す声	
18	5/13/08	朝東	○	○	○														未明、「あっち」「こっち」などと、怒った口調で～若い女性の声/会話する男女の声	
19	5/13/08	夕	○	○	○	地図													別ビデオに男女の映像/女性が男と歩く姿/白いベスト・サンダル	
20	5/13/08	夕東	○	○	○														別ビデオにも2人連れ/女性が男と歩く姿/白いベスト	

	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族		
21	5/14/08	朝	○	○	○						○		緊急アピール、PTAは～連帯し、見守りや安全確保に努める 校長会会長 PTA会長 家庭で子どもとの会話の大切に～命の尊さを教える 学校は危険を予測、回避する能力を身につけさせる PTA会長「親は子どもに携帯電話を買ってやっても、その携帯で何をしているのかよく分からない部分も多い。もっと家庭でふれ合う時間を作る必要がある」	緊急アピール家庭配布へ PTAなど
22	5/14/08	朝	○	○	○								被害者？と男「ヒップホップ系の若者」/女性が、自転車を押す若い男性と一緒に歩く 男女/男性は長身で若者に人気のヒップホップ系の服 男性は17～20歳、約1.8メートルの細身。赤か黄色の上着に、だぶだぶのジーンズを腰まで下げてはき、野球帽を斜めにかぶっていた 女性は1.5～1.55メートル。黒髪でかばんを持ち、白っぽい服にスボン姿、男性の後ろを言葉を変わさないまま歩いて	目撃情報
23	5/14/08	朝東	○	○	○								被害者と男か「ヒップホップ系の若者」/女性が、自転車を押す若い男性と一緒に歩く姿 男性は17～20歳くらいで、身長約1メートル80の細身 赤か黄色の上着に、だぶだぶのジーンズを腰まで下げてはき、野球帽を斜めにかぶったヒップホップ系の服装 女性は1メートル50～55の黒髪、白っぽい服にスボン姿 男性の後ろを、かばんを持って言葉を変わさないまま歩いていた	目撃情報
24	5/14/08	夕	○	○	○						○		一緒に歩く若い男/「残虐で、顔見知りによる犯行か」 交友関係～恨みを買うトラブルは浮かんでない 買ったばかりの履き慣れない、高いヒールのサンダル 「深夜にわざわざ歩いて行く目的は何だったのか」 だぶだぶのジーンズに野球帽のヒップホップ系の若い男と歩いて 待ち合わせをしていたのか。携帯電話やメールに、誰かと約束した内容はなく 犯罪心理学教授「～稚拙さがうかがえる。若い人の犯行では、何かのトラブルをきっかけに～」 男女の声	コメント、府警幹部・捜査員・教授 ブログ内容「エイ発見」
25	5/14/08	夕東	○	○	○						○		『履き慣れない高いヒール』/「顔見知りによる犯行か」 交友関係～恨みを買うトラブルは浮かんでない 買ったばかりの履き慣れない、高いヒールのサンダル 「深夜にわざわざ歩いて行く目的は何だったのか」 だぶだぶのジーンズに野球帽姿で自転車を押す若い男と一緒に歩く 待ち合わせをしていたのか。携帯やメールに、誰かと約束した内容はなく	コメント、府警幹部・捜査員 ブログ内容「エイ発見」
26	5/15/08	朝	○	○	○								自転車を押す男と女性/白色ベストやシャツ	『ビデオの女性、被害者と断定』
27	5/15/08	朝東	○	○	○								白色ベストやシャツ	『ビデオの女性を小杉さんと断定』
28	5/16/08	朝	○	○	○								自転車を押す男の後ろを歩く/下着を発見	
29	5/19/08	朝	○	○	○									知人男性に「迷った」メール・ブログ
30	5/19/08	朝東	○	○	○									知人男性に「迷った」メール
31	5/22/08	朝	○	○	○							○	教委委員長・市教育長・委員	市教委、定例会議で
32	5/23/08	朝	○	○	○								府教育長	府議会で府教育長が報告

No.	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他		
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族		識者	関連・問題提起・提案・その他	
61	12/1/08	朝	○	○	○										捜索	
62	12/2/08	朝	○	○	○										捜索	
63	12/3/08	朝	○	○	○							捜索車両	○		刑事法教授・元高裁長官、捜索について	
64	12/3/08	朝東	○	○	○							男自宅	府警・弁護士		捜索	
65	12/4/08	朝	○	○	○								弁護士		捜索終了	
66	12/4/08	朝東	○	○	○										捜索終了	
67	12/6/08	朝東	○	○	○										特別抗告を棄却	
68	12/27/08	朝	○	○	○			○		○	母		高1女子殺害		回顧2008・5月	
69	1/21/09	朝	○	○	○										窃盗事件、結審	
70	1/22/09	朝	○	○	○							着任会見	次席検事		次席検事着任会見/裁判員	
71	2/26/09	朝	○	○	○										窃盗事件、懲役1年	
72	2/26/09	朝東	○	○	○										窃盗で実刑判決	
73	4/7/09	朝	○	○	○					○	男		男とみられる人物が、小杉さんと一緒にいるところも目撃		男逮捕へ	
74	4/7/09	朝東	○	○	○					○	男		男とみられる人物が、小杉さんと一緒にいるところも目撃		男逮捕へ	
75	4/7/09	夕	○	○	○					○	○	○	周辺とのトラブルなく		逮捕(実名)、容疑者の情報	
													同級生女子・同級生の父・住民・民生児童委員・小校長		学校を休みがち/多数コメント	
76	4/7/09	夕	○		○								『舞鶴女子高生殺人事件』/一緒に映っていた「自転車の男」			
77	4/7/09	夕	○	○	○			○				ハ・容疑者	舞鶴女子高生殺人事件/一緒に映っていた「自転車の男」		逮捕(実名)	
78	4/7/09	夕東	○	○	○			○	○		容疑者	○	高1女子殺害/周辺にトラブルなく/小杉さんと映った「自転車の男」		逮捕(実名)/裁判員・冤罪	
													容疑者を乗せた車		(容疑者取材の一問一答)若い女の子に声をかけることはないか。	
													カメラ画像		現場付近は道も暗いが、なぜ夜中に女の子が一人でいたと思うか	
													容疑者		舞鶴女子高生殺人事件	
79	4/7/09	夕東	○	○	○										逮捕(実名)	
80	4/8/09	朝	○	○	○			○	○	○	母	○	「自転車の男」と一緒に映っていた/男と小杉さんが目撃		府警会見/記者「説明責任を」/裁判員	
													献花台・会見・容疑者			
81	4/8/09	朝	○	○	○			現場	○				同級生女子・元バンド友達・高校長・利用していた美容室経営者		小学校名/地域の防犯	
													民間防犯ボランティア会長・子育て支援協議会会長・市教委課長			
82	4/8/09	朝	○	○	○								○ 自転車を押して一緒にいるのが目撃～2人は帽子をかぶり、並んで歩いて		裁判員/加へ事件被告の実名・年齢	
													府警・地検		今後の捜査、注目	
83	4/8/09	朝東	○	○	○							容疑者	○ 一緒に映っていた「自転車の男」			
													自転車を押して一緒にいるのが目撃～2人は帽子をかぶり、並んで歩いて		裁判員/加へ事件被告の実名・年齢	
84	4/8/09	夕東	○	○	○							容疑者	小杉さんと歩く「自転車の男」～事件後、服装に変化		今後の捜査、注目	
85	4/9/09	朝	○	○	○								法科大教授・元裁判官・名誉教授・作家・元警視庁課長・評論家		捜査手法などについて、識者コメント/裁判員	
86	4/9/09	夕東	○	○	○							容疑者	容疑者	小杉さんと一緒に歩く「自転車の男」/小杉さんと男を見かけ、2人の年齢差を不審に～		送検
87	4/10/09	朝	○	○	○							容疑者	容疑者	警察庁長官		容疑否認/警察庁会見/裁判員
88	4/10/09	夕東	○	○	○							容疑者				準抗告
89	4/11/09	朝	○		○								住民	署長		捜査本部、地元説明会
90	4/11/09	朝	○	○	○									弁護士会副会長・地検次席検事・大学院教授		弁護士会、可視化の要求検討/裁判員

犯罪報道分析シート 京都教育大集団強姦事件(2009年)

新聞 朝日(朝刊→朝、夕刊→夕) 京都→京

No.	日付	紙面	プライバシー								コメント			その他	
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
1	6/1/09	夕											○		05年刑法成立「集団強姦罪」 ※学長コメント/03年早稲田大、06年京大での強姦事件
2	6/2/09	朝						○					○		大学側は「わいせつ行為」と表現。 ※学長コメント
3	6/3/09	夕											○		京教大で事件の経緯を説明。 ※学長コメント
4	6/3/09	朝											○		犯行時学生がドアを押さえていた。
5	6/4/09	夕													
6	6/4/09	朝											○		教育大の品位、更正への道
7	6/4/09	朝											○		事件の経緯、抗議のメールや電話 ※学長コメント
8	6/4/09	夕													
9	6/6/09	朝													
10	6/6/09	朝											○		教育大の品位、更正への道 ※コラム記事オピニオン
11	6/11/09	朝													ミクシィでの被害者中傷と加害者擁護
12	6/13/09	朝京											○		大麻問題、落書き問題/モラル・マナー対策、カウンセリングの方法が難しい。 ※学長コメント
13	6/13/09	朝京													被害者人権侵害/侵害への経緯
14	6/17/09	朝													
15	6/17/09	朝											○		教育委員会のあり方、採用方法 ※コラム記事オピニオン
16	6/18/09	夕													ミクシィでの被害者中傷と加害者擁護/教員のネット上での監視
17	6/19/09	夕											○		裁判官のコメント
18	6/20/09	朝											○		市からのコメント
19	6/23/09	朝											○		告訴取り消しが決定 ※検事と大学コメント/インターネットでの書き込み
20	6/23/09	朝											○		告訴取り消し ※検事と大学コメント
21	6/25/09	朝													不起訴処分、告訴取り消し
22	6/27/09	朝													告訴取り消し
23	6/30/09	朝													ネット上書き込みの再犯
24	7/2/09	夕													ネット上被害者中傷再犯
25	7/4/09	夕京													女子大生ミクシィで中傷
26	7/8/09	朝													京教大学長、辞意表明
27	7/10/09	朝京													女子学生ネットで被害者中傷
28	7/13/09	朝											○		不起訴処分、告訴取り下げ ※コラム記事オピニオン
															強姦により自殺した女性が過去にいる/被害者への甘さ、法のあり方
29	7/17/09	朝											○		不起訴処分、告訴取り下げ ※コラム記事オピニオン
															強姦により自殺した女性が過去にいる/被害者への甘さ、法のあり方
30	7/24/09	朝京													大学、人権尊重指導開始/ミクシィでの被害者中傷
31	8/7/09	朝京													学長辞任、報告書を提出、ハラスメント講義を開いた
32	8/26/09	朝京													学長辞職、報告書提出、新学長を会議で選ぶ
33	9/9/09	夕											○		新任学長が決定、任期4年 ※新学長コメント
34	10/22/09	朝京											○		京都大で人権講演会(性被害にあったフォトジャーナリストが行う※コメント有り)
35	12/3/09	朝京													2011年より京教大体育科入試に小論文を導入
36	4/9/10	朝京											○		再発防止の報告書提出、性暴力の学習、特別講義 ※新学長コメント有り

犯罪報道分析シート

京都教育大準強姦事件(2009年)

新聞 毎日(朝刊→朝、夕刊→夕)

日付	紙面	プライバシー								コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他		
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者		関連・問題提起・提案・その他	その他	
1	6/1/09	夕		○	○								○	女性の母親が相談し発覚、酒に酔い判断できない コンパに約100人、合意の上「酩酊状態ではなかった」と5人		
2	6/1/09	夕		○	○									母親が相談、酒に酔い判断できない		
3	6/2/09	朝			○									母親の相談で発覚。酩酊状態。	大学、通報せず	
4	6/2/09	朝			○								○		文科省が批判コメント。なぜもっと早く通報しなかったのか	
5	6/2/09	朝			○								○	女子学生酩酊状態。	京教大事件を通報せず。	
6	6/2/09	夕			○								○		文科省相の批判コメント有り。なぜ通報しなかったのか	
7	6/2/09	夕			○									彼女は酒に強い方では無い。ひどく酔った状態	被害者本人のコメント有り。	
8	6/3/09	夕													隠ぺいとしか見えないと言う抗議が殺到。	
9	6/4/09	朝			○								○		「公然わいせつ」に対し、識者が批判。	
10	6/4/09	地方											○		通報しなかったことに指摘。京教大生コメントも有り。	
11	6/4/09	夕											○		加害者の父との縁故採用について市教委がコメント。	
12	6/5/09	朝											○		加害者の父との縁故採用について市教委がコメント。	
13	6/5/09	朝											○		市教委が採用について謝罪のコメント。	
14	6/5/09	地方														
15	6/5/09	夕														
16	6/10/09	夕												「女子学生にも非がある」と書き込んだ。	ネットで被害者を中傷(立命館大生)	
17	6/10/09	夕												「女子学生にも非がある」と書き込んだ。	ネットで被害者を中傷(立命館大生)	
18	6/11/09	朝													運動欄	
19	6/13/09	夕												「報道されている内容は異なる」と書き込んだ。	ネットの会員制サイトに被害者を中傷(追手門大生)	
20	6/14/09	地方											○		社説 大学の「教育的配慮」のコメントに指摘/自分が使う言葉の守備範囲	
21	6/17/09	朝											○		家庭欄 大学の甘い対応、被害者への配慮や実名を出すかについて	
22	6/17/09	朝			○								○			
23	6/18/09	朝			○										ネットのサイトに被害女性中傷の書き込み	
24	6/19/09	夕			○								○	弁護士「合意があった」	裁判官「供述に食い違い」	
25	6/20/09	朝											○		市教委より父親との縁故採用についてコメント有り。	
26	6/23/09	朝			○								○		告訴取り下げ、示談成立	
27	6/23/09	朝			○								○		告訴取り下げ、示談成立	
28	6/27/09	朝			○										告訴取り下げ、示談成立	
29	7/3/09	地方													ネット(SNS)へ被害者中傷書き込み再犯(京教)	
30	7/4/09	地方													不起訴処分となった/SNS上に被害者中傷書き込み(京教大)	
31	7/8/09	朝											○		学長辞任を表明	
32	7/8/09	朝											○		学長辞任を表明	
33	8/7/09	朝											○		事件の報告書を京教大が提出(性倫理の欠如、飲酒、モラルの低下)	
															人権教育の徹底で再発を防ぐ	
34	8/26/09	地方													学長辞職、代理は理事が行う。	
35	8/31/09	夕													学長辞任、代理は理事がつとめる。	
36	9/9/09	夕													学長辞職。後任を選出した。任期4年。	
37	4/10/10	地方											○		再発防止の報告書の提出	
															大学側の補佐体制の整備や危機管理マニュアルの不備への取り組みについて	

犯罪報道分析シート

京都教育大準強姦事件(2009年)

新聞 読売(朝刊→朝、夕刊→夕)

No.	日付	紙面	プライバシー								コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他	
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者		関連・問題提起・提案・その他	
1	6/1/09	夕		○	○									○	コンパには90人が参加。7割が男子。 彼女は酒を飲み、正常な判断が出来なくなっていた。	大学は事実公表に消極的。※大学コメント有り
2	6/2/09	夕			○									○	彼女は酒に酔っていた。	※京教大学長コメント有り。
3	6/2/09	朝			○									○		京教大学長コメント有り。
4	6/4/09	夕			○											大学は男子学生を無期停学処分。
5	6/7/09	朝		○	○										女性は正常な判断が出来ない深酔い。 女子大生は何度も一気飲み。「ダービーゲーム」を行っていた。	コンパには90人が参加。学生主催。
6	6/23/09	朝			○									○	女性は正常な判断が出来ない深酔い。	告訴取り下げ。不起訴。※検事と学長コメント有り。
7	7/8/09	朝														学長、辞意を表明。
8	7/11/09	朝		○	○									○		再発防止要望書を提出。早大で「ハラスメント防止室」設置。※同大、神大教授コメント セクハラ防止のための取り組み、ネット上の被害者中傷。

犯罪報道分析シート 渋谷夫殺害遺体切断事件2006年 *分析は2007年～)

新聞 朝日(朝刊→朝、夕刊→夕) 東京

No.	日付	紙面	プライバシー							コメント			その他 関連・問題提起・提案・その他		
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族		識者	
1	1/11/07	朝	○	○	○	○								『切断遺体、妻を逮捕』/頭部をワインの瓶で殴って殺害し、自宅内で切断 「結婚後半年くらいから、夫と生き方が合わず口論するようになった。 夫から自分のことを否定されたり、暴力をふるわれたりして殺意を抱いた」と供述 殺害後～「夫が帰宅しない」という内容の家出人捜索願を出していた	夫の会社名 地図、遺体が見つかった場所・自宅
2	1/11/07	朝	○	○	○	○	○				○			『遺棄容疑の妻「暴力に耐えかね』/都内に住む32歳の主婦が逮捕された 遺棄の前にはうその捜索願を出し、自宅はリフォームして証拠隠滅を図っていた 03年3月に結婚。～半年後から口論が絶えなくなり、祐輔さんから暴力をふるわれ、 顔の骨を折れるけがをしたこともあったという	「高級マンションに入居」 マンション詳細(場所、階、間取り、家賃など) マンション住民や遺体発見現場の近所からコメント
3	1/11/07	夕	○	○	妻	○	○				○	○		『昨夏「いつか殺そう」死体遺棄容疑の妻 激しい暴力 大けが』 結婚後まもなく、三橋さんから暴力～顔や体をけられることも 顔を殴られて鼻の骨などを折る大けがをした、殺意を抱いた さらに事件前の11月ごろに激しい暴力を受けたことから殺害を決意 胴体が遺棄されていた新宿区は「食べ歩きが好きでよく行った」といい 『スマートな印象の夫妻』 マンション女性管理人 夫妻はともにスマートな印象で、 「奥さんはモデルでもやっているのかと思っていた」 2人一緒の姿は「恋人同士のように～」 ～大声で言い争う声が共用廊下まで聞こえてくることもあった	夫の会社名 地図、遺体が見つかった場所・自宅 「同僚がマンションの防犯ビデオを調べる」 夫の会社社長のコメント「優秀な社員を～」
4	1/12/07	朝	○	○	妻	○	○				○			『妻、夫を装いメール』 自らの意思で失踪したように～偽装工作をした可能性 事件前、探偵を雇って三橋さんの行動を調べていた 三橋さんの友人「通帳から一気に何十万円も引き出され～妻に問いつめると 『浮気調査で探偵を雇った』と認めたよ」と話していたという	
5	1/12/07	夕	○	○	妻	○	○	○			○			『妻「夫に手術跡」とウソ 捜索願提出時 転居も計画か』 殺害や遺棄が発覚しないよう、虚偽の説明をした可能性 大きな家具がほとんど運び出され～転居や逃亡を計画していた可能性 『上品な妻 夢大きな夫、口論・離婚話も度々』 事件は、都心の高級マンションに住む一見、幸せそうな夫婦の間で起きた 有名私立大を卒業し、外資系の会社に勤めていた～と、上品と評判だった妻～ 周囲の印象に反して、家庭内暴力があった～離婚話もたびたび持ち上がっていた マンション管理人「夫は長身でクールないい男。奥さんもスタイルがよくてキレイ」 高校の同級生「いい意味でも悪い意味でも自分があった。おとなしい割に、ブランド品 を身につけていた。受験したのも在京私大のお嬢様学校ばかりだった」 大学で同じクラス女性 1年生のころから化粧に気を使い、エステにも通っていたという。 「客室乗務員になりたいと話していた。事件を聞いて～あり得るかもしれないと思った。 プライドが高かったの、プライドが傷つけられることがあったのかも」 マンションで犬とともに暮らしていたが、口論が絶えず、離婚話がよく持ち上がっていた	夫の経歴 出身地の市・大学名・転職歴 同級生らコメント「賢くて～活発な人」 「夢が大きいやつ～」長髪でめかして～
6	1/13/07	夕	○	○	妻	○	○							『夫切断事件「殺すなら今だ」と 遺棄容疑の妻、供述』 「抵抗されずに殺すなら今だと思った」と供述 家具類を粗大ごみ～実家に送ったり～「生活を切り替えたかった」と話し	実家の県名
7	1/14/07	朝	○		妻							○		『家族の遺体をなぜ』 妻が夫を殺し、その遺体をバラバラにする 「遺体は想像以上に重く、自分一人では動かすことが困難だった～」という趣旨の供述	歯科医師長女バラバラ事件/ともに裕福な家庭 夫婦・きょうだい間 10年で事件増加

		プライバシー								コメント			その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
8	1/15/07	朝	○	○	妻	○		○					『夫切断事件「におい気になり遺棄」容疑の妻供述 リフォームも急ぐ?』 安否を心配した複数の友人に「～実家にいる」とうそをついていた 三橋さんへの謝罪の言葉はないという	実家の県名
9	1/16/07	朝	○	○	妻	○							「血が流れないようにするため、土を買った」と供述	遺体切断方法など詳細
10	1/31/07	朝	○	○	妻	○							殺害前～約1時間口論をしていた。酔って帰宅する日が続き、腹が立って殺意を～ 「けりをつけることができた」という趣旨の供述をしているという	
11	2/1/07	朝	○	○	妻	○		○					『「夫との戦いに決着」歌織容疑者、殺人で再逮捕』 不仲だった夫婦関係や～受けた暴力など～「暮らしの中で、恨みつらみが鬱積した。 殺して夫との戦いに決着がついた」などと供述 暴力や妻としての扱いに不満～朝帰りが多く浮気を疑ったことなどが殺意に 飲み会で知り合った祐輔さんと出会って数カ月で結婚。 当初は、派遣会社に勤めていた歌織容疑者が家計を支えていた 結婚間もなく夫婦仲は悪くなり、祐輔さんからの暴力も 大けがをさせられて病院に行き、両親からは離婚を勧められていた 祐輔さんは借金もあり、事件発覚後、夫婦の残金は5万円だった 金銭面や生活面で夫の世話をしてきたと自負～夫の収入が増えても朝帰りや 暴力などで生活が一向に良くならないことに不満を募らせたことが事件の背景 「夫婦間の仲がうまくいっていなかった。祐輔さんの言動に対して立腹した」とみて	
12	2/22/07	朝	○	○	妻									完全な責任能力が無かったと弁護側主張
13	12/18/07	朝	○	○	妻									夫の浮気について、夫の暴力
14	12/20/07	夕	○	○	妻								弁護側は「夫から長期の暴力を受けて～PTSDに～」 検察側 自分の思い通りに離婚話が進まないことなどに腹を立て、 夫への憎しみの感情を爆発させて殺害 弁護側「夫の暴力で極度の緊張状態～絶望感や『今度こそ殺される』という恐怖感～」 水色のトレーナー姿で出廷。時折前髪をかきあげたり、手にしたタオルで涙をぬぐったり 夫婦げんかを繰り返し、時に暴力をふるわれていた 知人の男性とのメールが原因で～夫の暴力で鼻の骨を折られ、約1カ月間シェルターに入所 「夫が被告に暴力をふるったり、浮気した場合には離婚し、慰謝料3600万円を払う」 という契約内容の公正証書をつくり、夫に対して優位な立場を手に入れた 有利な条件で離婚したいと考えていたが、「今は(夫に)お金がない～」と待っていた 友人に「私が尻をたたいてこの人は今の会社に入り、名誉や収入を得たのに、どうして 私だけが泣きを見て別れなくちゃいけないの。私は転んでもただでは起きない」と話し 夫の浮気の証拠をつかもうと自宅にこっそりボイスレコーダーを仕掛けて外出。 夫と交際女性との会話をひそかに録音した。 録音内容を突きつけて離婚話を進めるため、夫と話し合いを約束したが、～遅い時間に帰宅。 腹を立てて口論になった～寝姿を見ているうちに憎しみの感情が爆発したという	夫の浮気について、夫の暴力 夫両親が報道関係に手記 真相解明と名誉回復願う リスト、法廷で涙をぬぐう被告
15	12/26/07	朝	○	○									『「被告がうそ」夫の母親証言 渋谷・夫切断事件初公判』 被告から電話で「警察に行って(遺体が)夫でないと確認した」と聞かされて 「よかったね、と一緒に泣きながら喜んだ」と述べ、被告がうそをついていた状況を証言 母親は、三橋被告が息子からの暴力を避けるための施設(シェルター)に入所したことを知り、～2人を別れさせようと状況した経緯などを証言 息子が行方不明になった直後に電話～「いないことを心配する様子がなくて、びっくりした」	
16	2/7/08	夕	○	○									『「浮気疑われ 暴力受けた」夫殺害被告が供述』ら 夫からの暴力～婚姻届を出した約1週間後から～「離婚してほしい」というと浮気を疑われ	

	日付	紙面	プライバシー							コメント			その他		
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
17	2/13/08	朝	○	○											精神鑑定を簡略化/裁判員制度
18	2/27/08	朝	○	○									○		『裁判員時代』責任能力争点
19	3/10/08	夕	○	○											『犯行時「心神喪失」/裁判員 公判の迅速化
															被告が「夫の暴力による心的外傷ストレス傷害(PTSD)で心神喪失が心神耗弱だった」
															「暴力を振るう夫の帰宅を待つ不安感が病的に高まった。妄想や幻想が出ていた」
															幼少期～父親の「虐待に近い暴力」を繰り返された
															父親からの「トラウマ体験」と夫の暴力によるPTSDの症状
20	3/11/08	朝	○	○									○		『再鑑定要求 検察が検討』
21	3/12/08	夕	○	○											幻覚のことを～捜査官や弁護人に話さなかった点については「取り調べの時に～聞いてもらえなかった。弁護人にも『うそをついている』と思われなくなかった」と述べた
															鑑定医の面談で～「ずっと受けたかったカウンセリングの代わりに感じて、話しにくいことも話した」
															法廷で幻覚のことを話さなかったのは、「夫との生活のことを一番に分かってほしかった～」
22	3/24/08	夕	○	○											検察側が再鑑定を請求
23	3/28/08	朝	○	○											裁判長が再鑑定を却下
24	4/11/08	朝	○	○									○		『渋谷・夫殺害 懲役20年を求刑』 裁判員/争点は責任能力の有無
															被告は～「一言で表現しようとしても、憎しみか不安か恐怖かは分からない」と述べた
															夫からの暴力について「自分で自分の身を守るよりほかなかった」と主張
															「自分のしたことで皆様に大変申し訳ないことをし、心よりおわびします」とも話し
															夫の遺族手記「息子のことを信じている。被告が一方向的に自分の都合のいい話をしている～」
25	4/11/08	朝	○												『夫殺害、三橋被告に20年求刑』
26	4/11/08	朝	○	○									○		『渋谷・夫殺害 妻に懲役20年求刑』 責任能力の有無が争点
															検察側は鑑定結果について「～被告が作り出したその供述によるもので不当だ」
															「有利な条件で離婚したいという殺害の動機～証拠隠滅工作をするなど～」
															被告は～「一言で表現しようとしても、憎しみか不安か恐怖かは分からない」と述べた
															夫からの暴力について「自分で自分の身を守るよりほかなかった」と主張
															「自分のしたことで皆様に大変申し訳ない」とも話した
															夫の遺族手記「被告が一方向的に自分の都合のいい話をしているとしか思えない」
27	4/26/08	朝	○	○											心神喪失と心神耗弱の説明/他の事件
28	4/28/08	夕	○	○									○		『詳述一転「覚えていない」精神鑑定 転換点に』 リスト、判決理由を聞く被告
															「夫が怖かった。24時間監視されている感じだった」など、殺害時の状況や夫の ドメスティックバイオレンス(DV)をよどみなく語っていた
29	4/28/08	夕	○	○									○		『争点、DVから妻の「心」のへ』 リスト、判決理由を聞く被告
															夫からの暴力で絶望的な気持ちになったとしても、夫を殺すことまでは正当化できない
															公判で被告は、夫からのドメスティックバイオレンス(DV)や殺害時の詳しい状況について よどみなく語っていた。「夫が怖かった。24時間監視されている感じだった」と訴えた
															DVを避けるためのシェルターに一時入所した後も、夫の暴力が続いていたのか。
															そう問われると～「偶然を装って、両腕をひねって首を絞めるなど暴力が注意深くなった」
															「夫からの暴力がなくなった後も、自分に有利な条件で離婚しようと画策～」という検察側
															被告が公判で反論する様子はワイドショーなどで詳細に～法廷での被告の発言は注目を浴びた
															遺体が見つかった後も夫の母親と電話で「～別人で良かった」と一緒に泣き、公判で
															「私が間違いなく犯人」と悲惨な犯行の事実を認めた被告が、罪に問われなくてよいのか
															被告は、法廷で初めて夫の両親に会ったという両親に～「心からおわびします」と謝罪
															夫に対する気持ちを問われると～謝罪の言葉を口にすることはなかった。
															「彼に対しては～あまりにもひどいことをして～私自身まだ整理がついていない～」

犯罪報道分析シート 渋谷夫殺害遺体切断事件2006年 *分析は2007年～

新聞 毎日(朝刊→朝、夕刊→夕) 東京 ※●は、「写真有」だが、内容不明

No.	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他	
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族		識者	関連・問題提起・提案・その他
1	1/11/07	朝	○	○	妻	○		●						『妻逮捕、自宅で殴り殺害』 妻～を死体遺棄容疑で逮捕/03年3月に結婚し、マンションで2人暮らし。 動機について「結婚半年後から口論するようになり、生き方が合わなかった。 夫から自分を否定するようなことを言われ、暴行を受けたことから殺意を抱いた」と供述 切断遺体が始めて発見される前日～夫の家出人捜索願を出していた 年末に自宅の壁と床を張り替えるリフォーム工事を行っていた。～証拠隠滅を図ったとみて	『男性は渋谷の外資系社員』 殺害時の様子、日時・方法など詳細
2	1/11/07	夕	○	○	専業主婦			●		○			『歌織容疑者「重いので切断」両手首はゴミに』 指紋から身元が発覚するのを避ける目的で手首だけ別に処分した可能性がある 発見現場近くの人の会社社長 マンション住民 道具を殺害後に用意していることから、殺害は衝動的だったとみている のこぎりも見つかっていない。～布団も処分～リフォームして～入念な証拠隠滅を図ったとみ 歌織容疑者は専業主婦だった	遺体切断や遺棄の方法詳細 夫の会社詳細、名前 社長コメント「優秀な社員を失い～」 マンションについて詳細(場所、階、家賃など)	
3	1/12/07	朝	○	○	妻			●	○	○			『容疑の妻、捜索願にうその特徴 勤務先にも電話し工作も』 動機について～「いろんなことで言い争いし、暴力も受けていた。私がしてきたことを全然認めてくれなかった」などと供述～夫婦間のいさかいが背景にあるとみている 近くに住む男性「夫婦で歩いているのを～見たが、距離を置いて、よそよそしかった」 容疑者～小学校の文集には「わたしは勝ち気な女の子です。何かやられたら、やり返す。学校などでは強がっているわたしも、家に帰るととてもあまえんぼうです」と書いていた 高校の同級生「おとなしかったが、背が高く目立つ存在。パーマをかけたり、おしゃれだった 大学に進むときは「客室乗務員になりたい」と周囲に希望を語っていた	06年12月殺害～07年1月逮捕まで 容疑者の行動など一覧表 新潟市の県立高校卒業後、東京都の女子大に進んだ 夫の高校・大学名、同級生・美容師コメント「おとなしくて成績が良く～」など	
4	1/12/07	東京	○	○	妻			●		○					遺体遺棄現場の近所住民などのコメント
5	1/12/07	夕	○	○	妻			●					『妻送検 双方の浮気原因か一夫装いメールも』 それぞれに交際相手があり、最近、離婚話が持ち上がっていた 夫婦間のいさかいの背景に双方の男女問題があったとみて 夫婦にはそれぞれに交際相手があり、互いに不信感を募らせていたらしい 容疑者は「いろいろあったが、彼は一度として本当に謝罪する気持ちをもせなかった」と供述 祐輔さんの携帯電話から友人に～メール～自殺を図っていることを偽装した歌織容疑者の工作 切断した理由について「重かった」～「身元を隠す目的もあった」とも供述 05年6月、「夫から暴力を受けた」と～病院で治療を受けていた。 目黒署員が事情を聴いたところ、原因は夫の家庭内暴力だと話したという。		
6	1/13/07	朝	○	○	妻								『歌織容疑者、床板張り血痕隠す 家具も処分』/証拠隠滅が目的だったとみている 祐輔さん暴力でけがをして病院で治療を受けた際、目黒署の聴取に「自宅に帰りたくない ので泊まれる施設を紹介してほしい」と頼んでいた。署員が「傷害などで訴えることができる」 と教えると、「家庭のことで事件にたくない」と答えた。家庭内暴力の被害者を 一時保護できる施設を紹介したが、その後、連絡はなかったという。		
7	1/13/07	夕	○	○	妻					○			『歌織容疑者、窓開放「異臭消す』』 新しい床板を敷いており、床に流れた血痕を隠す目的だったとみられている 友人らに「～帰省する」とうそを～事件の発覚を恐れ、友人らが訪ねてくるのを警戒 セメント2袋を購入～さらに何かの証拠を隠す意図があったのか調べている	実家の県名	
8	1/14/07	朝	○	○	妻								『「どこでもよかった」歌織容疑者、遺棄は場当たり』』 計画性がみられず～遺棄場所も場当たりの決めた可能性が高い	遺棄の方法	

	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他			
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族		識者	関連・問題提起・提案・その他		
9	1/16/07	夕	○	○	妻									『ケースに培養土、夫の遺体入れるー歌織容疑者』 遺体から血が流れ出るのを防ぐ目的だったとみられる	培養土の購入など詳細		
10	1/31/07	朝	○	○	妻									『歌織容疑者を殺人で再逮捕へ』			
11	2/1/07	朝	○	○	妻			●	○		○			『歌織容疑者を再逮捕 「別れるだけじゃ収まらない」夫に激しい恨み』 「殺害したことで、夫との争いに決着がついた」～今も反省の言葉はないという (1)夫の暴力(2)自分の両親への対応の悪さ(3)争いごとがあっても謝らない (4)夫の借金など経済問題(5)夫の異性関係など冷め切った夫婦関係 「何度も離婚を考えたが、これまでの仕打ちに慰謝料をもらうだけでは収まらない」 「合コン」で知り合い、翌年3月に結婚。客室乗務員を目指し～夢破れて～派遣社員に 夫「お金がないので式は挙げません。これからは歌織のために頑張って働きます」と友人に アルバイト生活から工面したシルバーの指輪を～贈った。 弁護士を断念～転職し年収1000万円超収入と～高級マンションの暮らしを手に入れた 夢を追って上京した男女は、出会いによって夢に代わるものを得たはずだった 近所の男性 犬を連れて散歩する2人～一言も交わさず、1メートルほど離れ歩く姿が異様 合コンをセッとした女性「決して高価ではない指輪をしていたころの2人が一番幸せそうだった」	合コンの場所、店 容疑者の高校(県)・大学名 夫の経歴詳細、大学名・会社名		
12	2/22/07	朝	○	○	妻									『妻を起訴』/夫婦間の日常的なきさつや、夫の直前の言動に立腹したことが動機 「ばれちゃうから何とかしないとけない」と考え～切断了			
13	12/18/07	朝	○	○	妻									『歌織被告、20日に初公判』			
14	12/20/07	夕	○	○	妻			●			○			『妻、起訴事実認める 家庭内暴力訴え、責任能力争うー初公判』 思い通りに離婚話が進まない腹立たしさ、過去への暴力への怒りを抑えられなくなり、憎しみを爆発 検察側「一方的な暴力はなく～責任能力はあった」 かぼそい声～。水色のトレーナー姿で入廷～背中まで伸びたストレートの長髪をかきあげながら～ タオルで涙を抑えるように何度もまぶたをぬぐい、目を真っ赤にはらして 夫の両親手記 息子の名誉も傷つけられ～息子の名誉の回復されることを切に願う			
15	2/7/08	夕	○	○	妻									『「結婚直後に夫の暴力」三橋被告「常態化」訴え』 「結婚1週間後～夫の暴力～浮気を疑われ、24時間監視されているような窒息状態の生活」 暴力が常態化～顔の形が変わるほど殴られ、シェルターに入ったことも	責任能力の有無 夫の暴力詳細		
16	2/13/08	朝	○	○	妻									「遺体がある家には怖くて帰れない～」～遺棄した理由/「～重くて～切断するしかない」 (夫に対して)「申し訳にないという言葉しか思い当たりませんが、 正直言って気持ちをどう伝えていいかわからない」と答えるにとどまった	裁判員		
17	3/10/08	夕	○	○	妻						○			弁護士側鑑定医「DVで～逃げられない心境～PTSDの状態」 検察側鑑定医「DV～逃げなかったのは、性的な写真を撮られ～知人にばらまくと脅され～」 検察側「一方的な暴力はなく、PTSDの特徴的な症状もなかった」	『鑑定医が「心神喪失」検察、弁護士双方とも』 責任能力争点 裁判員		
18	3/12/08	夕	○	○	妻									『幻覚体験、話せなかった 三橋被告「警察に怒られ』 「警察に話したら～怒られるだけだった。変なやつと思われたくなくて、弁護人にも話さなかった」 鑑定医に～話したことについて「鑑定のためというよりは、行きたくて仕方なかったカウンセリングの代わり～」	責任能力の有無		
19	3/24/08	夕	○	○	妻										『三橋被告の再鑑定を請求』/鑑定医専門		
20	3/28/08	朝	○	○	妻										再度の精神鑑定、却下		
21	4/11/08	朝	○	○	妻									検察「～証拠隠滅も」「有利な条件で離婚しようとしたが、思い通りにならず憎しみを爆発」 弁護「～暴力や心理的虐待を受けていた」 「ご遺族には心から申し訳なく～」と述べたが、祐輔さんへの謝罪はなかった 夫両親手記・本当に優しく不器用なまっすぐな青年～被告～都合のいい話ばかり 真実の解明と祐輔の無念を晴らしてほしい	歌織被告に20年求刑 責任能力の有無		

犯罪報道分析シート 渋谷夫殺害遺体切断事件2006年 *分析は2007年～)

新聞 読売(朝刊→朝、夕刊→夕) 東京 大阪

日付	紙面	プライバシー										コメント	その他				
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族			識者			
1	1/11/07	朝	○	○	妻	○									『死体遺棄容疑で妻逮捕「就寝中、瓶で撲殺」 「口論が絶えず、～殺害～遺体を切断した」と供述 2人は2003年に、結婚。半年後から「生き方が合わない」と口論になり、自らの存在を否定されたり、暴行を受けたりするうちに殺意を抱いたという 捜索願を出した際、「夫は酒癖が悪く、家庭不和のために家出したのでは～」と虚偽の申告	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
															遺体発見現場		図、バラバラ遺体三つの部位の発見場所 夫職業、外資系金融機関会社員
2	1/12/07	朝	○	○	妻		○	○							『殺害直前に夫と口論 容疑者「昨夏暴行受け殺意」 殺害直前、酒に酔って帰宅した三橋さんと激しく口論していた 「昨夏、ひどい暴行を受けて殺害を決意した」とも供述 結婚半年後～言い争いが絶えず、互いに離婚を口にするように 仲裁に入った友人が食事に誘っても、2人が激昂して席を立つことも 最近、2人とも正式に離婚の手続きを始めようとしていた 知人らに「夫は酒癖が悪く、困っている。連絡もなく、外泊することが多い」 「時々、暴力を振るわれる」と訴え、「顔の骨を折られるような激しい暴行も受けた」と話し 三橋さんの実家近くに住む男性「～あいさつを欠かさない、素直な子～努力家だった」 中高友人男性「いつも明るく、優しい性格で、家庭内暴力を振るうような男とは思えない」		夫職業、外資系金融機関会社員 実家の県市区名、高校「有数の進学校」
3	1/12/07	夕	○	○	妻		○								『夫の暴力を警察に相談 歌織容疑者「謝罪なく」動機供述』 暴行されて病院で診察を受け、警察に相談していた 「彼は一度として『悪かった』という謝罪の気持ちがなかった」とも供述 警察に相談した後も暴力をやめない～怒りを募らせ、殺害に及んだとみて 一昨年～激しい暴行を受け、～病院に運ばれた。～警察官が事情を聞いたところ 「夫から殴られた」などと説明。傷害容疑で被害届を出すように勧められたが、 「夫のことなので届けません」と断り、「帰るところがないので、どこか紹介してほしい」と言って、保護施設の紹介を受けた		
4	1/13/07	朝	○	○	妻		○								『セメント2袋購入 歌織容疑者、夫の携帯も処分』 三橋さんが生存しているよう装ったメールを知人に送っていた 携帯電話～証拠隠滅目的で処分/家具などを粗大ゴミ～床や壁紙の張り替え工事を発注 セメントを使って、証拠隠滅を図ろうとしたとみられる		夫職業、外資系金融機関会社員
5	1/13/07	夕	○	○	妻										『「実家にいる」ウソ 歌織容疑者、友人の訪問断る』 隠ぺい工作を図っており、自宅の様子を友人らに目撃され、事件が発覚するのを恐れたとみて 断りきれず訪問を受け入れた友人～「ペットの犬が生理中なので、血のにおいがするかも～」などと 「生活を切り替えたかった」と供述し、逃走目的の引越しを計画していたという		実家の県名
6	1/14/07	朝	○	○	妻										『就寝中起こされ口論 歌織容疑者、殺害直前に離婚話か』 「寝ているところを酒に酔った夫が帰宅して起こされた。その後、口論になり殺害した」 2人は結婚して半年後～「生き方が合わない」などとしてけんかが絶えず、1LDKのマンションの別々の部屋で寝起きしていた。 最近では、2人とも正式に離婚に踏み切る意向だった～離婚話をめぐって歌織容疑者をなじったりしたため、口論になった可能性が高いとみている		夫職業、外資系金融機関会社員
7	1/15/07	朝	○	○	妻										『歌織容疑者、自宅改装などの理由供述』『「においが残っていたので」』		夫職業、外資系金融機関会社員
8	1/16/07	朝	○	○	妻										『歌織容疑者、培養土敷き詰め遺体切断』『床に血痕残さない』		遺体切断の方法など詳細
9	1/16/07	夕	○	○	妻										『歌織容疑者、遺体を2日間「レッサー」に保管』		遺体切断後の行動など詳細

	日付	紙面	プライバシー										コメント	性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他	
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族				識者
10	1/31/07	朝	○	○	妻	○	○								『夫バラバラ 異臭指摘でタクシー下車 歌織容疑者、きょうにも再逮捕』 歌織容疑者の場当たりの犯行の実態が判明	夫職業、外資系金融機関会社員
11	2/1/07	朝	○	○	妻	○									『歌織容疑者「夫との争い決着」 謝罪や後悔語らず』 殺害の動機を「妻として女としての扱いに不満を持っていた」 「何度も離婚しようと考えたが、慰謝料をもらうだけでは気持ちが収まらなかった」と供述 三橋さんを殺害したことについての謝罪や後悔の言葉はなく、「殺して、夫の争いに決着がついた」と淡々と話しているという	
12	2/4/07	朝		○	妻										『バラバラ遺体、妻逮捕』	ニュース月録・1月 夫、外資系証券会社員
13	2/22/07	朝	○	○	妻											起訴/夫職業、外資系金融機関会社員
14	5/29/07	朝	○	○	妻											公判前手続き適用/夫職業
15	12/20/07	夕	○	○			○								『夫殺害切断初公判』 『DVで心的外傷』主張』 検察側 夫との離婚話が自分に有利に進まないことへの腹立たしさや、 過去に夫から受けた暴力に対する怒りを爆発させ、犯行に及んだ 結婚した後も別の男性と関係を続け、夫とのけんかが絶えなかった 暴力を振るわれ鼻の骨を折ったこともあった 夫にマンションを購入させるなどの条件で離婚をしようと考えていたが、 逆に夫から離婚を切り出され、殺害を決意 一方的な暴力ではなく、PTSDの症状もなかった～責任能力はあった 弁護側「長期にわたり肉体的な暴力など家庭内暴力(DV)を受け続け、 心的外傷後ストレス傷害の状態になっていた」～責任能力はなかったと主張	
16	2/7/08	夕	○	○											『三橋被告「結婚1週間後から暴力』』 紺色の服に白いスボンで出廷。手にハンドタオルを握り締めて 「03年3月に結婚して約1週間後から暴力～首を絞められたり、殴られたりした」と述べ、 その暴力が次第にエスカレートしていった状況を詳述 「飲食のレシートはすべてチェックされ、私がいつだれとどんな食事をしたかをすべて調べられた。 夫から監視されたような生活から逃げたかった」 時折涙を浮かべ、「夫の酒癖や女性問題に嫌気が差し、離婚を申し出たが、逆に 『お前が浮気しているから離婚したがっているのだ』と責められ」と声を詰まらせた 検察側は、～夫との離婚話が自分に有利に進まないことへの腹立たしさや、 過去に夫から受けた暴力に対する怒りを爆発させ、犯行に及んだと主張 弁護側「長期にわたり家庭内暴力(DV)を受け続け、心的外傷後ストレス傷害の状態に～」	責任能力の有無
17	2/8/08	朝	○	○											『渋谷の夫殺害公判 三橋被告「逃げられない、絶望的気持ち』』 「離婚話を切り出したのに離婚届を破られた。夫から逃げられないと、絶望的な気持ちでいっぱい」 「～殴った。夫が起きあがって自分の方に向かってきたので、怖いと思い、何度も殴った」と小声で説明	
18	2/13/08	朝	○	○											『渋谷の夫殺害公判 「夫に申し訳ない」 歌織被告が謝罪』 遺族に対する心境～「心から申し訳ないという気持ち」と初めて謝罪の言葉を口にした 夫に対しても「～言葉で言うと申し訳ないという言葉しか思い当たらない」	
19	2/25/08	夕	○	○			○								弁護側「夫から日常的に暴力を受け続け、心的外傷後ストレス傷害(PTSD)の状態～」 「夫の暴力によるPTSD」とは別の原因で、責任能力が疑われるような事情が確認	「歌織被告、責任能力に問題」 責任能力の有無が最大の争点
20	3/10/08	夕	○	○			○			父		○			医師「幼少時、父親から暴力的な体罰を受けていた。夫から暴力を受け～PTSDの状態」	「歌織被告は心神喪失」鑑定医
21	3/12/08	夕	○	○											弁護側「夫から日常的に暴力を受け続け、心的外傷後ストレス傷害(PTSD)の状態～」	責任能力の有無/心神喪失について 『裁判長「個別に鑑定」』

犯罪報道分析シート 福岡小1男児殺害事件(2008年)

新聞 朝日(朝刊→朝、夕刊→夕) 西部(地方版・福岡→福/日曜版→日) 東京

日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他	
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族			識者
1	9/19/08 朝東		○	母親	○						○		母親2人で～公園に来ていた/母親が、「子どもがいなくなった」と110番通報 散歩した女性「母親が『男の子を見ませんでしたか?』と声をかけてきた」 母親は「子どもに『ここにいてね』と言ってトイレに行ったら、いなくなった」 母親が携帯電話のGPSで居場所を調べていた	公園に6歳男児遺体
2	9/19/08 朝		○	母親	○								母親2人で～公園に来ていた/母親が、「子どもがいなくなった」と110番通報 散歩した女性「母親が『男の子を見ませんでしたか?』と声をかけてきた」 母親は「子どもに『ここにいてね』と言ってトイレに行ったら、いなくなった」 母親が携帯電話のGPSで居場所を調べていた	小1男児 公園で殺害 地図、拡大地図
3	9/19/08 朝			母親				○		○	○		取り乱した母親の姿 現場周辺 散歩中女性 母親は盛んに電話をかけ「何があったかわからないけど、すぐ来て」と叫んで～相手は夫らしかった/「何があったの」「どうしたの」とひどく取り乱していた	『住民ら広がる不安』 学校、パトロール・事件メール/安全指導徹底 校長コメント、児童の性格・様子など
4	9/19/08 夕東	○	○	母親	○			現場周辺	○		発見者		母親と2人で園内で遊んでいた	地図
5	9/19/08 夕	○	○	母親	○			現場周辺	○		発見者		母親と2人で園内で遊んでいた	トイレ見取り図
6	9/19/08 夕							○			校長・保護者			全校集会/集団登下校/カウンセラー派遣 校長・保護者コメント、児童の性格・様子
7	9/20/08 朝東	○	○	母親	○								薫さんは、弘輝君の姿が見えなくなった後、携帯電話のGPSで捜していた	
8	9/20/08 朝				○			通夜参列者	○		父知人		涙を浮かべたまま子どもの手を引く女性の姿もあった	『公園の惨事 涙の通夜』
9	9/20/08 朝	○	○	母親	○			現場周辺			捜索者		薫さんは、弘輝君の姿が見えなくなった後、携帯電話のGPSで捜していた	携帯電話のGPS機能について
10	9/20/08 朝福	○	○	母						○			母の薫さんはやつれた様子で車いすに座り、ずっと涙を流していた	パトロール委員会/カウンセラー派遣 コメント、通夜での親の様子・児童性格
11	9/20/08 夕東	○	○	母	○			現場周辺						凶器について
12	9/20/08 夕	○	○	母	○									凶器について
13	9/20/08 夕			母親	○			葬儀様子	○		父・参列者		両親は長い間弘輝君の頭をなでていた	葬儀
14	9/20/08 夕			母親				現場献花台					弘輝君がいなくなったのは、母親がトイレに行った2、3分の出来事	公園地図
15	9/21/08 朝	○	○	母親	○						被害男児			写真、手を合わせる女性
16	9/21/08 朝				○						公園に来た人・父			携帯発見 地図/『犯人 公園に土地勘か』
17	9/22/08 朝	○	○	母親	○								母親と2人で園内で遊んでいた 薫さんが、トイレに行き～2、3分間のうちに姿が見えなくなった	『トイレ周辺で殺害か』
18	9/22/08 夕東	○	○	○	○								『殺人容疑で母親逮捕 「将来悲観衝動的に」』 「最初から殺すつもりはなかった」と計画性は否認「息子を殺して自分も死のうと思った」 動機「自分の病気や親子間の悩み/当初否認していた理由「第三者の犯行を装った」 「子どもがいなくなった」と自ら110番通報 遺体に抵抗した形跡がなかったこと～薫容疑者から事情を聞いていた	
19	9/22/08 夕東	○	○	母親				○	○				『仲良さそうだったのに 母号泣、容疑認める』 幼い男の子を殺害した疑いで逮捕されたのは、悲しみに暮れる姿を見せていた母親だった 周囲には仲の良い親子と映っていた。なぜ、こんなことにー カーキ色の上着のフードをすっぽりとかぶってうつむいたまま県警のワゴン車に 「私がやりました」と号泣して容疑を認めた 女性「弘輝君をしかるときも、ほおずりしながら抱きしめるなど、かわいがっていた様子～」	

		プライバシー								コメント			その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
													他の人たちも多きが、仲の良い母子とみていた	
													通夜では、車いすで姿を見せ、終始ハンカチで顔を押しさえていた	
													男性「声をかけられないほど落ち込んでいた」	
													保護者の父「育児で悩んでいる」と打ち明けられた「活発で手がかかって大変」	
													「起きられない日もあった」と体調が優れない～「私たちや学校が、行政がもっとサポートすれば～」	
													「自分の病気のことで将来を悲観した」という趣旨の話をしている	
													保護者主婦 薫容疑者はPTAの広報係をしていたが、「持病があるので」と辞めた。	
													子ども会とき、首に白いコルセットをつけ、その上に赤いバンダナを巻いていた。	
													別の主婦（子供会に）弘輝君は初めて参加したためか興奮している様子だった。	
													だが、薫容疑者は弘輝君を送ってきただけで参加しなかったことから、	
													「普通なら親が付き添うものなのに」と感じた。「私の子には、『あのお母さんは弘輝君を亡くしてつらいだろうね』と話してきた。何と説明したらよいのか…」	
													遺体発見者男性 逮捕の報に憤っていた「(いなくなったという)母親の言葉を信じて一生懸命捜したのに、裏切られた思いだ」	
													当時、薫容疑者はベンチに座ったままで、トイレ付近を捜そうとはしなかったという	
													『母親の犯行多発』/親が子どもを殺害した最近の主な事件	表(※8件中、7件母、1件父/「首絞め」4件)
													06・1月千葉県船橋市、母親が長女(6)の首を絞めた	全て親と子の年齢記載
													2月三重県東員町、長男(3)と長女(1)の首を絞めるなどして殺害～母親逮捕	
													4月秋田県能代市の川で、小4女兒(9)が水死体～7月母親が突き落とした殺害	警察庁まとめ、保護者による殺人や障害、
													07・1月岩手県花巻市、母親～長男(5)と次男(3)を首を絞めるなどして殺害	保護責任者遺棄などの児童虐待の
													3月三重県多気町、生後2カ月の長男を浴槽の湯につけて殺害～母逮捕	被害児童者数、今年上半期に166人に、
													10月東京都府中市、生後8カ月の長女の首を絞めて窒息死～母親逮捕	00年虐待防止法成立後、最多。
													08・9月福島県玉川村、産んだばかりの女兒を母親が川に投げ込んで水死させ	死亡児童29人、～殺人事件の被害児童13人
													殺人・同未遂事件～検挙された24人のうち、実母や継母などの母親が17人と約7割を	
													占めるのが特徴。一方、児童虐待全体では父親が114人に対して母親は51人と	
													圧倒的に少ない。この傾向は年間ベースでもほぼ同じ	
													殺人・同未遂容疑で検挙の母親のうち実母は16人。	
													うち11人は児童と死のうとして、犯行後に自殺(未遂も含む)を図っているという	
													死亡児童の男女別、07年37人のうち、男子24人、女子13人。男子の被害が多い傾向	33人が6歳以下で約9割
20	9/22/08	夕	○	○	○	○	○						『小1絞殺容疑 母親逮捕 「将来悲観衝動的に」』	
				会社員									「最初から殺すつもりはなかった」と計画性は否認「息子を殺して自分も死のうと思った」	
													動機「自分の病気や親子間の悩み」/当初否認していた理由「第三者の犯行を装った」	
													「子どもがいなくなった」と自ら110番通報	
													遺体に抵抗した形跡がなかったこと～薫容疑者から事情を聞いていた	
21	9/22/08	夕	○		母親								『母親の犯行目立つ 今年上半期 児童殺人・未遂』	
													親が子どもを殺害した最近の主な事件	表(※8件中、7件母、1件父/「首絞め」4件)
													06・1月千葉県船橋市、母親が長女(6)の首を絞めた	全て親と子の年齢記載
													2月三重県東員町、長男(3)と長女(1)の首を絞めるなどして殺害～母親逮捕	
													4月秋田県能代市の川で、小4女兒(9)が水死体～7月母親が突き落とした殺害	警察庁まとめ、保護者による殺人や障害、
													07・1月岩手県花巻市、母親～長男(5)と次男(3)を首を絞めるなどして殺害	保護責任者遺棄などの児童虐待の
													3月三重県多気町、生後2カ月の長男を浴槽の湯につけて殺害～母逮捕	被害児童者数、今年上半期に166人に、
													10月東京都府中市、生後8カ月の長女の首を絞めて窒息死～母親逮捕	00年虐待防止法成立後、最多。
													08・9月福島県玉川村、産んだばかりの女兒を母親が川に投げ込んで水死させ	死亡児童29人、～殺人事件の被害児童13人

		プライバシー										コメント			その他
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など		関連・問題提起・提案・その他
													殺人・同未遂事件～検挙された24人のうち、実母や継母などの母親が17人と約7割を占める 一方、児童虐待全体では父親が114人に対して母親は51人と圧倒的に少ない。 母親の薫容疑者は弘輝君が小学校に入学する前、子供の発達について福岡市に 相談していた～虐待の有無については確認していないという		
													殺人・同未遂容疑で検挙の母親のうち実母は16人。うち11人は児童と共に死のうとして、 犯行後に自殺(未遂も含む)を図っているという。薫容疑者も「自分も死のうと思った」と供述		
													死亡児童の男女別、07年37人のうち、男子24人、女子13人。男子の被害が多い傾向		33人が6歳以下で約9割
22	9/22/08	夕	○	○			○		○	○	○		『仲良い母子』に何が 容疑認めて号泣』 幼い男の子を殺害した疑いで逮捕されたのは、悲しみに暮れていた母親だった 母親の薫容疑者は息子の行方がわからなくなったと動揺した様子で訴え、住民と一緒に捜していた 「親子の間に何があったのか」 カーキ色の上着のフードをすっぽりとかぶりうつむき加減で表情は見取れなかった 「私がやりました」と犯行を認めたときは号泣したという『育児・体調悩みもらす』 女性「弘輝君をしかりるときも、ほおずりしながら抱きしめるなど、かわいがっていた様子～」 他の人たちも多くが、仲の良い母子とみていた 通夜、車いすで姿を見せ、終始ハンカチで顔を押しさえていた 男性「声をかけられないほど落ち込んでいた」 保護者の父「育児で悩んでいる」と打ち明けられた「活発で手がかかって大変」 「起きられない日もあった」と体調が優れないことも話し 「私たちや学校が、行政がもっとサポートすれば～」 「自分の病気のことで将来を悲観した」という趣旨の話をしている 保護者主婦 薫容疑者はPTAの広報係をしていたが、「持病があるので」と辞めた 子ども会するとき、首に白いコルセットをつけ、その上に赤いバンダナを巻いていた 別の主婦（子供会に）弘輝君は初めて参加したためか興奮している様子だった。 だが、薫容疑者は弘輝君を送ってきただけで参加はせず、「普通なら親が 付き添うものなのに」と感じた。「私の子には、『あのお母さんは弘輝君を亡くして つらいだろうね』と話してきた。逮捕を何と説明したらよいか…」と困惑した表情 『裏切られた』遺体発見者』 遺体発見者男性「なぜ、あんなことをしたのか。母親の言葉を信じて一生懸命 捜したのに、裏切られた思いだ」 当時、薫容疑者はベンチに座ったままで、トイレ付近を捜そうとはしなかったという 夫とジュースを供えに来た女性 母親が逮捕されたというニュースに言葉を失った。 「子供は言葉では表現できないほど大切な存在。 事件になる前に母親と弘輝君SOSをくみ取れなかったのが残念」 校長「信じられない。こんなに悲しいことはない」と苦渋の表情		
							献花台						西区に親族		
													『危ないからおいで』と弘輝君をトイレに～首を絞めた』 薫容疑者は足に力が入らなくなる病気という 薫容疑者の病気と育児の両方が動機につながった		
													『子のため転居も 特別支援学級求め』 「自分の病気で将来を悲観し、子どもを殺して自分も死のうと思った」 「子どもが手に負えない時があった」/自らの病気と育児の悩みを打ち明けた		発達障害児について「家庭孤立しない工夫を」 こども総合相談センター課長・教授(臨床心理) 校長コメント
23	9/23/08	朝東	○	○	○	○					○		『母親、計画性否定』/『衝動的』では不自然との見方も		弘輝君、軽度発達障害・支援学級
													会社員		
24	9/23/08	朝	○	○	母親	西区	○				○	○	西区に実家		

		プライバシー								コメント			その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
													知人に相談し、子どものために引っ越しをした	
													実家近くの主婦「足が不自由なので～」と申し訳なさそうに話した	
													外出した姿を目にした覚えはない。「ちょっと影のある人だなと思っていた～	
													病気の影響だったのかも」。対照的に弘輝君はわんぱくに映った	
													実家近くの男性 足を引きずるように～歩いていた。「そんなに体の調子が悪いのか」と感じた	
													特別支援学級がある小学校に通わせるため、現在のマンションに引っ越した	今春までは実家で暮らしていた
													知人女性「近くの学校には(支援学級がないので)通わせられない。	
													引っ越しは経済的に大変だが仕方がない」と話していた	
													保護者父 育児の悩みを打ち明けられた「活発で手がかかって大変」	
													捜査関係者「子どもが言うことを聞いてくれなかったり、反抗がひどかったり	
													して手に負えない時があったようだ」	
													同じ保育園に娘が通っていた女性「『なんで死んじゃったの?』と尋ねられるのが一番怖い	
													母親が我が子を殺すなんてどう伝えればいいんでしょうか」	
													ある保護者「弘輝君が他の子に迷惑をかけていないか、とても気にかけていた」と話す	
25	9/23/08	朝福	○	○	母	西区					○		『小1殺害容疑 母逮捕 学校、新たな衝撃』	
													児童が殺害され、動揺が収まらないうちに、その母親が逮捕された	
													校長「子どもが一番信頼する母に殺害されたとすると、(児童らが)不安を感じるはず。	市教委、カウンセラー・倍增
													『お父さんとお母さんはみんなのことが一番大事なんだよ』と言ってあげたい」	教育長「児童の心のケア、安全・
													薫容疑者が動機として供述したとされる自身の病気については学校に相談はなかった	安心確保に努めたい」
													「子どもを心配し、よく世話をする母」という印象で、虐待などの様子も見られなかった	
													ある母親「ママ、ママと言ってお母さんが大好きな様子だった。お母さんも子どものこと	
													をすごく心配している様子だったのに」と悲しげな表情を浮かべた	
26	9/24/08	朝東	○	○	母親	○							『「介助断られ」母が動機説明』/「トイレの介助を頼んで断られ、絶望的になった」	
													弘輝君に「一緒に遊ぼう」と誘われたが、「(足に力が入らなくなる病気なので)	
													お母さんは出来ないのよ」と答え、機嫌を損ねていた。トイレで介助を	
													頼んだが「何でそんなことをしないといけないの」と言われ、絶望的になった	
													ホースについて「普段から自殺する時に使うために入れていた」と説明	
27	9/24/08	朝	○	○	母親	○							『「介助断られ絶望」 弁護士に母話す』/「トイレの介助を頼んで断られ、絶望的になった」	
													薫容疑者は足に力が入らなくなる重い病気を患っており、普段から弘輝君にトイレ	
													で立ち上がる際に手伝ってもらうことがあった	
													弘輝君に「一緒に遊ぼう」と誘われたが、「(足に力が入らなくなる病気なので)	
													お母さんは出来ないのよ」と答え、機嫌を損ねていた。トイレで介助を	
													頼んだが「何でそんなことをしないといけないの」と言われ、絶望的になった	
													自分の病気と親子関係の悩みを動機～「衝動的に首を絞めた」と供述～	
													しかし、～第三者の犯行を装うような言動もっており	
28	9/24/08	朝	○	○	母親	○							『容疑の母「自殺用持ち歩く』	
													ホースについて「普段から、自殺する時に使うためにカバンに入れていた」	
													「自分の病気で将来を悲観していた。子どもを殺して自殺しようと思っていた」	
													足に力が入らなくなるなど重い病気を抱えていたことや、育児のことで悩んでいた	
													「自分の病気で将来を悲観していた。子どもを殺して自殺しようと思っていた」	
													「弘輝が待っているから早く逝かなきゃ」「死刑にしてほしい」	
													第三者の犯行を装うような言動をとった点～「正常な状態ではなくなっていたようだ」	

日付	紙面	プライバシー								コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他		
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者		関連・問題提起・提案・その他		
29	9/25/08	朝	○	○	母親	○								『容疑の母、息子運べず』 「遺体を雑木林に運んでそこで自分も死のうとしたが、重くて運べず、トイレに置いた」 病身だった/手足に力が入りにくくなる重い病気を患って～弘輝君を近くの林まで運べなかった 弘輝君が遠くにいるように偽装するためだった可能性	全校集会	
30	9/25/08	朝福			母親					○				『親の孤立感実感』 市長「親が大都市で孤立感を深めている～(親からの相談を)待っているだけではサインを見落とすことが多い。家庭に対して学校が働きかけるのが大切ではないか」	学校長・園長連絡会	
31	9/27/08	夕	○	○	母親				○	○	○			『持病が悪化 自殺考える 慰められ犯行明かせず 小1殺害容疑の母、語る』 子どもへの負い目、自殺未遂、殺害後の混乱… 病気と育児に悩む母親の素顔が垣間見える 数年前から全身に激しい痛みが生じる病気を患い、トイレの際には夫や弘輝君に手伝いを頼んでいた。1人である時は極力水分をとらないようにしていたという 警察署内で階段を歩くことも難しいという/弘輝君に「手がかかる」と感じていた 主治医に入院勧められたが「弘輝と夫を2人だけにするわけにはいかない」と断った 授業参観などに満足に参加できず、不満を募らせる弘輝君に負い目を感じていた 病状は最近、悪くなった。何度か自殺を考え、今月上旬には大量の睡眠薬をのんだ。 薬を流し台にはき、弘輝君が水を流してもう一度のものを防いだことも。 10日ほど前からは、自殺に使うためのホースを持ち歩く 今年の夏休み、弘輝君とほとんど遊んであげられず、事件直前の2,3日は寝たきりだった 「たまたま遊ぼうと」2人で向かったのが小戸公園だった 「一緒に遊ぼう」と誘われたが、体調が悪く、応えられなかった トイレの介助を頼むと、弘輝君の不満が爆発した。「1人でできないの」。 「絶望的になり、もうどうでもいいやと思った」 混乱した状態で夫に電話～周りに聞いたり、GPSで捜すように言われ、その通りの行動を取った 家族から慰められ、殺害を明かせなかった 公園に行つて間もないうちに殺害したとみられることから、計画性の有無について慎重に調べ 第三者の犯行を装った可能性もあるとして 昨夏、発達教育センターを訪れた。その後、姿を見せていない。 センター所長「継続して相談に来ていれば救えたかもしれない」と悔やむ 教授(障害児教育)「子育ては苦勞の先に楽しさが待つが、苦勞が永遠に続くのでは、 と不安になることもある。発達障害は難しさが他人に理解されにくい」	社会に大きな衝撃を与えた殺害事件 厚生省「病気は原因不明。 治療法も確立されていない」 軽度発達障害あり・支援学級 行政のサポートが必要	
32	10/1/08	朝	○	○	母親	○								『母親の精神鑑定請求』/手足に力が入らない～、錯乱状態に陥ると～力が入る。 偽装工作、不可解/事件前の生活などから憎しみなどに基づく明確な殺意を抱いたとは考えにくい	弁護士、地検に	
33	10/2/08	朝	○	○	母親	○				○				『薫容疑者、事件前に飲酒「発泡酒2本」供述』/「事件前に酒を飲んだ」 「トイレで衝動的に首を絞めた」と供述～飲酒した理由や事件の関連について調べる 「事件当日の昼ごろ、近くのレストランで発泡酒を2本飲んだ」 「トイレの介助を頼んだところ断られ、絶望的になって首を絞めた」 殺害を公園に行く前から考えていた可能性も 弁護士「酒は時々飲んでいたので、当日は病気のリハビリをかねて 駅まで歩き、帰りに飲みたくなったようだ」		
34	10/2/08	夕	○	○	母親				○	○				『保険会社に死亡を連絡 男児殺害容疑の母』 事件後、生命保険会社に弘輝君の死亡を電話で伝えていた		

		プライバシー								コメント			その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
													弁「弘輝くんが亡くなったことをどこに連絡するべきか夫と相談し、保険会社にも伝えたようだ」	
													薫容疑者は重い病気を患っていたため、加入できなかった	
35	10/5/08	日		母親									『男児殺害、母逮捕に関心』/1位～母親の逮捕に、閲覧数は2位の倍以上に	日曜版 ニュースwatch
36	10/9/08	朝	○	○	母親	○							『容疑の母親精神鑑定へ』	
													「衝動的に首を絞めた。自分も死のうと思った」弁護士「行動、覚えていない部分がある」	
													精神科に通院し、睡眠薬で自殺を図ったことも	
37	10/19/08	朝東	○	○	母親	○	○	○	○	夫	○		『福岡小1殺害 父語る 妻を追い込んだ 私も加害者だ』	線維筋痛症について
						遺影							「追いつめられていたことに、なぜ気づいてやれなかったのか」	医大センター長コメント「症状理解してもらえず～」
													事件から1カ月。夫は、妻の心情にうとかった自分を責めてきた。	
													「妻に謝りたい」。薫容疑者に会える日を、待っている	
													勤務先で知り合った2人が結婚したのは00年。2年後に弘輝君が生まれた。	
													「薫はずっとジャニーズに入ると、かわいがっていた」	
													数年前から体調を崩し～06年、全身に痛みが走る「線維筋痛症」と診断。	
													シャワーを浴びるのも痛がる。手に力が入らない、と台所に立つ時は包丁をタワで手に固定	
													弘輝君「薫の手に負えず、最後は自分が押さえ込んでいた」	弘輝君 物を投げたり、壁をけったり
													うすうす気づいていたらしい薫容疑者は、動揺したそぶりは見せなかったが	4.5歳の頃、発達障害を指摘され
													「障害に関する本を買って読んでいた。受け入れざるを得なかったんでしょ」	
													夫は障害が分かる前、いうことをきかない弘輝君に手を上げた。	
													それが原因で一時、母子は夫と離れて過ごした。	
													夫は二度と体罰はしないと誓い、昨夏から薫容疑者の実家で再び一緒になった	
													今年2月、特別支援学級がある小学校に通わせるため、近くに転居した	
													薫容疑者は8月ごろから体調がさらに悪化	
													育児の負担も重なり、自殺～。夫は「死んだら弘輝が悲しむ」とさとし、入院させる話を進めた	
													夫は「(第三者の犯行を装った)薫の言葉を信じた」	
													実家で泣きながら、体にできたアザを母親らに明かした	
													「全部弘輝にされたの。あの日は特にひどかったの」	
													首のコルセットの両端引っ張って自殺しようとし、付き添っていた婦警に制止され	
													夫は「薫を追いつめ込んで自分も事件の加害者だ。誤りたい」と唇をかむ	
38	10/19/08	朝	○	○	母親	○	○	○	○	夫	○		『妻の苦悩にうとかった 難病悪化 育児重荷 自殺未遂「追い込んだ」と夫後悔』	「線維筋痛症 200万人」
						遺影							「追いつめられていたことに、なぜ気づいてやれなかったのか」	医大センター長コメント「症状理解してもらえず～」
													事件から1カ月。夫は、妻の心情にうとかった自分を責めてきた。	精神鑑定依頼
													「妻に謝りたい」。薫容疑者に会える日を、待っている	
													勤務先で知り合った2人が結婚したのは00年。2年後に弘輝君が生まれた。	
													「薫はずっとジャニーズに入ると、かわいがっていた」	
													3人で数カ月に1度は水族館や動物園に家族旅行に出掛けた	
													数年前から体調を崩し～06年、全身に痛みが走る「線維筋痛症」と診断。	
													シャワーを浴びるのも痛がる。手に力が入らない、と台所に立つ時は包丁をタワで手に固定	
													弘輝君「薫の手に負えず、最後は自分が押さえ込んでいた」	弘輝君 物を投げたり、壁をけったり
													うすうす気づいていたらしい薫容疑者は、動揺したそぶりは見せなかったが、内心は	4.5歳の頃、発達障害を指摘され
													どうだったのか「障害に関する本を買って読んでいた。受け入れざるを得なかったんでしょ」	
													夫は障害が分かる前、いうことをきかない弘輝君に手を上げた。	
													それが原因で一時、母子は夫と離れて過ごした。	
													夫は二度と体罰はしないと誓い、昨夏から薫容疑者の実家で再び一緒になった	

		プライバシー								コメント			その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
													仕事が忙しく、土曜日にも出勤することが多い。多忙で厳しい父と優しい母。 弘輝君は自然と薫容疑者に甘えるようになっていた 今年2月、特別支援学級がある小学校に通わせるため、近くに転居した 薫容疑者は8月ごろから体調がさらに悪化 育児の負担も重なり、自殺～夫は「死んだら弘輝が悲しむ」とさとし、入院させる話を進めた 夫は「(第三者の犯行を装った)薫の言葉を信じた」 実家で泣きながら、体にできたアザの理由を母親らに明かした 「全部弘輝にされたの。あの日は特にひどかったの」 首のコルセットの両端引っ張って自殺しようとし、付き添っていた警察官に制止され 夫はその場にはいなかったが、「逮捕は信じられない、の一言だった。 アザがあったことも初めて知った」 「弘輝を殺し自分も死のうと思った」と供述 夫は「薫を追い込んだ自分も事件の加害者だ。誤りたい」と唇をかむ。 「何年間は1人で事件のことを考えてほしい。自分も反省しながら待っている」	
39	12/10/08	朝	○	○	母親								『容疑の母を起訴へ』	責任能力
40	12/12/08	朝	○	○	母親								『男児殺害の罪 容疑の母起訴』	刑事責任能力問えると判断
41	3/3/09	朝	○	○								○	拘置所～次第に症状悪化。「今までで一番ひどい痛み～失神したり動けなく～」と訴え	『外部の診療「拘置所拒否』 医大センター長「早急に診断を～処置必要。 拘置所が病状を理解していない可能性も』
42	3/9/09	朝福	○	○	母親					○	○	○	「発達障害がある弘輝の育児や自分の病気に悩んでいた」 特別支援学級がある小学校に入れるのを機に、実家を出て3人で学校近くに引っ越し 結果的に母子だけの時間が長くなり、薫被告が精神的に追い込まれることに 親族「実家に残っていれば、事件は起きなかったかもしれない」と悔やむ 「薫被告の気持ちはわかる。この子さえいなければいいのに、 と思うときは私にもあった」発達障害の子を持つ女性	『特別支援教育福岡市が重視』 表、福岡市の特別支援学級 『小中に19学級新設へ・支援員も 大幅増』市教委「事件とは関係ない」 特別支援教育についての説明 付属特別支援教育センター長「質の向上重要」
43	1/1/10	朝	○	○	母親								『母の再鑑定 請求』	抗うつ剤 厚労省による薬の副作用
44	1/13/10	朝	○	○	母親								『母の勾留停止を請求』/全身に痛みが走る線維筋痛症、痛みが増してきた 「下半身の痛みでほとんど歩けない」「全身の激痛・けいれん・硬直」などの症状を訴え 痛みで面会できない状態	
45	1/19/10	朝	○	○	母親								『母の勾留停止 地裁認めず』 全身に痛みが走る線維筋痛症、痛みが増し勾留に耐えられる状況にない	
46	2/23/10	朝	○	○	母親									公判前整理手続き/刑事責任能力
47	3/1/10	朝	○	○	母親							○		抗うつ剤 影響か 製薬会社「否定できぬ」 医科大教授(精神科)コメント
48	3/2/10	朝	○	○	母親							本人手紙	『「心と体、限界だった」母親の被告、あす初公判』 「障害者が障害者を育てる生活がどれだけ厳しいものか、世間にわかってもらいたい」 全身に痛みが走る難病の自分と、発達障害と診断された弘輝君 「私たち夫婦は本当に弘輝のことが大好きで、大きくなって様々な場面で活躍～楽しみに～」 2人きりのときに弘輝君から殴るけるの暴力を受け、苦しんでいたことも明らかにした 「何をされようと、何を言われようと『仕方がない。何もしてあげられない 私の方が悪い』と自分に言い聞かせていた 夫婦関係でも悩み、「自分一人の殻に閉じこもり～精神的にも身体的にも限界でした」	刑事責任能力

		プライバシー										コメント			その他
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など		関連・問題提起・提案・その他
														「弘輝を誘って買い物に行かなければ、『公園で遊ぶ?』と聞かなければ…」と後悔の念 事件直後に警察に連絡しなかった理由について「自分の中で何が起きているのか 分からなかった」と涙声になり、「家族にも『あんたにあんなことできるわけがない』と 言われて、ますます言い出すタイミングがなくなった」 「今日、生きていれば弘輝の誕生日です」 「本当につらい～今にもその辺りから『ママ、何しよう?』と息子が現れるのでは…と思う～」	
49	3/3/10	夕東	○	○	母親									『男児殺害初公判 母親罪状認める』 検察側 被告は全身に痛みが走る難病を患い、弘輝君は発達障害～事件の背景 日頃から弘輝君に暴言を吐かれるなどしたことで憤懣がたまり、「殺してしまいたい」～ 凶器をしのばせるように～トイレ、手伝ってもらった弘輝君から暴言を吐かれたため「憤懣が爆発」 弁護側「事件前まで被害者には愛情を持って接していた」	刑事責任能力
50	3/3/10	夕	○	○	母親									『富石被告「息子のこと、心つぶれそう」』 検察側 被告は全身に痛みが走る難病を患い、弘輝君は発達障害～事件の背景 日頃から弘輝君に暴言を吐かれたり、わざとぶつかるなどの暴力を受けたり していたことで憤懣がたまり、「殺してしまいたい」～凶器をしのばせるように。 トイレ、手伝ってもらった弘輝君から暴言を吐かれたため「憤懣が爆発」 検察側「不審者による犯行を装った」「息子が迷子になった」 「遺体が発見された際も悲劇の母親を演じた」 弁護側「事件前まで被害者には愛情を持って接していた」 ベージュのカーデガン、黒っぽいパンツ姿。髪は肩まで伸びていた。 勾留中～体調をひどく崩したとされるが、補助を受けず席に着いた 落ち着いた表情で審理を聴いていたが、～2人を映した防犯カメラの画像～ 顔をゆがめながら涙を流していた 線維筋痛症という難病を抱える～、寒い時期は痛みが増す 公判前整理手続きには姿を見せ、「がんばります」と公判に臨む意欲 手紙には「色々考えてしまい、心がつぶれそう～息子のこと、家族・親族のこと…」と 不安な胸の内も記したが、「どんな判決が下されようと、それをきちんと受けとめる心構え ～たとえそれが『死刑]でも～」と罪と向き合う姿勢を見せていた	刑事責任能力 抗うつ剤
51	3/4/10	朝	○	○	母親									『検察「子の暴言」弁護側『自棄』』 検 弘輝君に暴言や暴力を受けた富石被告が「殺したいという気持ち」で凶器を準備 弁 全身に痛みが走る線維筋痛症～体調の悪化から自殺を考え、道具として準備 検 トイレで「病気のママなんかいらん。早く死んでしまえ」と暴言を吐かれ 弁 「どうでもいいという気持ちになり、首を絞めた。気づいたら倒れていた」	『動機でも対立』 刑事責任能力・抗うつ剤
52	3/11/10	朝福	○	○	母親									『息子殺害の状況記憶があいまい』/検察 トイレで暴言を吐かれ、殺害 被告「気づいたら～倒れていた」「私も死にたいと思って～」 「なぜ携帯を捨てたのか覚えていない」病院に行っ、自分が殺害したことを「悟った」	精神科医(検察側・証人)、責任能力認め
53	3/18/10	朝	○	○	母親									NPO医療ビジネスセンター理事長(弁護側証人)	『抗うつ剤副作用、医師「影響強い』』
54	4/22/10	朝福	○	○	母親										精神科医尋問へ
55	6/18/10	朝福	○	○	母親									精神科医で大学院教授(弁護側・証人)	再鑑定を求める/抗うつ剤の副作用
56	7/29/10	夕	○	○	母親									『再鑑定認めず 母の弁護側請求棄却』 弁 心神喪失、耗弱状態/検 暴言や暴力を受け～準備したホースで殺害 弘輝君は発達障害、薫被告は全身みに痛みが走る線維筋痛症	男児殺害事件の説明

		プライバシー										コメント	その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
													薫容疑者は病気を抱え、特別支援学級に通う弘輝君の子育てにも悩みがあった 「子供を連れて公園に来た・トイレに～2、3分の間に行方が分からなく」 県警は事件直後から、薫容疑者が第三者の関与を偽装したとみて	
18	9/22/08	夕東	○	○	母親	△	○			○	○	○	『教育熱心な母、なぜ 知人に「子供といたい』』 住所「近くの」	
						顔・全身							母親が逮捕されるという、やるせない展開 子育てに熱心で、PTA役員も務めていた/「なぜ、わが子を…」関係者は言葉を失った 「トイレに行った間に、子供の姿が見えなくなった！」そう言って、～助けを求めた 息絶えた弘輝君を見つくと、顔が黒ずんだ弘輝君にすがりついて泣いた 救急車で病院に向かう間は、ずっと名を呼び続けた 葬儀では出棺前、薫容疑者が弘輝君の頭をなで続ける様子が参列者の涙を誘った 同級生の母親 懇談会のあいさつで「うちの子は落ち着きがないところがあるので、 迷惑をおかけすることがあるかも知れません」と泣き出しそうな顔で話していた 学童で付き合いがあった保護者「子育てはご苦労されていた。 『子供と一緒に過ごしたい』と(会社事務の)仕事を休業し、学童保育には来なく なっていた。相談できる人がいなかったのではないか」 任意同行～草色のパーカーを着て顔をすっぽりと覆い、うつむいて重い足取りで 葬儀翌日～「私がやりました…」そう打ち明けると、せきをを切ったように号泣した 落ち着くと、自分が病気であることや、子育てに悩みがあって将来を悲観していたことなど語り始めた ジャーナリスト「我が子を他の子供と見比べふびんに思った末のとっさの行動ではないか。 発見時に弘輝君にすぎたのは演技ではなく、申し訳ないという気持ちがあったのだろう。 6歳児の命を奪った行為は許し難いが、社会として手をさしのべることができなかったのか。 非常に残念な事件	軽度の発達障害・支援学級に
													虐待に詳しい教授(児童福祉論)「子育ての悩みが殺人の原因だったとすれば、 子供への期待が高く、しっかりと育てたいという気持ちが人一倍強かったのかも～ しかし、思い通りに育っていない、育てていく自信がないと、悲観的になってしまった のではないか。」	障害児の親同士の集いや仲間関係が大切 地域のネットワーク・学校・関係機関が 家庭をサポート
													子供が母親に殺害された最近の主な事件 98.10月長崎県諫早市、高1男子(16)水死。保険金目的で殺害した疑いで、 母親と知人の男を逮捕。父親も殺害 00.9月埼玉県上尾市、小3女兒(9)を絞殺した疑いで、母逮捕 04.12月長野県松本市、長女(9)と長男(3)を石で殴り殺害した疑いで、母親逮捕 06.2月三重県東員町、母親が3歳長男と1歳長女を絞殺 4月秋田県藤里町、小4女兒(9)、遺体発見。母親を殺人容疑で逮捕。近くに住む男児(7)も絞殺 5月神奈川県平塚市、男女5人の遺体、娘(19)を絞殺した母親逮捕。乳幼児の遺体3体は、不起訴 10月秋田県大仙市、男児(4)が遺体で発見。母親と交際相手の男を逮捕 07.10月熊本市、次男(24)の首をネクタイで絞め殺害した母親を逮捕	8事件(※うち絞殺5件)、母親の年齢記載
19	9/22/08	夕	○	○	○	△	●			○	○		『子育てに悩み、トイレで首絞め遺棄 母を逮捕』 住所「近くの」	
				会社員									「子供を殺して自分も死ぬつもりだった。将来を悲観し、衝動的にやった」 特別支援学級に通う弘輝君の子育てに加え、自身の病気でも悩んでいた 「子供を連れて公園に来た・トイレに～2、3分の間に行方が分からなく」 「子供がいなくなった」と話し/～一緒に捜索 県警は事件直後から、薫容疑者が第三者の関与を偽装したとみて ～隠ぺい工作をしていたとみて	

		プライバシー								コメント			その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
20	9/22/08	夕社	○	○	母親	△	●			○			『母逮捕 悲劇の母から一転、「私がやった」と号泣』	住所「近くの」
										○			自ら病気を打ち明け、子供の将来悲観か	
													母親が逮捕されるという、やるせない展開	
													子育てに熱心で、PTA役員も務めた～「私がやりました」と号泣	
													「なぜ、わが子を…」関係者は言葉を失った	
													任意同行～草色のパーカーを着て顔をすっぽりと覆い、うつむいて重い足取りで	
													葬儀翌日～「私がやりました…」そう打ち明けると、せきをを切ったように号泣した	
													やがて落ち着くと、自分が病気であることや、子育てに悩みがあつて将来を悲観	
													していたことなど語り始めた	
													県警は事件直後から薫容疑者の説明に「不可解な点」があるとみて	
													捜査課長「我が子を殺害したという事件は、警察としてもやりきれない	署長「～県民に極度の不安を与えた。
													思いがする」と複雑な表情を浮かべた	防犯活動してくれた方々に感謝」
													「トイレに行った間に、子供の姿が見えなくなった！」そう言って、～助けを求めた	
													息絶えた弘輝君を見つけると、顔が黒ずんだ弘輝君にすがりついて泣いた	
													救急車で病院に向かう間は、ずっと名を呼び続けた	
													葬儀では出棺前、薫容疑者が弘輝君の頭をなで続ける様子が参列者の涙を	
													誘ったという。すべては演技だったのか…。	
													同じクラス母親「お母さんはPTAの広報委員をしていて、子育てに熱心だった」	コメント、児童の様子・性格
													同級生の母親 懇談会のあいさつで「うちの子は落ち着きがないところがあるので、	軽度の発達障害・支援学級に
													迷惑をおかけすることがあるかも知れません」と泣き出しそうな顔で話していた	
													学童で付き合いがあつた保護者「子育てはご苦労されていた。	
													～『子供と一緒に過ごしたい』と仕事を休業し、学童保育には来なく	
													なっていた。相談できる人がいなかったのではないか」	
													一緒によく通った公園で母子の間に何があつたのか。	
													教育熱心な母親は追い詰められていたのか。	
													子供が母親に殺害された最近の主な事件	
													98.10月長崎県諫早市、高1男子(16)水死。保険金目的で殺害した疑いで	
													母親と知人の男を逮捕。父親も殺害	
													00.9月埼玉県上尾市、小3女兒(9)を絞殺した疑いで母逮捕	8事件(※うち絞殺5件)、母親の年齢記載
													04.12月長野県松本市、長女(9)と長男(3)を石で殴り殺害した疑いで、母親逮捕	
													06.2月三重県東員町、母親が3歳長男と1歳長女を絞殺	
													4月秋田県藤里町、小4女兒(9)、遺体発見。母親を殺人容疑で逮捕。近くに住む男児(7)も絞殺	
													5月神奈川県平塚市、男女5人の遺体、娘(19)を絞殺した母親逮捕。乳幼児の遺体3体は、不起訴	
													10月秋田県大仙市、男児(4)が遺体で発見。母親と交際相手の男を逮捕	
													07.10月熊本市、次男(24)の首をネクタイで絞め殺害した母親を逮捕	
21	9/22/08	夕大	○	○	○	△	●			○			『容疑で母逮捕 「将来を悲観」』	住所「近くに住む」
					会社員								「子供を殺して自分も死ぬつもりだった。将来を悲観し、衝動的にやった」	
													特別支援学級に通う弘輝君の子育てに加え、自身の病気でも悩んでいた	
													「子供を連れて公園に来た・トイレに～2,3分の間に行方が分からなく」	
													「子供がいなくなった」と話し/～一緒に捜索	
													県警は事件直後から、薫容疑者が第三者の関与を偽装したとみて	
													隠ぺい工作をしていたとみて	

		プライバシー								コメント			その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
22	9/22/08	夕大	○	○	母親	△	●			○	○		『熱心な母、なぜ 葬儀、頭まで続け「子供と過ごす」休職』 母親が逮捕されるという、やるせない展開 子育てに熱心で、PTA役員も務めた～「私がやりました」と号泣 「なぜ、わが子を…」関係者は言葉を失った 「トイレに行った間に、子供の姿が見えなくなった！」そう言って、～助けを求めた 息絶えた弘輝君を見つくと、顔が黒ずんだ弘輝君にすがりついて泣いた 救急車で病院に向かう間は、ずっと名を呼び続けた 葬儀では出棺前、薫容疑者が弘輝君の頭をなで続ける様子が参列者の涙を誘った 同じクラス母親「お母さんはPTAの広報委員をしていて、子育てに熱心だった」 同級生の母親 懇談会のあいさつで「うちの子は落ち着きがないところがあるので、迷惑をおかけすることがあるかも知れませんが」と泣き出しそうな顔で話していた 学童で付き合いがあった保護者「子育てはご苦労されていた。 ～『子供と一緒に過ごしたい』と(会社事務の)仕事を休業し、学童保育には来なくなっていた。相談できる人がいなかったのではないか」 任意同行～草色のパーカーを着て顔をすっぽりと覆い、うつむいて重い足取りで 葬儀翌日～「私がやりました…」そう打ち明けると、せきをを切ったように号泣した やがて落ち着くと、自分が病気であることや、子育てに悩みがあって将来を悲観 していたことなど語り始めた 『期待、人一倍高く』虐待に詳しい教授(児童福祉論)「子育ての悩みが殺人 の原因だったとすれば、子供への期待が高く、しっかりと育てたいという 気持ちが人一倍強かったのかもしれない。しかし、思い通りに育っていない、 育てていく自信がないと、悲観的になってしまったのではないか。」 『我が子ふびんに?』ジャーナリスト「我が子を他の子供と見比べふびんに思った末の とっさの行動ではないか。発見時に弘輝君にすぎたのは演技ではなく、 申し訳ないという気持ちがあったのだろう。6歳児の命を奪った行為は許し難いが、 社会として手をさしのべることができなかったのか。非常に残念な事件	住所「近くの」 軽度の発達障害・支援学級に
23	9/23/08	朝東	○	○	母親					○			『「学校来ない」責められ 逮捕の母、トイレで殺意抱く』 「一緒に連れていったトイレ内で、学校に来ないことなどを子供に責められた。 子供がふびんで将来を悲観した」 薫容疑者は難病を抱え、弘輝君は特別支援学級に通っていた 子育てに悩む中、トイレ内で衝動的に殺意を抱いた 一緒に公園に来た。この時点では「殺すつもりはなかった」 トイレに行く際も「一人にしておくと思えば一緒にトイレに行った」 病気で足が悪く、身体障害者用の個室に2人で入ったとみられる 「子供と一緒に過ごしたい」と数カ月前に勤務先の会社を退職し、学童保育をやめた 病気で朝起き上がれないこともあり、学校行事への参加も困難だった。 苦悩する中で弘輝君の言動にショックを受けたとみられ、 「自分の病気で自分と子供の将来を悲観した。自分も死のうと思った」	軽い情緒障害～市の発達教育センターで 指導を受け、特別支援学級を決めた
24	9/23/08	朝大	○	○	母親					○			『「学校来ない」責められ トイレ内で殺意抱く』 「一緒に連れていったトイレ内で、学校に来ないことなどを子供に責められた。 子供がふびんで将来を悲観した」 薫容疑者は難病を抱え、弘輝君は特別支援学級に通っていた	軽い情緒障害～市の発達教育センターで 指導を受け、特別支援学級を決めた

		プライバシー								コメント			その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
													子育てに悩む中、トイレ内で衝動的に殺意を抱いた 一緒に公園に来た。この時点では「殺すつもりはなかった」 トイレに行く際も「一人にしておくと思えば一緒にトイレに行った」 病気で足が悪く、身体障害者用の個室に2人に入ったとみられる 「子供と一緒に過ごしたい」と数カ月前に勤務先の会社を退職し、学童保育をやめた 病気で朝起き上がれないこともあり、学校行事への参加も困難だった。 苦悩する中で弘輝君の言動にショックを受けたとみられ、 「自分の病気で自分と子供の将来を悲観した。自分も死のうと思った」	
25	9/23/08	朝	○	○	母親					○			『「学校来ない」責められ 薫容疑者、トイレ内で殺意抱く』 「一緒に連れていったトイレ内で、学校に来ないことなどを子供に責められた。 子供がふびんで将来を悲観した」 薫容疑者は難病を抱え、弘輝君は特別支援学級に通っていた	地検に送検
													子育てに悩む中、トイレ内で衝動的に殺意を抱いた 一緒に公園に来た。この時点では「殺すつもりはなかった」 トイレに行く際も「一人にしておくと思えば一緒にトイレに行った」 病気で足が悪く、身体障害者用の個室に2人に入ったとみられる PTAの広報役員を務めるなど子育てに熱心だった 知人男性「子供と一緒に過ごしたい」と数カ月前に勤務先の会社を退職し、学童保育をやめた 病気で朝起き上がれないこともあり、学校行事への参加も困難だった。 苦悩する中で弘輝君の言動にショックを受けたとみられ、 「自分の病気で自分と子供の将来を悲観した。自分も死のうと思った」	
26	9/23/08	朝	○	○	母親 △		●			○		○	『子育て、病気、悩み深めつつ…薫容疑者、救い求めず爆発』 子育てと自身の病気の悩みが動機～ただ、わが子に手をかけるまで 思い詰める前に、なぜ救いを求めなかったのか 保護者男性「(弘輝君)元気が良すぎて言うことを聞かない面もあったので、苦勞されていたようだ」時々体調の悪さを訴え、登校の待ち合わせ場所に姿を見せなくなった。 「何の病気かは聞かなかったが、勤務先は休職中で『朝、起き上がれないこともある』と話していた」 発達教育センター所長「診断の課程で『心配ごとがあれば何でも言ってください』と声掛けしているが、弘輝君の場合はなかった。 相談がないと、家庭の中のことを把握するのは難しい」 保護者男性 1学期中は学童保育の先生に相談していたが、2学期からは「子供と一緒に過ごしたい」と学童保育もやめたいらしい。 「働いていなければ預けられないが、周りの助けが必要な人だったのに」と悔やんだ 『本音話せず孤立』現代心理学部教授「子育てに悩む親は、発達障害や事件などの情報に過敏になっていて、大したことでなくても現実以上に考え込んでしまいがち～同世代の母親と表面的には話せても本音を話せず、精神的に孤立している。 痛ましい事件をなくすためにも、情報に振り回されないよう、相談を受ける公的機関の充実が必要 『周到、偽装工作』 捜索を依頼。遊びに来た公園での子供の姿を見失った母親を演出。薫容疑者の偽装工作の実態は「黒いTシャツを着た男の子を見ませんでしたか」と声を掛け 震える手で～携帯の位置を確認	住所「近くの」 軽い情緒障害～市の発達教育センターで指導を受け、特別支援学級を決めた 就学前診断を受ける子供約600人 申し出があれば、個別相談・地域の子育てグループなどを紹介

		プライバシー								コメント			その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
													発見者男性「母親はトイレにも雑木林にも来なかったので不思議だった。ベンチに座り泣いて取り乱していたので仕方ないかと思ったが不信感があった」	
													発見時、何度も名前を呼び泣き崩れた	
													救急車に追いつき「死なせて」と叫んだという	
													「トイレに行った2、3分の間に姿が見えなくなった」と110番	
													第三者の関与を装っていた	
27	9/24/08	朝	○	○	母親								『家族に発覚恐れ偽装 容疑の母供述』	
													「家族に知られるのが怖くて第三者の犯行を装った」	
													「子供がいなくなった」と捜索を依頼～「自分がやったことがばれないように～」	
													「最初は殺すつもりはなかった。自分の病気で、自分と子供の将来を悲観し、衝動的に～」	
28	9/24/08	朝大	○	○	母親								『母供述』「家族に知られるのが怖くて第三者の犯行を装った」	
													「子供がいなくなった」と捜索を依頼～「自分がやったことがばれないように～」	
29	9/24/08	福岡	○	○	母親					○			動機の一つは「子育ての悩み」だったという	『市こどもセンター、事件受け相談呼び掛け』
										市センター所長			センター、07年度の相談は1万1582件。うち6割、最も多かったのが「夜泣きをする」や	
										中2母親			「子どもが落ち着かなくて困る」など育児に関する相談。次いで不登校	
													やいじめなどの教育相談。相談者の約60%が母親で約25%が本人、父親は4%	
													に過ぎない。母親に子育ての負担がかかり、悩みを抱えるケースが多い現状	
													特別支援学級を卒業した長男の母「話し相手がいなかったのかな。	
													私も周りに相談できる人がおらず、区役所や保健所の人に相談して	
													乗り切ってきた。人ごととは思えない」	
													センター所長「子供は家族や近所の人、先生と相談したり協力して育てるものだが、	電話相談の番号・情報
													身近な人には相談しにくい場合もあると思う。電話相談を活用してほしい」	
30	9/24/08	夕東	○	○	母親								『殺害の母、トイレ介助断られ「絶望的になった」』	発達障害があった
													体が不自由なため介助を頼んだところ断られ「絶望的になった」	
													凶器「自殺するために普段から持ち歩いていた」	
													難病を抱え立ったり座ったりする時に弘輝君に手伝ってもらうことが	
													介助を頼んだが「やらないと断られ、学校に来ないことなども責められ～	
													自分の病気で自分と子供の将来を悲観し、衝動的に～	
													「一人にしておくと思いたいトイレに連れていった。この時点では殺すつもりはなかった」	
31	9/24/08	夕	○	○	母親								『「介助いや」に絶望 容疑の母供述』	発達障害があった
													体が不自由なため介助を頼んだが『「なんでしなきゃいけないの』と言われて、絶望的に」	
													難病を抱え立ったり座ったりする時に弘輝君に手伝ってもらうことがあった	
													「嫌がられたうえに、学校に来ないことなども責められ～	
													自分の病気で自分と子供の将来を悲観し、衝動的に～」	
													「一人にしておくと思いたいトイレに連れていった。この時点では殺すつもりはなかった」	
													凶器「自殺するために普段から持ち歩いていた」	
32	9/28/08	朝東	○	○	母親								「将来を悲観し、衝動的にやった」	解説面 日誌9月20日～26日
33	9/29/08	夕	○	○	母親		●		○	○			『薫容疑者、相談せず「1人で悩む」』「周りに相談したら迷惑をかけると思った」	『支援不足浮き彫り』
													弘輝君の発達障害と自身の病気に悩んでいた	サポートのあり方も問われている
													我が子の殺害は許されないが、誰にも相談できず、次第に孤立感を深めた現状も浮き～	
													『自殺未遂も』「一緒に遊ぼう」とせがまれたが、病気で手足が不自由で応えられなかつ	弘輝君、予測できない行動をとり、
													日ごろから病気で親として十分に支えられないことに苦しんでいたという	言うことを聞かないこともあった

		プライバシー							コメント			その他			
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など		関連・問題提起・提案・その他
													自身の病状も悪化していたが、夫や周囲に気兼ねし入院などに踏み切れなかった	県警、隠ぺい工作・凶器を事前に所持。	
													10日ほど前には睡眠薬を多量に飲んで吐き出したという	計画性がなかったか	
													介助を頼むと、学校に来ないことなどを責められた		
													「何もかも投げ出したい」/「一人で悩みを抱え込んでしまった」そう悔いているという		
													逮捕後、「私もぎりぎり。明日は我が身」と自閉症児親の会にメールが届いた	市、発達障害者支援の検討会を設置、	
													メンバー「みんな一度は『心中』が頭をよぎったことはある」と明かす	課題をまとめた最中に起きた事件	
													発達障害の特徴は判別しにくく「おかしな行動をすると『しつけが悪い』と誤解され〜」	発達障害についての説明	
													乳幼児健診でも見抜くのが難しく、親自身が「私のせいだ」と長く苦しむケースがある〜	特徴・福祉サービス外・05年に支援法	
													「支援が行き届いていない証し」		
													発達障害者と家族を支援するNPO代表「多くの母親は『自分も子も世間の厄介者』と思い込んでしまう。保護者同士で悩みを打ち明ける会を始めた。		
													母親の中には「子供を産んで以来、こんなもてなしを受けたのは初めて」		
													と涙を流す人もいる		
34	10/1/08	朝	○	○	母親								『母親の精神鑑定、弁護士求める』	責任能力	
35	10/8/08	朝	○	○	母親									「植物状態になられたら困る」	
48	10/8/08	朝東			母親							投稿女性	『ママ友と話し 育児を客観視』/母親が逮捕されるという衝撃的な結末	声欄	
													母親は息子の成長に悩み抱いていたという	第2次ベビーブーム世代・過当競争	
													私も心配が募ることもあるが、母親同士の「ママ友」と話す中で、心配事に対して	円滑なコミュニティを構築していく力が弱いのかも	
													距離を持って眺めるゆとりができる。子育ては、自分一人の考えに		
													凝り固まらずに、さまざまな意見を聞く機会を得ることが大切だ		
36	10/9/08	朝東	○	○	母親								『「植物状態困る」母2度首絞める』		
37	10/9/08	朝	○	○	母親			○					『母親、精神鑑定へ』	精神科への通院歴あり	
38	12/10/08	朝	○	○	母親			○					『精神鑑定終了、母起訴へ』	地検「刑事責任問える」/精神科の通院歴あり	
39	12/12/08	朝	○	○	母親								『母親を起訴』/自身の病気や弘輝君の障害で悩み「介助を頼んだが嫌がられ、衝動的に〜」		
40	12/31/08	朝	○	○	母親		●		○			本人・接見	『「難病理解されず孤立」被告の母、悔悟 6年間の思い出に涙』	記者接見	
													一人息子を殺害したとして起訴された母親〜		
													自身の難病と弘輝君の障害に悩み、周囲の助けも得られぬまま孤立して		
													とりかえしのつかない行為に悔悟の涙を流しつつ、弘輝君と過ごした6年を		
													思い返す日々を送っていた		
													顔のむくみが取れ、落ち着いた様子/逮捕後、3カ月で体重が11キロ落ちた		
													事件後、〜うつ状態とパニック状態を繰り返し、自傷行為にも及んだ		
													「私は、自分が死にたいという気持ちが大きくて、弘輝に手をかけることは全然頭に		
													なかったんです。いまだになぜ死んだのが弘輝で、私じゃなかったんだろうかと思えます」		
													難病の「線維筋痛症」と診断〜軽微な刺激でも全身に激痛が走り、家事もままならなかった		
													症状が悪化すると、うつ病と不眠も併発。追い打ちをかけるように、		
													弘輝君に発達障害があることが分かった		
													「私が難病で、弘輝は障害。ハンディキャップを持った親子の気持ちをどう説明しても		
													分かってくれる人は少ないと思う。主人だって理解していなかったくらいですから」		
													会社員の夫は仕事に忙殺されていた。		
													情緒不安定な弘輝君の教育についても、周囲に相談できる相手がいなかった。		
													孤独感に悩んで〜事件の10日ほど前、睡眠薬を大量に飲んだが、死にきれなかった		
													介助を頼んだが、嫌がられるなどしたため衝動的に自殺用に使っていたホースで殺害		

		プライバシー								コメント			その他		
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など		関連・問題提起・提案・その他
														過ちを省みる転機は、夫と両親の接見だった。「分かってやれなくてごめんって謝ってくれて待っているからって…。それを聞いたら肩の荷が下りたんです」 拘置先では、朝に夕に手を合わせ、冥福を祈っている 日記には息子との楽しかった思い出を書き留め 弘輝君のあどけない口ぶりをまねてくれた 「野球選手になってお金をいっぱいもらって、ママに赤い車をプレゼントしてあげる」 「ママはいつも病気で留守番しているから～パパがお留守番して、弘輝とママ二人で旅行しようよ」 その声は場違いなほど弾み、口元もほころんでいた。 だが、そのうち眼鏡の奥に涙があふれ、ほおを伝い落ちた その泣き笑いが母の愛の証しにも感じられ、「薫さん、いい顔していますね」 「暗い顔をしてばかりだと、弘輝が悲しむから」	
41	3/3/09	夕	○	○	母親									軽微な刺激でも全身に激痛が走る「線維筋痛症」と診断～軽快することなく～ 拘置所に収容されてからはさらに体調悪化を訴え	拘置所が外部診療拒否 被告救済申し立て 弁「無理解も患者を追い詰め～人権侵害行為」 裁判員制度記事/メディアに接見内容
42	5/8/09	朝	○	○										教授刑事法	裁判員制度記事/メディアに接見内容
43	3/3/10	夕東	○	○	母親							病歴		『「ママ死ぬ」暴言に爆発』/検察「発達障害の息子の暴言・暴力に対する憤まんを爆発～ 検察側「被告の病気と息子の病気が事件の背景」「便座から起き上がるのを手伝ってもらった際、息子から『くそばばあ、病気のママなんていらん。はやく死んでしまえ』とののしられ、憤まんを爆発」 全身に激痛が走る「線維筋痛症」と診断～適応障害などと診断～ 抗うつ剤を処方された～約1カ月後、服薬自殺を図り、9日後事件	初公判 刑事責任能力・抗うつ剤
44	3/3/10	夕	○	○	母親		●					病歴		『現場で「病気のママ死ぬ」 検察「障害の息子に爆発」 検察側「発達障害の息子の暴言・暴力に対する日ごろの憤まんを爆発させ～」 検察側「被告の病気と息子の病気が事件の背景」「便座から起き上がるのを手伝ってもらった際、息子から『くそばばあ、病気のママなんていらん。はやく死んでしまえ』とののしられ～」 弁護側「自分の病気や子育てで極度のストレスを抱えていたが、息子には愛情を持って接していた」 ページのカーディガンに黒っぽいスボン姿で、髪の毛を肩まで伸ばした 犯行状況の朗読に入ると、ハンカチでめがねの奥の目をぬぐった 全身に激痛が走る「線維筋痛症」と診断され、～適応障害などと診断され～ 抗うつ剤を処方された～約1カ月後、服薬自殺を図り、9日後事件	初公判 刑事責任能力 厚労省の抗うつ剤についての報告
45	3/4/10	朝	○	○	母親									『「悲劇の母を演じた」』/検察「遺体が見つかった際は悲劇の母を演じていた」 「子供を失った母親を演じなければならなかった。 警察に捕まるのも家族にばれるのも怖かった」と供述 葬儀～周囲に「子供から目を離さないで」「(再発防止のため)PTAで話そうと思う」と話し 警察でポリグラフ検査を実施されそうに～「私がこの事件を起こした」と打ち明け	刑事責任能力・抗うつ剤
46	3/11/10	福岡	○	○	母親									『母親の被告人質問』	精神医、薬の影響否定
47	7/30/10	福岡	○	○	母親									『母親の精神再鑑定せず』	

		プライバシー								コメント			その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
38	9/22/08	夕東								記者			枕草子を引用、清少納言ならずともだれもが小さきものをいとおしく思うことに変わりない。と思うのだがその小さきものの受難が続く ～母親逮捕と聞く。なぜだ。暗然とする。小さきものへの不憫の思いが一層つもの	1面、よみうり寸評 千葉5歳児死体遺棄事件
19	9/22/08	夕東	○	○	母親	○			○	○			『悲劇の母演じ…薫容疑者、遺影を抱えて号泣』/男児を殺害したのは、母親だった 「病気を抱え、自分の将来を悲観した」 息子の捜索を依頼した母親が逮捕されたことに、住民や保護者には動揺が広がった 「息子がなくなったんです」、そう涙声で話しかけ 家族に電話し「何が起きたか分からないけど、すぐ来て」と叫んでいた 発見者が「ショックを受ける」と制止すると、振り切っては行こうとしなかった 通夜に車いすに乗って参列した 親族から「犯人を殺してやりたい」との声が～、うめくような声で悲鳴を上げひざに突っ伏した ほほえむ弘輝君の遺影を抱えたまま号泣し、周囲の知人らに抱えられて、崩れるように 校長「弘輝君が一番信頼していたのは母親。信じられない。こんなに悲しいことはない」 病気を苦しめていたことについては「そこまで悩んでいたとは見受けられなかった」 小1息子の母「同じ母親として理解しがたい。信じていた母親に手をかけられたときの弘輝君の気持ちを考えると、いたたまれない。 他人には考えが及ばない心の闇があったのか」と途切れがちに話した 男性「最悪の結末。どんな事情があっても、わが子に手をかけることは許されない。 殺す気になればどんなことも出来たはず」と憤った 男性「子どもを守るべき母親の犯行とは…。理解できない」と顔を曇らせた 主婦「地域の人に相談すれば助けられたかもしれないのに」と声を落とした 「重い病気を抱えている」と話していたが、育児に熱心な母親としても知られていた しかる姿は時折、見られたが、友達とのけんかを止めた時は「頑張ったね」 とおおずりしながら抱きしめる姿も PTA役員に立候補「自分は病気がちなのでどこまで頑張れるか分かりませんが、やれること何でもします」と決意を述べ 6月ごろからは「体調が悪い」と会合を欠席しがちに 主婦「手足の力が入らなくなる病気にかかっている」と打ち明けられた。「同世代の母親らとも子育てについて相談し合う姿をよく見かけたが、深く悩んでいる様子はなかった」	西区に実家(母や姉家族ら)
20	9/22/08	夕	○	○	○	○	2枚	○		○	○		『殺人・死体遺棄容疑で母親逮捕 難病抱え悲観』 「自分が病気を抱え将来を悲観し、子供を殺して死ぬつもりだった」 「殺すつもりで公園に行ったわけではなかった。衝動的に首を絞め、見つからないように遺体を隠した」、計画性を否定 「病気で手足の筋肉に力が入らず、疲れやすい」と話し、6月ごろから体調を崩し 子育てに関する悩みも動機につながった可能性も グレーの長袖パーカーのフードで顔をかくした薫容疑者が女性警察官に手を引かれて	児童、情緒が不安定～授業落ち着いて受けず 個別的な指導を行うクラスに入っていた
21	9/22/08	夕	○	○	母親		○			○			市学校指導課長「容疑者が母親だったことで、児童の動揺は事件発生時より 大きいだろう。」と陰しい表情 校長「子どもを最も愛しているのは母親であることを訴えかけるつもり」 「弘輝君が一番信頼していたのは母親。信じられない。こんなに悲しいことはない」 容疑者が自分の病気を苦しめていたことについて「そこまで悩んでいたとは見受けられなかった。相談も受けたことがなかった。」	臨床心理士を派遣、市教委 市課長「PTSDなどにならない方がいいが」 教育長「心の安心と安全確保に努める」

日付	紙面	プライバシー								コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者		
22	9/22/08	夕	○	○	母親		○			○			『子どもを守るべき母親が 住民衝撃「許せない」』/母親がなぜ母親～が逮捕される結果となり、地域住民や保護者に衝撃が走った 「難病を抱えて将来を悲観した」 息子の捜索を依頼した母親が容疑者～「許せない」「震えがとまらない」と、ショックが広がった 「息子がなくなったんです」、そう涙声で話しかけ 家族に電話し「何が起きたか分からないけど、すぐ来て」と叫んでいた 発見者が「ショックを受ける」と制止したところ、振り切ってまでは行こうとしなかった 通夜に車いすに乗って参列した 親族から「犯人を殺してやりたい」との声が～うめくような声で悲鳴を上げひざに突っ伏した ほほえむ弘輝君の遺影を抱えたまま号泣し、知人らに抱えられて、崩れるように 小1息子の母「信じていた母親に手をかけられた時の弘輝君の気持ちを考えると、いたたまれない。他人には考えが及ばない心の闇があったのか」と途切れがちに話した 男性「最悪の結末。どんな事情があっても、わが子に手をかけることは許されない。」と憤った 男性「子どもを守るべき母親の犯行とは…。理解できない」と顔を曇らせた 主婦「地域の人に相談すれば助けられたかもしれないのに」と声を落とした 育児に熱心な母親としても知られていたが、「重い病気を抱えている」と話していた しかる姿は時折、見られたが、友達とのけんかを止めた時は「頑張ったね」とほおずりしながら抱きしめる姿も 弘輝君の落ち着きがないことを心配して専門医を受診。 その後、市の機関に相談したうえで個別的な指導を行うクラスがある内浜小を選び、今年に入り、学校近くの賃貸マンションに一家3人で引っ越した PTA役員に立候補「自分は病気がちですが、やれること何でもします」と決意を述べた 6月ごろからは「体調が悪い」と会合を欠席しがちに 主婦「手足の力が入らなくなる病気にかかっている」と打ち明けられた。 「同世代の母親らとはいつも笑顔で接していた。 病気や子育ての悩みが事件を起こすほど深いとは思わなかった」 母親が幼い我が子を殺害する事件は全国で後を絶たない 福島県玉川村では、今年14日、無職女(40)が出産直後の女兒を水死させ殺人容疑で逮捕されたばかり 3月、鹿児島県奄美市、中国出身の女(33)が二男(3)の首を包丁で切って殺害したうえ、長男(5)を絞殺しようとする事件 大阪府守口市、1月、生後18日の男児が自宅で口と鼻を粘着テープでふさがれて殺害された。母親(22)は1週間後に自殺 秋田県藤里町、2006年4月連続児童殺人事件、無職山鈴香被告(35)、長女(9)を水死させた後、近所の小1男児(7)も絞殺したとして今年3月、無期懲役の判決～殺人に発展する場合、事前に身体的虐待が繰り返されている場合が多いが、「子育てに悩む余り、突発的に子どもを手にかけるケースも増えている」(捜査関係者)	西区に実家(母や姉家族ら)
23	9/23/08	朝東	○	○	○								『連れ去り偽装か 逮捕の母説明』 犯行後、公園にいた人に捜索を依頼～野球帽を隠し持って移動～ 「見知らぬ男に名前を聞かれ～」うその証言を重ねた 「子育てに悩む余り、突発的に子どもを手にかけるケースも増えている」(捜査関係者) 「病気を抱えて将来を悲観した」と容疑を認めている	『我が子殺害、後を絶たず』4事例 上半期警察摘発事件、過去最多162件 この事件のみ実名

	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他	
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族		識者	関連・問題提起・提案・その他
24	9/23/08	朝	○	○	○	○	○	○						『逮捕の母親、連れ去り被害を偽装』 犯行後、公園にいた人に捜索を依頼～「見知らぬ男に名前を聞かれ～」 自分が疑われないようにその証言を重ねた 「自分が難病を抱えて将来を悲観し、衝動的に首を絞めた。 自分も死ぬつもりだった」と容疑を認め 「日ごろから息子の言動にうっぷんがたまっていた」と供述 子育てに関する悩みも動機につながった可能性	
25	9/23/08	朝	○	○	母親			○		○	○		『母親逮捕、どう伝えたら 子供のケアに苦悩』 教職員も親も、母親による犯行だったことを児童にどう説明するかを苦悩しており、 事件が学校現場に暗い影を落としている 内浜小では、子どもが最も信頼を寄せる母親が逮捕されたことに衝撃を受けて おり、事件をありのままに伝えれば、親への不信を招き、 親子間の信頼を損ねかねないと心配する声も出ている 校長「母親が逮捕されたことには触れたくない」 教授(教育心理学)「頼るべき母親が逮捕され、母親との関係で理解できない 部分があり、混乱を来している～」と分析。学校や家庭での対応については 「『逮捕された母親が正常な判断が出来ずに起きた悲しい事件』という説明を きちんとすべき。～親が見守っていることが子どもに一番安心感を与える。 できるだけ多くの時間、子どものそばにすることが大切だ」と指摘 教授(臨床心理学)「最愛の母に子どもが殺され、児童のショックが大きいのは当然～」	不審者対策に～今後も集団登下校を続け 男性教諭・保護者コメント 「どう答えたら」「早く忘れるように」 心の問題に詳しい専門家コメント	
26	9/24/08	朝東	○	○	○								『母供述「ホースで首絞めた」「母さんいらないと言われ』』 「トイレで介助を頼んだら、『病気のお母さんなんかいららない』と言われて絶望～」と供述 凶器のホース、自殺するためにバッグに入れていた 病気で、トイレを利用する際は弘輝くんが介助～。事件当日も頼んだが、機嫌が悪く、 「なぜ授業参観などに来てくれないのか。病気のお母さんなんかいららない」などと言われ		
27	9/24/08	朝	○	○	○								『容疑の母「ホースで首絞めた」「母さんいららない、と言われ』』 「トイレで介助を頼んだら、『病気のお母さんなんかいららない』と言われて絶望～」と供述 自殺するためにバッグに入れていた～ホースで首を絞めた 難病を患っていて全身に激痛が生じるため、トイレの際は弘輝くんが介助していた 事件当日も頼んだが、機嫌が悪く、「なぜ授業参観などに来てくれないのか。 病気のお母さんなんかいららない」などと言われた		
28	9/24/08	夕	○	○	○								校長「犯人は弘輝君の身近な人で、私もショックを受けています」などと話した 児童を動揺させないように、逮捕されたのが母親であることは伏せたという	緊急集会	
29	9/25/08	朝			母親					○			『「母親に孤立感」市長が見解』/母親が逮捕された事件 市長「背景には、大都会で暮らす母親が孤立感を強め、子育てに悩んでいる 現実がある」との見方を示した	学校・園長対象の連絡会あいさつ	
30	9/25/08	夕	○	○	○					○			『自分の死に場所を求めて～適当な場所が見つからなかった』 難病を患い子育てにも悩んでおり、事件の約10日前には、 大量の睡眠薬を飲んで自殺を図った 家族や事件に関する話になると涙を流し「弘輝のところに行きたい。死刑にしてほしい」と話し 親族から「あなたの責任ではない」と慰められ～犯行が言い出せなかったという	弁護士記者会見 「遺体～病気で力が入らず～置いた」	

日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他	
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族			識者
31	9/26/08	朝東	○	○	母親								『逮捕の母親説明』 「自分の死に場所を求めて～適当な場所が見つからなかった」 難病を患い、子育てにも悩んでおり、事件の約10日前には、 大量の睡眠薬を飲んで自殺を図った 家族や事件に関する話になると涙を流し「弘輝のところにいきたい。死刑にしてほしい」と話し	弁護士記者会見 「遺体～病気で力が入らず～置いた」
32	10/1/08	朝	○	○	母親					○			『母親の精神鑑定求める意見書提出』 全身に力が入らない難病を患い、子育ての悩みもあって複数の薬を服用 「精神的な錯乱状態に陥らなければ、子供の首を絞めて殺害するほどの力はない」 犯行時は通常の状態ではなかったと主張 「トイレの手伝いを断られ、病気のお母さんなんかいらないとと言われてかとなった」と供述	薬の副作用 責任能力の有無
33	10/2/08	朝東	○	○	母親								『容疑の母、保険会社に死亡連絡 搬送先の病院から』 犯行後、付近の人に弘輝君の捜索を依頼するなど第三者による連れ去りを偽装、 計画性の有無を慎重に捜査している 弘輝君の死亡が確認されると、「息子のお気に入りだから」と遺体に赤い帽子をかぶせ 契約する大手生命保険会社に院内から「弘輝君が死亡した」と電話で伝えた 弘輝君には、殺害されたり災害で死亡したりした場合には1千数百万円が 支払われる生命保険がかけられていたという 犯行日には、ビールをジョッキで1、2杯飲んだ後、公園に向かったという バッグに入れて持ち歩いていた細長いホースで弘輝君を絞殺し	
34	10/2/08	朝	○	○	母親	○							犯行後、付近の人に弘輝君の捜索を依頼するなど第三者による連れ去りを偽装、 計画性の有無を慎重に捜査している 弘輝君の死亡が確認されると、「息子のお気に入りだから」と遺体に赤い帽子をかぶせ 契約する大手生命保険会社に院内から「弘輝君が死亡した」と電話で伝えていた 弘輝君には、殺害されたり災害で死亡したりした場合には1千数百万円が 支払われる生命保険がかけられていたという 犯行日には、ビールをジョッキで1、2杯飲んだ後、公園に向かったという 激しい痛みで体に力が入りにくい難病を患って、8月に病院を受診した際に 「息子を殺して自分も死にたい」などと病院関係者に漏らす バッグに入れて持ち歩いていた細長いホースで弘輝君を絞殺し 「自分の病気や子育てに悩んでいた。トイレで介助を断られ、衝動的に首を絞めた。 殺すつもりで公園に行っただけではない」	
35	10/9/08	朝東	○	○	母親								『容疑の母親を鑑定留置へ』	
36	10/9/08	朝	○	○	母親					○			『母を鑑定留置へ』 治療法が確立されていない重い病気を患っており、精神的に不安定な面も あることなどから精神鑑定を請求	刑事責任能力
37	10/10/08	朝	○	○	母親	○	○			○	○		自身の重い病気と発達障害のあった弘輝君の子育てという二重の悩みがあった ～悲劇を防ぐ手立てはなかったか 現場3週間後 同じ病気を抱える女性「死なないことを目標にするほどつらい。 症状は見た目には分からない。子育てには想像できないほどの苦労があったと思う」 と推し量る。症状がひどい時は、一日中、体に激痛が走り、寝たきりの状態に 容疑者はこの病気のため、はしやマグカップを落とし、包丁を手に巻き付け なければ料理をできないこともあった	病気について、厚労省・県コメント 患者200万人・治療法ない・難病指定なし

犯罪報道分析シート

福岡小1男児殺害事件(2008年)

新聞 西日本(朝刊→朝、夕刊→夕)

No.	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他	
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族		識者	関連
1	9/19/08	朝		○	母親				発見現場	○				母親と二人で公園で遊んでいた/母親がトイレに入った2、3分の間に 母親が「子どもがいなくなった」と110番/母親から頼まれ～約5人が周辺を捜した	『公園で小1殺される』/現場地図2枚
2	9/19/08	朝		○	母親					○	母本人			母「息子いない」 「一人息子なんです～」/捜し回る母親/「全身がたがたと～、唇も青ざめて～」	小1男児殺害/トイレ見取り図 児童の性格・様子など 快活で～、運動会楽しみにしていた
3	9/19/08	朝												06年4月秋田県藤里町の小4が川で水死体～近所の小1男児が絞殺体～ 女兒の母親逮捕、他2件(97年、無職男・03年、中1男子によるもの)	図表、児童や園児が被害の最近の主な事件8件 年月・県市・被害者年齢・性別・殺され方、記載 『後を絶ため児童の殺害』
4	9/19/08	夕		○	母親						母本人			『数日前 男が声掛け』周辺に母語る』 母親は～「トイレに入った。2、3分後に出ると～姿が見えなくなっていた」	防犯カメラ映像提出求め、不審人物の割り出し
5	9/19/08	夕							被害男児、トイレ周辺					父母付き添い登校/4年男児母「絶対に一人にならないよう言い聞かせた」	校長・保護者・地域防犯コメント/カウンセラー派遣
6	9/20/08	朝		○	母親				被害男児、目撃情報呼びかけ看板					母親と一緒に公園を訪れ	凶器・死因
7	9/20/08	朝												5年女児母「～この子の顔を見ないと安心できないので～家で過ごさせる」	『緊張続く』/保護者・男児・校長コメント
8	9/20/08	朝													『心のケア対応』
9	9/20/08	朝									市長				『市長が現場へ』
10	9/20/08	朝		○	母親						○	○	父母	母親は「声にならない声でずっと泣いていた」	通夜参列者コメント
11	9/20/08	夕													トイレ見取り図
12	9/20/08	夕		○	母親				遊具施設					母親に連れられて～遊んだ	小1殺害現場ルポ/公園を訪れた人のコメント多数
13	9/20/08	夕		○	母親				参列者	○	○		父	笑顔の遺影のそばで、母親は立っているのがやっとの状態	葬儀/父あいさつ/校長・保護者コメント
14	9/21/08	朝		○	母親									母親と一緒に公園を訪れ	公園付近地図
15	9/21/08	朝							霊柩車	○			父・文書		父親が取材自粛要請
16	9/22/08	朝													千葉女児遺体記事/福岡市でも～殺害された
17	9/22/08	朝		○	母親									母親と一緒に公園を訪れ/母親がトイレ行き、目を離した2、3分の間に行方が分からなく 母逮捕/「育児悩み、悲観」/育児などの親子間の悩み	おことわり、実名報道に切り替え
18	9/22/08	夕	○	○	○	○	○	○						「自分が病気を患っているため、将来を悲観し、子どもを殺して自分も死のうと思った」	
19	9/22/08	夕	○	○	母親								○	「育児熱心な母」なぜ/一緒に遊びに来ていた母親が、まさか 子育ての悩みや体調不良を周囲に漏らしていた PTA役員を引き受け、葬儀では遺影を大事そうに抱いていた 「形の残るものを子どもに残してあげたい」とPTA役員を引き受けた 「体調不良」を理由にPTA活動を休むようになり、結局、役員を交代 「子どもが学校に行きたくない～」などと漏らし、親子関係に悩んでいた 入学式の懇談会で～「うちの子は落ち着きがなく、ご迷惑をおかけするかも しれませんが、よろしく願います」とうつむきがちに語った 福祉施設を弘輝君とともに数回訪れ、特別支援学級に通わせるべきか、相談していた 医師コメント「親子関係を築くための」交流行事に来たことはなく、活発な感じではなかった」 保護者などから「子育てに熱心なお母さん」とみられていた時期も PTAの新聞を作る委員長職が決まらなかったとき「持病がある」と断りながら 「私がやりましょう」と手を上げた。当初は～「面白そう」と意欲をみせたが休みがちに～ ある保護者が「交代したら」と助言すると「引き受けた仕事を全うできず申し訳ない」と泣いた	表(日時と容疑者の主な言動) 署長「近年まれにみる重大事件」 市教育長「心のケア努める」 児童、集中力が続きにくく、特別支援学級に

		プライバシー								コメント			その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
													地区の行事～首にコレットのようなものを着けており、住民のあいさつにも返事をしなかった	
													「自分が殺してしまった」という葬儀翌日の母親の供述	
													行方が分からなくなった状況を涙ながらに説明し	
													いきなり号泣。「はじめから殺すつもりはなかった」/心身の不調、育児の疲れ	
20	9/23/08	朝	○	○	○	○	○	被害男児					動機について「自分が病気を抱えているため将来を悲観し、子どもを殺して自分も死のうと思った」	
								会社員					「最初から殺すつもりはなかった。衝動的に首をしめた」	
21	9/23/08	朝	○	○	母親					下校の様子	○		『母逮捕 地域に動揺』『育児の悩み気付かず』『保護者自問「周囲の支援あれば」』	児童、集中力が続きにくく、特別支援学級に
													母親の～逮捕されるという衝撃の展開	
													「育児の悩みは誰にもあるはず」	
													「思い詰めていたとしたら、周囲が手を差し伸べられなかったのか」	
													地元では子育て中の父母たちに、動揺と自問が広がっている	
													動機について自らの病気に加え、育児の悩みも	
													小2母親「周りが気付いてあげればよかった」～	
													容疑者の心の内に社会の目が及ばなかったことを悔やむ	
													PTA役員の仲間が電話やメールをしても返事がほとんどなかった	
													男性保護者「どうやったら気付くことができたのか」と自問、戸惑い	
													女性「母親同士のつながりが持てなければ、子どもだけに目が向いてしまうこともある」	
													長男に障害がある女性「容疑者の気持ちも分かる。」	
													『この子を最後まで育てられるかな』と思ったことがある」と打ち明けた	
													小1父親「もし、本当に母親の犯行だとしたら、周囲がもっと支援できていれば防げたかも。今の学校や社会の問題が凝縮された事件では」	
													母親逮捕というショッキングな展開で、児童の心理的な負担が増す恐れがある	『カウンセラー2人追加派遣 福岡市教委』
													『絶えぬ「我が子殺害」』/母親が子どもを殺害した主な事件	9事件(05～08年)表(年月・都道府県・市町村
													母親による子ども殺害は全国で相次いでおり、無理心中を図ろうとして	母親と子ども年齢・殺害方法)※うち絞殺4件
													母親が死にきれないケースも少なくない	
													鹿児島奄美市～母親が次男を包丁で刺殺し、長男の首を絞めて殺そうとして～	記事文中の5例、母親・子どもの年齢表記
													母親は同日朝、手首を切って自殺を図っていた	
													東京小金井市で母親が長女を絞殺。「精神的に疲れていた」	
													宮城県石巻市～母親が生後二ヶ月の次女を岸壁から海に落とし殺害。	
													「無理心中するつもりだった。生活に不安があった」	
													福岡県春日市で母親が長男を水を張った浴槽に沈め、水死～「母親は心神耗弱状態～」と認定	
													札幌市東区～母親が知的障害で特別支援学級に通い始めた小2長男と	
													保育園児の次男を絞殺。母親も自殺を図ったが果たせず、自首	
22	9/24/08	朝	○	○	母親						○		『男児の言葉に絶望』/『容疑の母 動機供述「何もしてくれない』』	
													体が不自由なため弘輝君にトイレ介助を頼んだ際「何もしてくれないのにお手伝いばかりさせられる、と言われて絶望的になった」	
													容疑者は病気のため手足が不自由で、一人で立ち上がることも容易でないという	
													弘輝君は情緒障害で特別支援学級に通っており、容疑者は十分に	
													子育てができないことを悩んでいたという	
													介助を求めたが～反発されたため「絶望して、もうどうなってもいいと思った」	
													容疑者には自殺願望があり「いつでも死ねるように持ち歩いていたゴムホースを使った」	

		プライバシー								コメント		その他		
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
23	9/24/08	夕	○	○	母親					校長			『母逮捕』説明控える』/校長「犯人は逮捕されたが、身近な人なので先生もショック〜」	小学校で全校集会
													校長・保護者 動揺させないために容疑者が母親であることは伝えなかったという	
													市長「親が子育てに日常的に悩み、孤立感を深めているという現状が背景に〜」	「サインくみ取って」校長・園長連絡会
24	9/25/08	朝		○	母親								小1殺害母親逮捕/校長「犯人は逮捕されたが、身近な人なので先生もショック〜」	
													校長・保護者 動揺を与えないため、容疑者が母親であることは伝えず	小学校で全校集会
25	9/25/08	朝	○	○	母親							○	容疑の母供述/「〜(自分も)死ぬつもりだったが〜子どもの重さに耐えかねて置いた」	
													「〜死にたいと思ひ、死に場所を捜したが、〜見つけられず、うろろしていた」	
													弁護士「殺害前後の記憶はおぼろげで、計画性なく、第三者の犯行を装うつもりはなかった」	
													「弘輝が呼んでいるから、弘輝のもとに行きたい」	
													「自分で死ねないなら、裁判官に死刑にしてほしい」とも話し	
26	9/25/09	夕	○	○	母親							○	『育児に悩む母 孤立しないで』/「相談の場ある」支援者訴え	殺害1週間
													病身で思うような子育てができず、問題を一人で抱え込んでいた	行政の育児支援や相談の紹介
													育児に悩む母親が孤立するのは珍しくない。そんな親子を支援する人々は	
													「相談の場はある。一歩踏み出して」と訴える	
													容疑者は昨年、発達教育センターを訪れ相談したが、入学後は姿を見せず。	
													所長「悩みを伝えてくれたら相談に応じたのに」と肩を落とす	
													frau主婦生活総合研究所所長「悩みを知らないで、どんな支援が必要かも分からない。	
													まずはグループを探すなど行動してほしい」	
													学習障害などの子の保護者の会すばる 親子の集いなどを通じて	
													特有の悩みを共有することで、心理的負担を和らげている	
													保護者の中には内向的で、子育てサークルに参加できない人も少なくない	
													インターネットサイト育児情報誌編集長 ネットの有用性「とにかく、相談できる場にたどり着いてほしい」	
													福岡教育大名誉教授「小さなことでも気軽に言ってほしい、といった	
													地道な声掛けを、行政も民間も続けることが大切」	
													『「理想の母になれず」』弁護士に薫容疑者	容疑者 病気で手足が不自由、体の痛み
													「いろんなことをしてやりたい、またはできるはずだといった理想の母親像があったが、	児童 授業を落ち着いて受けないことから
													病気のため、できないことで悩みを深め」	特別支援学級に通っていた
													子どもの世話を満足にできないことに負い目を感じており	
													トレ介助を頼んだ際「何もしてくれないのに自分はお手伝いばかりさせられている」と言われて絶望	
													「一人で悩みを抱え込んで事態を悪化させてしまった」「弘輝に申し訳ない」と悔やんでいる	
27	9/26/08	朝			母親							投稿・女	小学生が母親に殺害される事件/息子が自分のそばにいと安心	投稿欄「児童殺害事件 子ども見守れ」
													子どもを犯罪から守るためには、親はこんなにも用心しているのかと感心、	
													大切に育てあげられた子ども、私も大切にお預かりしよう〜	
28	9/29/08	朝	○		母親の会社員								容疑者は当初「子どもが行方不明になった」と通報、第三者の関与を装っていた	ニュースファイナル21-27日
29	10/3/08	朝			母親							投稿・男	児童殺害事件で、母親が逮捕〜近年同じような事件が続くが、昔は考えられない犯罪	投稿欄「一人で悩まず相談しよう」
													母親だけを罰するだけでよいのか	古き良き風習失う・二世帯同居減る
													育児経験のない、相談相手のない母親は一人で悩む	
													他人は良く見え〜マイナス思考でますます苦しむ	
													不幸と思っけていても、それ以上に苦しんでいる人は多い	
30	10/4/08	夕	○	○	母親								母親立ち会い実況見分	
													「自分が病気を抱えているため将来を悲観し、子どもを殺して自分も死のう〜衝動的に首を絞めた」	
31	10/5/08	朝										○		マスコミ倫理想談会の記事 免田さん講演と対談

犯罪報道分析シート 宮崎乳児虐待死事件(2009年)

新聞 朝日

日付	紙面	プライバシー										コメント	性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他	
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族			識者	関連・問題提起・提案・その他
1	8/4/09	○	○	○	○									『娘にアイロン 母傷害容疑』 生後11カ月の長女の体に加熱したアイロンを当て、やけどを負わせた 長女静流ちゃんの両肩から両腕にかけて少なくとも2回、アイロンを当て、重いやけどを負わせた疑い 長女の体には傷が複数あったといい、磯田被告が日常的に虐待を加えていた可能性も	
2	12/11/10	宮崎	○	○	無職	延岡市			○	○				『乳児虐待死 母親認める』/長女(当時11カ月)の頭を殴るなどして死亡させた 初公判 検察側 長女がアイロンのコードを引っ張ることをやめないことにいら立ち、熱したアイロンを長女の両肩に押し当て、2週間のやけどを負わせた～長女があやしても泣きやまないことなどに怒りがこみ上げ、頭部を複数回力任せに殴ったり蹴ったりし、死亡させた 弁護側「夏紀さんは深い心の傷を負っており、成人してからも自分に自信が持てず、追い詰められて我が子に暴力をふるってしまう」～長女を乳児院に預けたり、夫や親族にメールを送ったり、市に電話をしたりして、何度も相談していた	
3	12/16/10	宮崎	○	○	無職	延岡市					○			長女(当時11カ月)の頭を殴るなどして死亡させた 「泣き止まないことにどうすればよいか分からなくなってパニックになってやってしまった」 弁護士から「あなたにとって良い子のイメージは」と聞かれると、「おとなしくて笑顔の絶えない子」「いたずらしない子」と答えた 「きちんと大人になれていない部分があった。主人との夫婦生活にも問題があったと思う」	
4	12/17/10	宮崎	○	○	無職	延岡市			○	○				長女(当時11カ月)の頭を殴るなどして死亡させた 精神科受診 母の暴力・失踪 検察側 「いらだちを暴力という形で長女にぶつけただけ」 「泣き止まないなどという理由で一方向的に腹を立てた」 一度受診した精神科の通院を続けなかったことなどについて 「自らの問題を解決する努力をせず、長女につらい思いをさせていることは分かっていたのに、周囲に援助を求めなかった」と非難した 弁護側 小学校時代に母から暴力を受け、母が計2千万円以上の借金を作り、浮気相手と失踪するなど「通常では考えられない心の傷を負い、率直にもの言えない性格になった」 長女を乳児院に預けたり、病院や行政機関に相談を繰り返したりしていた 「夫も『夏紀(被告)』だけの責任ではない。離婚せず一緒に罪を償う』などと話し、親族も今後、支援していくことを約束している」	
5	12/22/10	宮崎	○	○	無職	延岡市			○			裁判員1名		長女(当時11カ月)の頭を殴るなどして死亡させた 『乳児虐待死 実刑判決』 『地裁裁判員裁判 「残酷な犯行』』 母に見捨てられ いじめを受け 「被告が幼いころ母親に見捨てられたことや～「同情の余地がないとはいえない」 「不安やいらだちを暴行という形で繰り返したことを正当化することはできない」と非難 預けられた親族に邪険にされ 裁判員50代男性 「覚えていない」を繰り返したことに『覚えていたけれども思い出したくない』というのもあったと思う。だからこそ、判決に『正面から向き合っ』という言葉があった」	裁判員会見

犯罪報道分析シート 宮崎乳児虐待死事件(2009年)

新聞 読売

		プライバシー										コメント	性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者		関連・問題提起・提案・その他	
1	8/4/09	○	○	無職	○				○				夫・年齢	『乳児にアイロン 26歳母親を逮捕』/生後まもない長女を虐待した 長女の静流ちゃん(11カ月)の肩に加熱したアイロンを押し当て、やけどを負わせた疑い 「長女がぐったりしている」と119番 体にはほかにも外傷があることから、虐待を繰り返していたとみて	
2	12/11/10	宮崎	○	○	無職	○		○	○				詳細 県こども課長補佐	『弁護側、母の苦悩訴え』『長女暴行死初公判』 夫を取られた嫉妬心と疎外感から虐待に走った 生後11カ月の長女への傷害と傷害致死罪に問われ 検察側「夫と2人の生活から長女中心の生活になり、仲間はずれになったと感じた」 出産した病院を退院して、わずか1週間で被告の心境が変化したと指摘 「両肩ならばアイロンでやけどをさせても長袖の服を着せれば隠せると考えた」 「虐待がばれることを恐れて病院には連れて行かなかった」と述べて、犯行の悪質性を強調 弁護側「学校から帰ると、タクシーでパチンコ店に来るように母親に言われた。 そこに母親の交際相手がいたが、父親には言うなと口止めされたー」 黒いスーツ姿の被告は、ハンカチで両目を押さえ、うつむきながらすすり泣いた。 離婚後、親戚宅へ預けられた。転校先にはなじめなかった。 専門学校を卒業して看護師になった後も対人関係に悩み、勤務先の病院を4か所も移ったー。 「母親に愛されなかった心の傷を引きずり、ささいな子育ての問題でも重く受けとめ、追いつめられて目の前のこどもに感情をぶつけたのがこの事件だ」 事件の2カ月前頃から被告が親族や友人あてに子育ての悩みを打ち明けるメールを頻繁に送っていた 事件の半年前には、市に被告自ら相談したが、「緊迫した状況に気付いてもらえなかった」 県こども家庭課課長補佐 被告が生い立ちや子育てに悩んで友人らに相談していたことを「きょう初めて知り驚いている」～これまでの市と県の対応について「判断が甘かった」	『被告自ら相談、行政救いきれず』
3	12/14/10	宮崎	○	○	無職	○		○	○					『被告の夫と父が証人尋問で証言』『長女暴行死初公判』 生後11カ月の長女へにアイロンを当て、殴るけるなどして死なせた 被告の父親と夫が被告の境遇などを語った 小学生の時に母親が浮気をしさらに3000万円以上の借金を作って離婚した。 ストレスが重なってチック症と診断された被告は、離婚時に母を「死ね」などと罵倒した父「このときちゃんと向き合っていれば良かった」 夫 長女を身ごもった被告が「母のいない自分が母親になれるのか」と心配していた。 長女が生まれた後、夜泣きがストレスになり、手首を切るなどしたため、一時乳児院に預けたが、「自分で育てたい」と懇願したため、引き取ったという。	
4	12/15/10	宮崎	○	○	無職	○		○	○					『長女暴行死公判』/生後11カ月の長女へにアイロンを当て、殴るけるなどして死なせた 産業カウンセラー「心の根底に母親に見捨てられたことへの不安があり、不安神経症になった。幼い時の傷を背負うアダルトチルドレンになっている」「精神科の投薬やカウンセリングを受けていれば、感情の起伏が抑えられ、こんな事態にはならなかった」 義父「事故死だったと考えることにしている。夏紀は母親の存在が空っぽなので、私の女房を利用してほしい」	『育った環境の影響 カウンセラー証言』

		プライバシー										コメント			その他
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など		関連・問題提起・提案・その他
5	12/16/10	宮崎	○	○	無職	○						○		『被告「大人にも母にもなりきれず』『長女暴行死公判』 熱したアイロンを長女(11カ月)に押しつけて、やけどさせた上、頭を殴るなどして死なせた 「自分が大人にも母親にもなりきれなかったためだ」 「(注意をしても静流ちゃんがコードを引っ張るので)危険だと分からせるしつけだった」 15分ほど泣き続け赤いやけどが残ったのに、病院に連れて行かず、夫に黙っていた ことについて「警察にばれて夫と別れることを恐れた」と述べた 乳児院から家庭に帰った後もぐずると泣きやまなかったため、ノイローゼになり再び 施設に預けたいと思ったが、「2度目(の入所)は絶対に(許され)ない」と思った」 「ごめんねと何百回でも言いたい」	
6	12/17/10	宮崎	○	○	無職	延岡市						○	裁判員3人	『長女を虐待死「心の闇」説明』/かわいいわが子をなぜひどい目に遭わせるのか 弁護士は～母親の「心の闇」に迫った 母子の間で「要求の不一致」があったとする分析を～カウンセラーの証言を元に展開 人見知りをしたり、泣きやまなかったり、アイロンのコードを引っ張ったりする行為は、 「自分の大切な人が分かっている」「自己主張できる」「引っ張ればその先にあるものが 動くことを知った」という赤ちゃんの成長の証し。にもかかわらず被告は「わがまま」 「危なくて手がかかる」と否定的に受け止めて感情を爆発させたとし、当時の心理を 「(行政や医師など)第三者の介入なしに母性や倫理観で止められないものだった」 検察側「被告は静流ちゃんにつらい思いをさせていることを分かっていたのに適切な 方策を取らず、昔の交際相手に連絡するなど気を紛らせるだけだった」 虐待は「自らのいらだちを一方向的にぶつけたもの」	
7	12/22/10	宮崎	○	○								○		『長女を虐待死実刑判決』/長女を虐待死させた 裁判員20代女性「夫も子どもにも囲まれ、うらやましいとも思った。 被告は恵まれた自分をもっと見つめ直してほしい」 裁判員50代男性「思い出したくなかったのかもしれないが、 罪に正面から向き合ってほしかった」 裁判員60代男性「被告の考えには理解できない面が多く、 自分と比較しながら審理に臨んだ」	『「罪に向き合って」裁判員らが会見』
8	12/22/10		○	○	無職	○						○	○	『乳児虐待死 母に懲役6年』 生後11カ月の長女に熱したアイロンを押しつけるなどの暴行を繰り返し死亡させた 裁判長「成育歴など母親に同情できる面もあるが、暴行の方法は危険で残酷。 発覚を恐れて病院に連れて行かないなど悪質な面もある」 長女の静流ちゃんの両肩にアイロンを押し当てて全治2週間のやけどをさせた。 その後も頭を殴ったりけったりして、～死亡させた 裁判長 長女を世話する夫の姿を見て「夫をとられる」と思い込むなど精神的に 不安定な状態が続き、身勝手な怒りを爆発させたと指摘。 一方、事件の背景として被告の成育歴にも言及。 「幼い頃、母親に見捨てられ、いじめも受けた」としたが、 「それでも暴行は正当化できず、刑の執行を猶予すべきとは認められない」	『宮崎地裁判決「暴行の方法 残酷」』

犯罪報道分析シート 宮崎乳児虐待死事件(2009年)

新聞 宮日

日付	紙面	プライバシー										コメント	性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他	
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族				識者
1	8/4/09	○	○	○	○							○		『傷害疑い母親逮捕』/生後11カ月の長女にアイロンを当てて虐待 磯田容疑者が「子どもがぐったりしている」と119番通報	『乳児アイロン当て虐待』
2	8/5/09	○	○	○	○							夫		『育て方分からない』/『容疑の母親』/生後11カ月の長女にアイロンを当てて虐待 児相や市に「育て方が分からない」「相談相手がいない」などと相談 出産して以来「育て方が分からない」などと相談。夫とともに要望したこともあり、施設に預けた 市に育児不安を訴え～市の家庭相談員と職員の2人が訪問。「児童専門の民生委員を紹介しようか」と持ちかけたが、磯田容疑者は「まだいい」と断ったという 子育てに前向きで、静流ちゃんの体重もほぼ平均、虐待とみられる傷もなかった アイロンがけの途中で「いらいらしていた」と供述 磯田容疑者が「子どもがぐったりしている」と119番通報	『昨年かから見相に悩み』
3	8/9/09	1面		○	母親	延岡市							記者	生後11カ月の長女にアイロンを当てて虐待 母親は1年前から市や児童相談所に「育て方が分からない」などと相談していた 育児不安が消えないままの悲劇だった/言葉も凍るほどのむごい虐待というほかない 世のお母さんたちの悲嘆と動揺は察してあまりある 子どもの育て方を知らない未熟な親の「心の砂漠」に、現代の暗黒が重なって見える この母親に頼るべき家族、地域社会はなかった	「くろしお」欄 「子守歌」と関連させて 子守歌を復活～悲劇が防げるとは言わない。 自己チュー社会はどこかで反転が必要だ。 「ねんねこ」が響き合う地域社会でありたい。
4	10/28/10		○	○	無職	○								生後11カ月の長女に暴行を加え死亡させた 長女の頭を殴る、けるなどの暴行を加え、頭部打撲で死亡させた	『12月10日に裁判員裁判』 初公判
5	12/11/10		○	○	無職	○						○		生後11カ月の長女に暴行を加え死亡させた 小学生時に母が家を出た 長女の両肩に熱したにアイロンを押し当て、全治約2週間のやけどを負わせたほか、 頭を殴るなどの暴行を加え、頭部打撲による脳腫脹で死亡させた 検察側は～長女が泣きやまないことや育児への不安からいら立ちを募らせ、 虐待を繰り返すようになった～「しつこく残虐な暴行」 弁護側 小学生の時に母親が家を出たことによる不安感や自己否定感が犯行につながった	県内の裁判員裁判で児童虐待事件初めて
6	12/14/10		○	○	無職	○								生後11カ月の長女に暴行を加え死亡させた	先週の動き5～11日
7	12/14/10		○	○	無職	○						○	○	生後11カ月の長女に暴行を加え死亡させた 父親「母親の借金や不倫が原因で離婚し、心の傷を負わせた。仕事を優先し娘の悩みを十分に聞かなかった」 夫 自身が子供をあやしていると、被告が「しいちゃん(娘)ばかり」と怒ったり怒鳴ったり～被告が強い不安感を抱いていた 長女の両肩に熱したにアイロンを押し当て、全治約2週間のやけどを負わせたほか、 頭を殴るなどの暴行を加え、頭部打撲による脳腫脹で死亡させた	第2回公判 不安神経症と不眠症と診断
8	12/15/10		○	○	無職	○						○	○	『育児いらいら暴力』/生後11カ月の長女に暴行を加え死亡させた カウンセラー「長女の成長が遅いことなどに自信をなくし、いらだちを募らせ、暴力を振るった」 「被告の母親が小学生の時に家を出て、自分は要求できなかったとの思いがある」 検察側「いらいらがなぜ暴力に結びつくのか。我慢できなかったのか」 夫は「子育てに悩む妻のSOSに、仕事が忙しいとの理由で真剣に向き合わなかった。 妻より私の責任の方が重い」と情状酌量を求めた 長女の両肩に熱したにアイロンを押し当て、全治約2週間のやけどを負わせたほか、 頭を殴るなどの暴行を加え、頭部打撲による脳腫脹で死亡させた	第3回公判 カウンセラー証言

	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他	
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族			識者
9	12/16/10		○	○	無職	延岡市								生後11カ月の長女に暴行を加え死亡させた 被告は育児に不安を抱え長女を乳児院に預けていたなどと説明 「覚えていません」を繰り返した/アイロンを両肩に当てたのは「しつけのつもりだった」 「私が大人、母親になりきれいでなかった」 長女の両肩に熱したアイロンを押し当て、全治約2週間のやけどを負わせたほか、 頭を殴るなどの暴行を加え、頭部打撲による脳腫脹で死亡させた	第4回公判
10	12/17/10		○	○	無職	延岡市			○					『母親に懲役6年求刑』『暴行態様執拗で残酷』 母親に見捨てられ 生後11カ月の長女に暴行を加え死亡させた 検察側「長女は親の愛情を感じないまま母親から命を奪われ、ふびん」 抵抗できないわが子の頭を何度も殴るなど「暴行態様執拗で残酷」 弁護側「幼少期母親に見捨てられて心に傷を負い、犯行に至った」 「反省しており、親族の支援もあり更正は可能」 被告「こんなママでごめんなさい。今後は静流(長女)の供養を第一に生きていきたい」 長女の両肩に熱したアイロンを押し当て、全治約2週間やけどを負わせたほか、 頭を殴るなどの暴行を加え死亡させた	結審
11	12/19/10	1面		○		延岡市								生後11カ月の長女に暴行を加え死亡させた/女性被告	「今週の焦点」欄
12	12/22/10		○	○	無職	延岡市			○		裁判員2名			『母親に懲役6年』/生後11カ月の長女に暴行を加え死亡させた 母親に見捨てられ 裁判長「幼い頃母親に見捨てられるなどした成育歴に、同情の余地がないとはいえない」 長女の両肩に熱したアイロンを押し当て、全治約2週間やけどを負わせたほか、 頭を殴るなどの暴行を加え死亡させた 裁判員20代女性「自分自身に重ねながら参加した。命の大切さを感じた」	判決 会見、裁判員3人出席

犯罪報道分析シート 宮崎乳児虐待死事件(2009年)

新聞 毎日

	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他	
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族			識者
1	8/5/09	宮崎	○	○	無職	○					○			『傷害容疑で母親逮捕』 生後11カ月の長女の肩にアイロンを当て、約3週間のやけどを負わせた 長女の静流ちゃんの両肩に加熱したアイロンを当て、約3週間のやけどを負わせた 「子供がぐったりしている」と119番	『乳児にアイロン当てる』
2	12/22/10	宮崎	○	○	無職	○								『生後11カ月の長女 傷害致死罪』『母親に懲役6年』 生後11カ月の長女を殴るなどして死亡させた 裁判長「本来自分を保護してくれるはずの実の母親からの暴力によって、命を 落とした長女は哀れでふびんというほかはない。尊い命が奪われた結果は重大」 加熱したアイロンを長女の両肩に押し当て、やけどをさせた。 さらに～長女の頭を殴るなどして、頭部打撲のけがで死亡させた	判決

犯罪報道分析シート 大阪2幼児放置死事件(2010年)

新聞 朝日(朝刊→朝、夕刊→夕) 大阪 東京 西部

日付	紙面	プライバシー								コメント		性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他		
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族			識者	
1	7/31/10	朝東	○	○	○	○			○	元夫				『2児変死 母を逮捕』『死体遺棄容疑「育児が嫌に」』 (長女と長男)2人の遺体を部屋に放置した疑い	子どもの名前・年齢
														2人を残してマンションを出た～「ご飯も水も与えなければ生きていくことはできないとわかっていた。私が育児放棄したことによって殺してしまった」 風俗店に勤め始めた1月ごろから2人に食事を与えたり、風呂に入れたりするのが嫌になり、「子どもなんていなければいいのにな」と思うようになった。	
														2人を残してマンションを出た～部屋に戻り、2人が亡くなっているのを見たが、そのまま部屋を出た 風俗店の従業員が電話～「大変なことをした。中で子どもが死んでいる」と話し ～元夫と結婚～離婚し、子ども2人を引き取った	
2	7/31/10	朝東	○	○	○	○				子				『2児置き去り1か月』『大阪遺棄事件 母「子、いなければ」』	『強制立ち入り1件だけ』厚労省コメント 子どもの名前
														幼い姉弟の遺体が見つかり、風俗店員の母親(23)が死体遺棄容疑で逮捕	
														1月から、西心斎橋の風俗店に勤務～マンションの部屋は、同店が寮として借り上げ ～子ども2人と一緒に住んでいたという 「子どもなんていなければいいのになと思った」と供述 約1か月前に2人を置いて部屋を出たという マンション3階に住む会社員女性「子どもの姿は見たことがないが～20代半ばの女性がビザを受け取りに～今時の子という印象～」 別のフリーター男性「～金髪で上下ジャージ姿だった」・連日～激しい泣き声が聞こえ、ベランダのあたりから異臭～ゴミ袋が見え、はえがたかっていた 「ほとんど毎日、子どもが激しく泣いている。夜中にインターホンから『マー、マー』と長時間叫んでいる」～市こども相談センター～住民から通報	
														『自分の時間が欲しくて』『2児遺棄 母、子育ての悩み供述』	『住民登録なし 市接触できず』 市こどもセンターコメント
3	8/1/10	朝東	○	○	○				○	○		目撃者			
														室内から幼い姉弟の遺体が見つかった事件で、母親の下村早苗容疑者(23)死体遺棄容疑で逮捕 が「子育てに悩みすべてから逃げたかった。自分の時間が欲しかった」などと供述	
														離婚後、大阪へ出て風俗店で働き始めた～子育てのストレスを抱えるように 就労経験がないまま～元夫と結婚。～長女を出産。 しばらくは～元夫の実家で生活し、～長男も生まれた。 義父母は孫の面倒を見て子育てを手伝っていた。 離婚後、名古屋市内の飲食店に勤務～ほとんど地縁のない大阪へ移り、 風俗店で働き始めた。親子3人で入居した～店の寮だった。	三重県出身・東京都内の高等専門学校卒業 結婚・出産年月 子どもの名前・年齢 元夫年齢・実家(三重県四日市)
														子どもを公園に連れて来ていた容疑者を目撃した女性「子どもが『マー、マー』と呼んでもたばこを吸ったまま目をやらなかった。子どもに関心がない様子が携帯電話を見ていた。育児がしんどいのかと思った。」 「～子どもにご飯をあげたり、お風呂に入れたりするのが嫌になり、子どもなんていなければいいのになと思った」と供述 離婚後に1人で育児と仕事を抱えた下村容疑者はストレスのため込んだ末、2児を置き去りにしてマンションを出たとみている。	

		プライバシー							コメント			その他		
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
4	8/2/10	朝東	○	○	○	○	○	○					『「日常的に子を放置」』『2児遺棄 下村容疑者を送検』 室内で幼い姉弟の遺体が見つかった事件で、母親の風俗店員下村早苗容疑者(23)死体遺棄容疑で逮捕 が「大阪に転居した1月から日常的に子どもを放置した」と供述 放置を繰り返すうちに感覚がまひし、子どもを死なせた疑い 名古屋市の飲食店から大阪市中央区の風俗店に移った	託児所は用意されていなかった ドアにあった粘着テープの跡 本人写真(SNSページ)
5	8/3/10	朝東	○	○						住民			母親が育児を放棄した末、～幼い姉弟がなくなった事件 激しい夜泣き、「ママっ」と泣き叫ぶ声 「虐待かも知れない」。アルバイト女性～「ママっ、ママっ」と叫んでいた。 夜中に「ママ」と長時間叫んでいる。親が子を置いて働きに出ているのでは	『異変通報ためらう住民』 複数の人が通報していれば 住民からの通報と児童相談所の対応の表 通報日時・内容・児相の対応
6	8/4/10	朝東 社説		○	○			○				○	どれほど寂しくて、苦しかったことだろうか。 ～3歳の姉と1歳の弟が寄り添うように死亡していた。 2人は母親にほったらかしにされ、食べ物も水も与えられていなかった。 死後1～2カ月たち、遺体は白骨化し～あまりの痛ましさに胸がふさがる 23歳の母親は～「自分の時間がほしくて、育児から逃げ出したかった」と供述 はなはだしい育児放棄であり、虐待だ。 激しい夜泣きや「ママっ」と泣き叫ぶ声 母親は外泊を重ね 母親は昨春、離婚した。風俗店につとめ～部屋は店が寮として借り上げていた 母親は外泊を重ね、子育ての現実から逃げていた。 親として未成熟で、虐待死の責任はきわめて思い。 子どもに愛情を注いでいた時期もあったようだ。 母親もまた孤独の中で救いを求めているのだと考えたい。	『虐待防止に一步踏み込め』 警察と連携し立ち入り調査できたのでは 児童虐待防止法、改正すべき 近隣の異変に気を配る～命を社会で守る
7	8/4/10	朝東 声		○	母親					投稿・男			23歳の母親は2人を残したまま外出し「ご飯も水も与えなければ生きていくことはできないとわかっていた」と話し～あまりにも痛ましい事件だ	『育児放棄の子を救う制度必要』 子どもの年齢/赤ちゃんポスト
8	8/4/10	朝東	○	○	母親								『大阪・2児遺棄容疑の母』『殺人容疑 再逮捕へ』 ～3歳と1歳の姉弟の遺体が見つかった事件で、～母親の下村早苗容疑者(23)死体遺棄容疑で逮捕 を殺人容疑で再逮捕～ 部屋のドアを粘着テープで固定して2児を長期間放置したと供述～ 食事も水も与えずに長期間放置すれば死亡することを十分認識していた 「子どもなんていなければいいのに」と思うようになった 2人を残してマンションを出た～「ご飯も水も与えなければ生きていくことはできないとわかっていた。私が育児放棄したことによって殺してしまった」 「長期間にわたって家を出ようと決意して放置した」とも話している	
9	8/5/10	朝東 声			母親					投稿・女			3歳と1歳の姉弟が死亡、育児放棄した母親が逮捕される痛ましい事件 子どもが唯一頼れる母親にごみが散乱する部屋に置き去りにされ、 水も食べる物もなかったとは、どんなにつらく心細かっただろう	『児童福祉司確保し 虐待防げ』 警察と行動しやすい環境を整え 貧困なら経済支援/6歳・4歳・3カ月の母親
10	8/5/10	朝東 声								投稿・女			虐待死した3歳と1歳の姉弟が感じた絶望はいかほどのものだったのでしょうか 4歳と生後4カ月の2児の母として、相次ぐ児童虐待報道には心が痛み～	『強制立ち入り実効性高めて』 臨検・捜索が正しく機能するように
11	8/7/10	朝東 声								投稿・男			大阪市の小さな姉弟の虐待死	『虐待防止対策は国会の急務』 法整備、警察の防犯態勢強化
12	8/8/10	朝東 声								投稿・男			幼児が親に虐待を受け、死亡する痛ましい不幸ごとが続いて報道され 可愛い幼児たちがみじめな最期に追いやられています	『行政の努力で弱者の不幸なくせ』 高齢者不明

日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族		
13	8/8/10	朝東 声			母親				○	投稿・女		子どもへの虐待のニュースが～私も2児の母、市の保健師として胸が痛んでならない 大阪の事件で、ネットでは母親の両親や元夫らへの批判が寄せられ	『虐待防止にシルバー人材活用を』 法の整備・近隣住民は虐待～記録を残す 子どもの名前・年齢
14	8/11/10	朝東	○	○	○	○						『母、2児放置2カ月』『大阪・遺棄事件 殺人容疑、再逮捕』 母親の元風俗店員 幼い姉弟の遺体が見つかった事件で、～母親の元風俗店員下村早苗容疑者(23) 死体遺棄容疑で逮捕 殺人容疑で再逮捕～ 「食事や飲み物を与えなかったので2人が死んでしまった」と供述 男性との交際にのめり込んで子どもへの愛情を失い、長期間置き去りにして衰弱死させた (長女と長男)自宅マンションに置き去りしたまま外出し、衰弱させて殺害した 約2カ月間、一度も帰宅しなかったといい、「2人が亡くなった原因は私にある。 私がお家を空けている間、自力で食べられないことはわかっていた」と供述	
15	8/11/10	朝大	○	○	○	○	○	○	○	○	○	『『良いママ代表だった』『2児殺害容疑 母親を再逮捕 友人に見せた子煩悩』 母親 同僚女性 風俗店に勤務 祖母 2児の父方祖母 幼い姉弟が置き去りにされ遺体で見つかった事件で、母親の下村早苗容疑者(23) が殺人容疑で再逮捕 離婚後も働きながら明るく子育てに励む姿に、友人たちは感心していた 交際男性には子どもの存在隠していた 離婚後、～名古屋市内に移り、飲食店に勤務。深夜まで近くの託児所に～預けていた 名古屋、同僚女性 休日、レンタカーを借りて子どもを動物園に連れていったり、 ～出産を相談すると「私も2人育てているから大丈夫」と励まし 「いらついたりすることはない。子どもなんて何やっても可愛いじゃん」と話した 仕事と子育てを両立させる様子に、同僚らは「良いママ代表みたいな感じ」と話し 「楽しそうだし、～」と大阪市中央区の風俗店に移り、店が借りた～入居した 店に託児所はなく、～2児を部屋に残して出勤していた 部屋の水道の使用量は～、5～6月にはほとんど使われていなかった 部屋は足の踏み場もなく、～布団の上にもコンビニ弁当の容器などが散乱 数カ月は横になった形跡がなかった 複数の男性と交際。～「子どもがいるとは言っていない」と供述 上記同僚女性『子どもは寝ているから大丈夫』と言っていた。 遊び相手はいても、子育ての悩みを相談できる人はいなかったのでは」 最近不可解な事件が頻発～もう珍しくなくなってしまった親の育児放棄と虐待 「親の子を思う心は本能、子の親を思う心は道徳」という言葉がむなし	『大阪・2児の置き去り事件をめぐる経緯』 05～10年・1月の容疑者の経歴・行動など 高等専門学校卒業後、日本料理屋に勤務 結婚、出産、離婚、風俗店に勤務 置き去り、遺体を確認、逮捕、再逮捕 など、一覧表。年月・県市記載 本人写真(SNSページ) 2児の父方の祖母(47)のコメント 2児様子。再逮捕に「胸が痛いです」など
16	8/12/10	朝東 声								投稿・男		『社会の劣化食い止めなければ』 高齢者不明	
17	8/19/10	朝西									○	『虐待通報への対応徹底』 厚労省が全国の自治体に通知	
18	8/21/10	朝西 be								読者	○	『親による子への体罰は必要？』虐待他2例 読者のアンケート/親支援団体コメント	
19	8/24/10	朝西 声			母親					投稿・女		『育児に悩む母親に声を掛けて』 ～母親が逮捕されたニュースは、あまりにも悲しくて身を切られる思い この母親の心の闇が～理解できる/～周囲の人たちがいなかったのかも	3歳と1歳の母親
20	8/26/10	朝西	○	○	母親							幼い姉弟の遺体で見つかった事件～母親の下村早苗容疑者(23)～殺人容疑で再逮捕 長女と長男を2カ月近く自宅マンションに置き去りにした	鑑定留置/殺人罪の場合裁判員裁判対象 2児の年齢記載
21	8/27/10	朝西										大阪市のマンションで幼い姉弟の遺体が見つかった事件で～	厚労省が全国自治体に通知(手続き改善)

犯罪報道分析シート 大阪2幼児放置死事件(2010年)

新聞 毎日(朝刊→朝、夕刊→夕) 大阪 東京 西部 ※●は、「写真有」だが、内容不明

		プライバシー							コメント			その他		
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
1	7/30/10	夕大				○	●			○		○	「夜中に子どもの叫び声」「ベランダにハエが飛び異臭を放っていた」 マンションの一室で幼児2人の遺体が見つかった事件 部屋の所有者 管理会社 幼い2人はごみが散乱した室内で息絶えたとみられ、長期間、放置されていた 住民らは虐待も疑ったが、2人の命を救うことはできなかった 女性は幼児2人と一緒に暮らしていたとみられる 同じ階の男性「～午前3時ごろから明け方まで、毎日のように子どもの泣き声～ 叫び声のようで尋常ではなかった」 ベランダには菓子の食べかすなどごみが散乱してハエがたかり、異臭を放っていた 虐待も頭をよぎった「～泣き声が止まって～死んでいるのかな～まさか本当とは」と絶句 住人男性「～生ごみが腐ったようなにおいがし～ベランダに出ると強烈な刺激臭～」 ～「う～」という子どものうめき声が～「～信じられない」と声を震わせた 住人女性「子どもは見たことはないが、～泣き声が聞こえた。 ～自分にもおいやめがいるので心配だった。でも、～聞こえなくなった 管理会社には連絡したが…。ショックだ」と肩を落とした。 管理会社 ～住民から「夜中に子どもの泣き声が聞こえる」と通報があった	『部屋から叫び声、異臭 住人ら救えず』 『室温かなり高温』市消防局コメント 『ネグレクト(育児放棄)による死亡例』7例 ※父1・両親3・母1・母と知人女1・父と内妻1 98～10年、年月、県・市町、子の年齢 死因(衰弱死、餓死など) 「段ボール箱に閉じこめ」「監禁した～」「放置」
2	7/31/10	朝大	○	○	○	○		○	○				『「育児が嫌」部屋に置き去り 23歳母親を逮捕』 母親の風俗店従業員 幼児2人の遺体が見つかった事件で、～母親の風俗店従業員下村早苗容疑者(23) を死体遺棄の疑いで逮捕 「子育てに悩み、すべてから逃げたかった。育児が嫌になり、生きている2人を置き去りにした。 育児放棄したことで殺してしまった」と話している 育児放棄に至った経緯などについて追及する 逮捕容疑は、～マンションの自室に、自分の長女と長男の遺体を遺棄した ～2人を残して部屋を出た。～帰宅すると、2人が死亡～。その後も友人宅を転々とし、 ～再び部屋に戻ったが、腐敗した遺体を見てまた部屋を出た。 ～結婚し、～離婚。子どもは父親の籍に入れたまま引き取った ～ミミの風俗店で働き始め、店の寮～で子どもと生活していた 「ご飯をあげたり、風呂に入れたりするのが嫌になった。 子どもなんかいいなればいいのになと思うようになった。 置き去りにして、ご飯も水も与えなければ、小さな子どもが生きていけないのは分かっていた」	子どもの名前・年齢 結婚、離婚の年月
3	7/31/10	朝大	○	○	母親		●	○	○	店員	父	父	『母親容疑で逮捕 ごみの中、寄り添う』 幼い2人はごみが散乱した狭い部屋に閉じ込められ、命を絶っていた。 部屋の冷蔵庫は空っぽで、2人は死ぬ数日前からまったく何も食べていなかった。 「育児が嫌になった。すべてから逃げたかった」～母親の下村早苗容疑者(23) 死体遺棄の疑いで逮捕 母親に見捨てられた幼い2人は、寄り添うように全裸で倒れていた。 ～エアコンは稼働しておらず、2人は暑さのあまり自分で服を脱いだ可能性も 部屋の冷蔵庫には飲み物すら入っていないかった 食べ物に飢えて死亡したとみている	司法解剖結果詳細 子の名前・年齢・身長 「遺体は腐敗が進み、一部は白骨化。～」 容疑者の出身地(県市) 「東京の高等専門学校を卒業後、結婚して～」 容疑者の父親、名前・年齢・職業・経歴 事件のコメント「～子どもが可愛そうで残念です」 「高校ラグビー界の名監督～」

		プライバシー							コメント			その他		
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
													ベランダや室内には、スナック菓子やハンバーガーの袋、おむつが散乱していた	
													子どもにファーストフードやお菓子ばかり与えていたとみられる	
													ピザ店員 ~ピザ1枚と5個入りのチキンゲット二つ、オレンジジュース1本を2回宅配した	
													警察が遺体を発見する数時間前~約1カ月ぶりに部屋に戻った	
													「子どもの体は茶色に変色して腐っていた」と淡々と話しているという	
4	7/31/10	朝大	○	○	母親		●	○			市		『母親容疑で逮捕 「母の愛」ひょう変』	
													『娘との毎日、本当に幸せ一下村容疑者、ブログで語る』	07年12月から08年4月のブログ内容
													離婚前~インターネットのブログに子どもへの愛情をつづっていた	
													「可愛い娘と毎日をのほほんと過ごせることが本当に幸せなことなんだと~」	
													~長女桜子ちゃんを産み、まもなく長男楓ちゃんを妊娠	
													~突発性発疹に~「子どもが元気なことほど、心が痛いことはありません」と親心をみせ	
													「ただ、無事に産まれてきてくれたらそれでいいよ」と呼びかけ~我が子へのいとしさにあふれ	
													市こどもセンター(児童相談所)が虐待を疑う通報を受けながら子どもの安否確認をしなかった	『大阪市が陳謝』会見、市局長コメント
													相談センターは、~計3回、虐待を疑う通報を受けた	
													計5回家庭訪問~不在票を置いて~保護者の連絡を待っており、子どもの安否確認はしなかった	
													最後の~通報は「子どもの泣き声が今もする」~直ちに職員を派遣せず~	
													「虐待を思わせる大人の怒鳴り声などがなく、緊急性を要するとの判断に至らなかった」と釈明	
5	7/31/10	朝東	○	○	○	○		○		住人	市		『2幼児放置死 母逮捕』『死体遺棄容疑「育児が嫌に」』	
													母親の風俗店従業員	
													幼児2人の遺体が見つかり~母親の風俗店従業員下村早苗容疑者(23)を死体遺棄の疑いで逮捕	
													「子育てに悩み逃げたかった。育児が嫌になり置き去りにした」	
													育児放棄で子どもを死なせたとみて追及する	
													逮捕容疑は、自宅マンション室内に、長女と長男の遺体を遺棄した	子どもの名前・年齢
													子ども2人と3人暮らし	部屋は3階の約15平方メートルのワンルーム
													~まだ生きている2人を部屋に残し出て行った~帰宅すると、2人が死亡していた	
													その後も友人宅を転々とし、~再び部屋に戻り、遺体の腐敗状況を見てすぐに出て行った	
													遺体の一部は白骨化し、周囲にはごみが散乱していた	
													~エアコンは稼働していなかった。幼児は暑さのあまり自分で服を脱いだ可能性も	
													~離婚。~ミナミの風俗店で働き、店の寮のこの部屋で生活。	離婚の年月
													「ご飯をあげたり風呂に入れたりするのが嫌になった。	
													子どもなんかいなければいいのと思うようになった。」と供述	
													管理会社には、異臭や泣き声の苦情が相次いでいた	
													市こどもセンターには、住民から虐待を疑う通報が~計3回あった	
													~不在票を置いて引き揚げた~子どもの安否確認や警察への連絡もしなかった	
													同じ階の男性「~午前3時ごろから明け方まで、毎日のように子どもの泣き声~	
													叫び声のようで尋常ではなかった」	
													ベランダには菓子の食べかすなどごみが散乱してハエがたかり、異臭を放っていた	
													虐待も頭をよぎった「~泣き声が止まって~死んでいるのかな~まさか本当とは」と絶句	
													住人男性「~生ごみが腐ったようなにおいがし~ベランダに出ると強烈な刺激臭~」	
													~「うー」という子どものうめき声が聞こえていた	
													住人女性「子どもを見たことはないが、~『痛い』とか『わー』とか泣き声がしていた。	
													自分にもおいやめいがあるので心配だった。5月ごろから聞こえなくなった。	
													~管理会社には連絡したんですが...」と最悪の結末に肩を落とした。	

		プライバシー								コメント			その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
6	7/31/10	朝西	○	○	○		●	○	○		父	市	『「育児が嫌になり」放置 容疑で母親逮捕』 幼児2人の遺体が見つかった事件で、～母親の風俗店従業員、下村早苗容疑者(23)を死体遺棄の疑いで逮捕 「子育てに悩み、すべてから逃げたかった。育児が嫌になり、生きている2人を置き去りにした。育児放棄したことで殺してしまった」と話している 育児放棄に至った経緯などについて追及する 逮捕容疑は、～マンションの自室に、自分の長女と長男の遺体を遺棄した ～2人を残して部屋を出た。～帰宅すると、2人が死亡していた。その後も友人宅などを転々とし、～再び部屋に戻ったが、腐敗した遺体を見てまた部屋を出た。 ～結婚したが、～離婚。子どもは父親の籍に入れたまま引き取った ～風俗店で働き始め、店の寮のワンルームマンションで子どもと生活していた 「ご飯をあげたり、風呂に入れたりするのが嫌になった。 子どもなんかいなければいいのと思うようになった。 置き去りにして、ご飯も水も与えなければ、小さな子どもが生きていけないのは分かっていた」 幼い2人はごみが散乱した狭い部屋に閉じ込められていた。 部屋の冷蔵庫は空っぽで、2人は死ぬ数日前から全く何も食べていなかった。 母親に見捨てられた幼い2人は、寄り添うように全裸で倒れていた。 ～エアコンは稼働しておらず、2人は暑さのあまり自分で服を脱いだ可能性も 部屋の冷蔵庫には飲み物すら入っていないかった 食べ物に飢えて死亡したとみている ベランダや室内には、スナック菓子やハンバーガーの袋、おむつが散乱していた 子どもにはファーストフードやお菓子ばかり与えていたとみられる 警察が遺体を発見する数時間前～約1カ月ぶりに部屋に戻った 「子どもの体は茶色に変色して腐っていた」と話しているという 離婚前～インターネットのブログに子どもへの愛情をつづっていた 「可愛い娘と毎日をのほほんと過ごせることが本当に幸せなことなんだと～」 ～長女桜子ちゃんを産み、まもなく長男楓ちゃんを妊娠 出産を「わが子に直面した時は、言葉にならないほどうれしかった」と振り返っていた 市子どもセンター(児童相談所)が虐待を疑う通報を受けながら子どもの安否確認をしなかった 相談センターは、～計3回、虐待を疑う通報を受けた 計5回家庭訪問～不在票を置いて～保護者の連絡を待っており、子どもの安否確認はしなかった 最後の～通報は「子どもの泣き声が今もする」～直ちに職員を派遣せず～ 「虐待を思わせる大人の怒鳴り声などがなく、緊急性を要するとの判断に至らなかった」と釈明	子どもの名前・年齢 結婚、離婚の年月 司法解剖結果 子の名前・身長 「栄養も不足している状態～」 容疑者の父親、名前・年齢・職業・経歴 事件のコメント「～子どもが可愛そうで残念です」 「高校ラビ界の名監督～」 会見、市局長コメント
7	7/31/10	夕大	○	○	○		●	○	○		元夫両親		『母「時間、欲しかった」離婚後、交友関係派手に』 幼児2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄の疑いで逮捕された母親の風俗店従業員、下村早苗容疑者(23)が「～離婚後、子育てが面倒くさくなった。自分の時間が欲しかった」と供述 離婚後～交友関係派手になっていた～子育てを放棄した背景などについてさらに追及 ～結婚し～離婚した。～長女と長男を夫の籍に残したまま引き取った。 離婚を機に、～夜遊びなどの交友関係派手になっていた ～ミナミの風俗店に勤務し、店の寮である～子ども2人と暮らし始めた 「このころから子どもにご飯をあげたり、風呂に入れたりするのが嫌になった」と話し	結婚、離婚の年月/元夫の出身地(県市名) 子どもの名前・年齢

		プライバシー										コメント			その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など			関連・問題提起・提案・その他
													～2人を部屋に置き去りにして出ていった。2人は間もなく死亡したとみられる 「出て行ってから1週間ぐらい後には『子どもはもう死んでいる』と思った」と振り返っている。 その間、知人宅などを転々としていたとみられ、 「途中で帰って子どもを助けなければという気持ちにはならなかった」とも話している (幼児の)祖父母 結婚後、約半年間、祖父母宅で暮らした。 その後、引っ越したが、～桜子ちゃんを週に何度も連れてきた 祖母から離乳食の作り方を学んだ。祖母は「母親としてよくやっていた」と振り返った 離婚時、祖母は～「何かあったら連絡して」と頼んだ～連絡は一度もなかった。			幼児の祖父母で、元夫の両親を取材 自宅(県市名)、年齢 事件のコメント「会えると信じていた」
8	7/31/10	夕東	○	○	○		●						『逮捕の母「自分の時間欲しかった」 離婚後夜遊び増え』 母親の風俗店従業員 幼児2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄の疑いで逮捕された母親の 風俗店従業員、下村早苗容疑者(23)が「～離婚後、子育てが面倒くさくなった。 自分の時間が欲しかった」と供述 離婚後～交友関係派手になっていた ～結婚し～離婚した。～長女と長男を夫の籍に残したまま引き取った。 離婚を機に、～夜遊びなどの交友関係派手になっていた ～ミミの風俗店に勤務し、子ども2人と暮らし始めた 「このころから子どもにご飯をあげたり、風呂に入れたりするのが嫌になった」と話し ～2人を部屋に置き去りにして出ていった。2人は間もなく死亡したとみられる 「出て行ってから1週間ぐらい後には『子どもはもう死んでいる』と思った」と振り返っている。 その間、知人宅などを転々としていたとみられ、 「途中で帰って子どもを助けなければという気持ちにはならなかった」とも話している (幼児の)祖父母 結婚後、約半年間、祖父母宅で暮らした。 その後、引っ越したが、～桜子ちゃんを週に何度も連れてきた 子育てに熱心で、祖母から離乳食の作り方を学んだ。			結婚、離婚の年月/元夫の出身地(県市名) 子どもの名前・年齢
9	8/1/10	朝大	○	○	○	○		○	○				『置き去り外泊、以前から 母親供述』 母親の風俗店従業員 幼児2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕された母親の風俗店従業員、 下村早苗容疑者(23)が「取り返しのつかないことをしてしまった」と反省する内容を述べ～ 「以前から度々、子どもを置き去りにし、数日間、外泊した」と話している 幼児2人は～長期間、部屋を置き去りされ死亡したとみられるが～ 2人を長期間放置する育児放棄を以前から繰り返していたとみて～ ～離婚し～長女と長男を引き取った。その後、繁華街で夜遊びを繰り返すようになった。 ～ミミの風俗店に勤務し、店の寮で～暮らし始めた。 このころから、部屋に～残して外出するようになり、時には数日間、帰らないことがあったという。 ～昼夜を問わず～泣き声が、周囲に響くようになった。 インターホンの受話器を通じ、玄関～から「ママ～」という叫び声が漏れるようになった。 外泊癖がエスカレートした結果、死亡につながったとみている			離婚、年月
10	8/1/10	朝大	○	○	○		●	○	○	○			『幸福から転落 逮捕の母、更生できず』『荒れた思春期乗り越え…就職、結婚』 母親 風俗店に勤め 教諭 知人女性 同級生 荒れた思春期乗り越え、幸せをつかんだはずだったのに～ 母親～中学時代非行に走ったが、不登校などの子どもも多く集まる東京の高等専門学校で 更生、ラグビー部のマネージャーとして活躍していた 卒業後は地元で就職、結婚と順調に歩んでいたようにみえた			地元、県市名

日付	紙面	プライバシー								コメント			その他
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など
												3姉妹の長女。中学、髪を茶色に染め、夜の街をはいかいした。	
												父親は、～知人の教諭に娘を託した。～中学卒業後、この教諭の母親の家に下宿	父親の年齢・職業
												卒業までの3年間、教諭のクラスで学び、放課後はラグビー部の世話に汗を流した	
												「子どもが大きくなったな」「はーい」教諭は～こんな会話を交わしたという	
												「元気そうだった。～がんばって卒業し、就職し、結婚し…」～逮捕については「泣きたい」と絶句	
												卒業後は～飲食店に就職した。間もなく地元の男性と出会い、結婚した。	
												犠牲になった長女、長男を授かった	子どもの名前・年齢
												知人女性「赤ちゃんを抱いて、夫と幸せそうに買い物していた」	
												同級生「結婚して出産し、更生したようだった」	
												～離婚。幼い2人を引き取り、名古屋の飲食店で働いていた	離婚、年月
												～ミミの風俗店に勤め、店の寮に～転居した。	
												近くの公園に～2人を連れてきたのを見た人 子どもを遊ばせ、ハンチに腰かけてたばこを吸い	
												携帯電話の画面を眺めていた。～「ママ」と呼んでも無視していた	
												数カ月後、幼い2人は母親に見捨てられ、命を失った。	
												中学の卒業文集に書いた夢は「むっちゃ幸せになること」	
												つかみかけた幸せをいつしか手放していた。	
11	8/1/10	朝東	○	○	○	○	○	○	○	○	○	『「以前から置き去り」 数日間外泊も』	
												母親の風俗店従業員	知人
												幼児2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕された母親の風俗店従業員、	
												下村早苗容疑者(23)が「以前から度々、子どもを置き去りにし、数日間、外泊した」と供述	
												外泊は数日間に及ぶ時もあった	
												幼児2人は～長期間、部屋に置き去りされ死亡したとみられるが～	
												2人を長期間放置する育児放棄を以前から繰り返していたとみて～	
												～離婚し～長女と長男を引き取った。その後、繁華街で夜遊びを繰り返すようになった。	離婚、年月
												～ミミの風俗店に勤務し、店の寮で～暮らし始めた。	子どもの名前・年齢
												このころから、部屋に～残して外出するようなり、時には数日間、帰らないことがあったという。	
												～昼夜を問わず～泣き声や叫び声が、部屋の周囲に響くようになった。	
												インターホンの受話器を通じ、玄関～から「ママ、ママ」という泣き叫び声が漏れるようになった。	
												外泊癖がエスカレートした結果、2人の死亡につながったとみている	
												『荒れた思春期 乗り越えたはずが』荒れた思春期乗り越え、幸せをつかんだはずなのに～	
												中学時代非行に走ったが、不登校などの子どもも多く集まる東京の高等専門学校で更生、	
												ラグビー部のマネージャーとして活躍していた	
												卒業後は地元で就職、結婚と順調に歩んでいたようにみえた	
												3姉妹の長女。中学、髪を茶色に染め、夜の街を徘徊した。	
												父親は、～知人の教諭に娘を託した。～中学卒業後、この教諭の母親の家に下宿	
												卒業までの3年間、教諭のクラスで学び、放課後はラグビー部の世話に汗を流した	
												「子どもが大きくなったな」「はーい」教諭は～こんな会話を交わしたという	
												「元気そうだった。～がんばって卒業し、就職し、結婚し…」～逮捕については「泣きたい」と絶句	
												『子への愛情 ブログに』	07年12月から08年4月のブログ内容
												離婚前～インターネットのブログに子どもへの愛情をつづっていた	
												「可愛い娘と毎日をのほほんと過ごせることが本当に幸せなことなんだと～」	
												～長女桜子ちゃんを産み、まもなく長男楓ちゃんを妊娠	
												～突発性発しんに～「子どもが元気なことほど、心が痛いことはありません」と親心をみせ	
												「ただ、無事に産まれてきてくれたらそれでいいよ」と呼びかけ～我が子へのいとしさにあふれ	

日付	紙面	プライバシー								コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者		
12	8/1/10	朝西	○	○	○	○	●	○	○	○			『以前も度々、置き去り』容疑の母、数日間外泊も』 母親の風俗店従業員 教諭 知人女性 同級生 『以前も度々、子どもを置き去りにし、数日間、外泊した』と話している 幼児2人は～長期間、部屋に置き去りされ死亡したとみられるが～ 2人を長期間放置する育児放棄を以前から繰り返していたとみて～ ～離婚し～長女と長男を引き取った。その後、繁華街で夜遊びを繰り返すようになった。 ～ミミの風俗店に勤務し、店の寮で～暮らし始めた。 このころから、部屋に～残して外出するようになり、時には数日間、帰らないことがあったという。 ～昼夜を問わず～泣き声が、部屋の周囲に響くようになった。 インターホンの受話器を通じ、玄関～から「ママ～」という泣き叫び声が漏れるようになった。 中学時代非行に走ったが、不登校などの子どもも多く集まる東京の高等専門学校で更生、 ラグビー部のマネージャーとして活躍していた 卒業後は地元で就職、結婚と順調に歩んでいたようにみえた 3姉妹の長女。中学、髪を茶色に染め、夜の街を徘徊した。 父親は、～知人の教諭に娘を託した。～中学卒業後、この教諭の母親の家に下宿 卒業までの3年間、教諭のクラスで学び、放課後はラグビー部の世話に汗を流した 「子どもが大きくなったな」「はーい」教諭は～こんな会話を交わしたという 「元気そうだった。～がんばって卒業し、就職し、結婚し…」～逮捕については「泣きたい」と絶句 卒業後は～飲食店に就職した。間もなく地元の男性と出会い、結婚した。 犠牲になった長女、長男を授かった 知人女性「赤ちゃんを抱いて、夫と幸せそうに買い物していた」 同級生「結婚して出産し、更生したようだった」 ～離婚。幼い2人を引き取り、名古屋の飲食店で働いていた ～ミミの風俗店に勤め、店の寮に～転居した。 近くの公園に～2人を連れてきたのを見た人 子どもを遊ばせ、たばこを吸い 携帯電話の画面を眺めていた。～「ママ～」と呼んでも無視していた 数カ月後、幼い2人は母親に見捨てられ、命を失った。	離婚、年月 子どもの名前・年齢
13	8/2/10	朝大	○	○	○	●	○	○	○			『容疑者「つらい時もある、頑張らなきゃ」 放置前にメール』 母親の風俗店従業員 幼児2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕された母親の風俗店従業員、 下村早苗容疑者(23)が事件前～「お母さん」と慕う東京の70代の女性に「つらい時も たくさんあるけど、子どもの顔を見るとママとして頑張らなきゃって思うの」とメールで伝え ～女性の家に下宿～「娘」の逮捕に泣き崩れた ～父親の知人が教諭を勤める東京の高等専門学校に進学。女性はこの教諭の母親で、 中学時代非行に走った容疑者を預かった。「最初は大変だったが、厳しく育てた」 卒業後、「お母さん、3年間ありがとう」と感謝して地元に戻った。 「就職先で『よく気が付くね』とほめられた。お母さんのおかげ」と感謝のメールも届いた 「結婚式～幸せそうだった」「子どもの写真も送ってきた。丸々して本当にかわいい子だった」 ～子どもを置き去りし、2人は死亡した。メール～子どもを放置する直前～。女性の誕生日だった 女性「苦しみをくみ取れなかった。彼女は相当、悩んでいたはず。 厳しく育てたのに。悲しくて、悲しくて…」と泣いた 「大阪には育児を相談できる親しい友人がいなかった」と供述 慣れない土地で仕事や子育てに追われ心理的に孤立したとみて	父親年齢 送検	

日付	紙面	プライバシー										コメント		性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他		
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	関連・問題提起・提案・その他		その他		
															名古屋から大阪に転居し、風俗店の寮～子ども2人と暮らすように このころから育児が面倒になった～誰かに育児を託したり、相談したりした形跡はない 風俗店同僚「～『育児が大変。他の親とも交流がない』と話し～いろいろ悩んでいるのかなど～」 『子どもは宝物』ミクシィに掲載 結婚し、その後設けたとみられるページでは、子ども2人について「早苗の幼ラモノ」と表現し、 「ふたりがいるからママは幸せ」～子ども2人の手を握る写真も掲載 離婚し、その半年後～別のサイトに別のページをスタート～自己紹介の欄に 「やり直しました～せっかく女に生まれたもんhappyppyじゃなきゃね～」と～心境を書き込み	結婚、離婚の年月	
14	8/2/10	朝東	○	○	○									『育児相談できず孤立か』	送検		
														母親の風俗店従業員 幼児2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕された母親の風俗店従業員、 下村早苗容疑者(23)が「大阪には育児を相談できる親しい友人がいなかった」と供述 始めて大阪で生活～慣れない土地で仕事や子育てに追われ心理的に孤立したとみて			
15	8/2/10	朝東	○	○	○						○			『ミクシィに「ママは幸せ」』離婚後、ブログに「女に生まれたもんhappyppyじゃなきゃね～」と書き込み	送検		
														母親の風俗店従業員 幼児2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕された母親の風俗店従業員、 下村早苗容疑者(23)が、会員制交流サイト、ミクシィに複数のページを登録していた 結婚し、その後設けたとみられるページでは、子ども2人について「早苗の幼ラモノ」と表現し、 「ふたりがいるからママは幸せ」～子ども2人の手を握る写真も掲載 離婚し、その半年後～別のサイトに別のページをスタート～自己紹介の欄に 「やり直しました～せっかく女に生まれたもんhappyppyじゃなきゃね～」と～心境を書き込み	結婚、離婚の年月		
16	8/2/10	夕大	○	○	○						●	○	知人	『遺体確認後に電話 知人に「悲しみ」伝える』			
														母親で風俗店従業員 幼児2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕された母親の風俗店従業員、 下村早苗容疑者(23)が、部屋で2児の遺体を確認した後～知人男性に電話し、「大事な人を 亡くした悲しみはどうやって乗り越えればいいのか？」と話していた～かなり落ち込んだ様子だった ～事件の発覚を恐れて知人に電話した可能性も ～子どもを置き去りにして出ていき、その後2人は死亡した。	出身地の県市		
														知人男性 子どもの話を振ると「おばあちゃんの家で預けた」と～話題をすぐに変えた 落ち込んで電話～泣き出しそうな声で「友人が事故で死んだ」～励ますと、「そうだね」と答え ～1人で部屋に戻り、その後姿を消したらしい			
17	8/2/10	夕東	○	○	○						●	○	知人	『遺体確認後に電話 「大事な人亡くした』』			
														母親で風俗店従業員 幼児2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕された母親の風俗店従業員、 下村早苗容疑者(23)が、遺体発見の数時間前～知人男性に電話し、「大事な人を亡くした 悲しみはどうやって乗り越えればいいのか？」と話していた～かなり落ち込んだ様子だった ～事件の発覚を恐れて知人に電話した可能性も ～子どもを置き去りにして出ていき、その後2人は死亡した。	出身地の県市		
														知人男性 子どもの話を振ると「おばあちゃんの家で預けた」と～話題をすぐに変えた 落ち込んで電話～泣き出しそうな声で「友人が事故で死んだ」～励ますと、「そうだね」と答え			
18	8/3/10	朝大			○								○	幼児2人の遺体が見つかり、母親が死体遺棄容疑で逮捕された事件	『児相深夜勤務1人 通報→訪問10時間後』		
					○								○	虐待を疑う通報を受けながら、安否を確認できなかった大阪市子どもセンター(児童相談所)	小4虐待死事件～24時間職員派遣することに だが、午後10時から翌朝9時まで、職員1人 夜間態勢の不備も背景		
														「今も30分ほど泣き声が～」～訪問したのは通報の約10時間後 「虐待を思わせる大人の怒鳴り声などがなかった」というのが理由 住民「なぜ救えなかったのか」と自問。 20代男性 泣き声～管理会社に2.3回通報した。～事件発覚～既に2人の命はなかった	マンション住民の大半は20代の若者		

		プライバシー							コメント			その他			
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など		関連・問題提起・提案・その他
														住人有志10人がなぜ2人を助けることができなかつたかを話し合うために集まるという	『夜間出動態勢の見直しを検討』市長コメント
														呼びかけ人女性「2人の死を無駄にたくない。無関心でいるのはもうやめたい」	『臨検』活用徹底通知 都道府県に厚労省
19	8/3/10	朝東								○	○		○	虐待を疑う通報を受けながら、安否を確認できなかった大阪市子どもセンター(児童相談所)	小4虐待死事件～24時間職員派遣することに
										住人	市長			「今も30分ほど泣き声が～」～訪問したのは通報の約10時間後	だが、午後10時から翌朝9時まで、職員1人
														「虐待を思わせる大人の怒鳴り声などがなかった」というのが理由	夜間態勢の不備も背景
														住民「なぜ救えなかったのか」と自問。	住民の大半は20代の若者
														20代男性 泣き声～管理会社に2,3回通報した。～事件発覚～既に2人の命はなかった	
														20代女性「どこに連絡していいかわからなかった」	
														住人有志10人がなぜ2人を助けることができなかつたかを話し合うために集まるという	
														呼びかけ人女性「2人の死を無駄にたくない。無関心でいるのはもうやめたい」	
20	8/3/10	朝東										○	○	『安全確認徹底を通知 厚労省 虐待疑いあるケース』	『臨検』の活用の徹底など
														厚労相	09年児童虐待対応4万4210件のうち、1件
21	8/3/10	朝東	○	○										『育児放棄死 制度だけでは救えない』	子の年齢
		社説												「ママ、ママ」と泣き叫ぶ声が昼夜を問わず漏れたという	児相の対応・問題点・提案など
														冷蔵庫には飲み物もなく、死亡する数日前から何も食べていなかったらしい	臨検について
														風俗店に勤めていた母親(23)は友人宅を転々としていたという	
														母親の無責任さにはあぜんとするばかりだが	
														「育児が嫌になった。子どもなんかいなければいいと思うようになった」	
														2児を部屋に置き去りにした母親はそう供述したという	
														貧困や孤立と並んで親の未成熟が虐待の主要因に挙げられる	
														かつては未成熟な親をバックアップする親族や地域社会が存在～それらが希薄化	里親、ファミリーサポートなど
														～未成熟な親に代わって虐待された子を育てられる場を充実させることが必要	
22	8/3/10	夕東	○	○	○									『「菓子ばかり与えた」容疑者の部屋に調理、入浴品なし』	
					母親									幼児2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕された母親の	
														下村早苗容疑者(23)が、「子ども2人には菓子ばかりを与えていた」と供述	
														部屋の台所には調理器具がなく、浴室にはせっけんやシャンプーもなかった	
														子どもにまともな食事を与えず、入浴すらさせていなかった	
														子ども2人はごみが散乱した部屋で死亡～ごみはスナックなどの菓子類が多かったという	
														容疑者が食べたと思われるコンビニ弁当、カップラーメンなどの容器もあった	
														～包丁などの調理器具や食器類が一切なく、冷蔵庫の中も空だった	
														部屋には、テレビとベットだけ～子ども服は複数あったが、散乱していたという	
														浴室～日用品が何も置かれておらず、長い間、使っていなかったとみられ	
														水道もほとんど使われていないため～育児放棄をして、入浴もさせずに不潔な状態で生活させて	
23	8/4/10	朝東											○	～置き去りにされ、遺体で見つかるという育児放棄事件	動物学者モースの話を引用し
		一面、余録											記者	今、閉ざされた扉の向こうで孤立したお年寄りや子供たちに、何が起きているのか。	高齢者不明
24	8/6/10	朝大	○	○	○	●				○				部屋に閉じ込められ、飢えに渴きながら息絶えた幼い命	『連日100人以上冥福祈る』
					母親									男性と妊娠中の妻「2人はどれほどのどが渴いていたか」と手を合わせた	子どもの年齢・性別
														死体遺棄容疑で逮捕された～母親は、離婚して2人とこのマンションで暮らしていた	
														シングルマザー「1人での子育ては大変だが、どうして踏ん張れなかったのか」と悲しんだ	
														住人女性「夜中に何度か泣き声を聞いた。サインを見逃したのが悔しい」と涙を流した	
25	8/6/10	朝東	○	○	○					○				部屋に閉じ込められ、飢えに渴きながら息絶えた幼い命	『連日100人超 冥福祈る』
					母親									男性と妊娠中の妻「2人はどれほどのどが渴いていたか」と手を合わせた	『事件から1週間 お供え後絶たず』

		プライバシー							コメント			その他		
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
													死体遺棄容疑で逮捕された～母親は、離婚して2人とこのマンションで暮らしていた	子どもの年齢・性別
													シングルマザー「1人での子育ては大変だが、どうして踏ん張れなかったのか」と悲しんだ	
													住人女性「夜中に何度か泣き声を聞いた。サインを見逃したのが悔しい」と涙を流した	
													虐待を疑う通報を受けながら、安否を確認できなかった大阪市子どもセンター(児童相談所)	市が態勢強化 消防隊員を派遣
26	8/7/10	朝大	○	○	○	○							『殺人容疑で10日にも母再逮捕へ』	
				母親									幼児2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕した母親の下村早苗容疑者(23)	
													～殺人罪で再逮捕する方針	
													食べ物や飲み物を与えずに、幼い2人を密室に約1カ月間も放置～確定的な殺意を問える	
													長女と長男の遺体を捨てたとして～逮捕された	子どもの名前・年齢
													自宅を出て友人宅などを転々とし～戻って2人の遺体を確認した	
													「子どもなんかいなければいいと思うようになった。ご飯も水も与えなければ小さい	
													子どもが生きていけないのは分かっていた」と供述	
													約1カ月間、一度も自宅に戻らなかった～2人の死亡を意識していたのは明確として	
27	8/7/10	朝東	○	○	○	○							幼児2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕した母親の下村早苗容疑者(23)	
				母親									～殺人罪で再逮捕する方針	
													長女と長男の遺体を捨てたとして～逮捕された	子どもの名前・年齢
													自宅を出て友人宅などを転々とし～戻って2人の遺体を確認した	
													「子どもなんかいなければいいと思うようになった。ご飯も水も与えなければ小さい	
													子どもが生きていけないのは分かっていた」と供述	
													約1カ月間、一度も自宅に戻らなかった～2人の死亡を意識していたのは明確として	
28	8/10/10	夕大										○	幼児2人の遺体が見つかった事件を受け～虐待の現場に駆け付けることが期待され	市長が府警に「児相に警察官派遣」を要請
												府警	虐待情報の通報を受けながら、幼児の安否確認さえできなかったセンターの対応が批判され	
29	8/11/10	朝西	○	○	○	○							『殺人容疑で母再逮捕』『私が家に帰らず死んだ』	
				母親の元風俗店従業員									幼児2人の遺体が見つかった事件で、母親の元風俗店従業員下村早苗容疑者(23)	
													～殺人容疑で再逮捕した	
													長女と長男を置き去りにした状態にし、2人を衰弱死させて殺害した	子どもの名前・年齢
													自宅を出る際、2人にわずかな食べ物を与えただけだった	
													その後は、大阪市内のホテルに知人と宿泊したり、出身地～に戻っていた	出身地の県市
													2カ月近く自宅に戻らなかった～明確な殺意があったと判断	
30	8/12/10	朝西	○	○	○	○							『男性との交際優先』『育児放棄に拍車』	
				母親									幼児2人が放置され死亡した事件で、母親の下村早苗容疑者(23) 殺人容疑で再逮捕が	
													～男性と交際を始め～頻繁に外泊を繰り返すようになった	交際男性の職業
													男性との交際をきっかけに育児放棄をエスカレートさせたとみて	
													男性と短期間で別れたが、別の男性会社員と交際を始め、同様に外泊を重ねた	
													外泊先は主に男性の自宅やホテル～長い時には約1週間、子どもの元には戻らなかった	
													幼い2人を断続的に放置～生命に危険が及んでいることを認識しながら、男性との交際を優先し	
31	8/13/10	朝西	○	○	○								『長女、昨夏に一時保護』『児相、母と会えず』	
				母親									幼児2人が放置され、死亡した事件で、母親の下村早苗容疑者(23) 殺人容疑で再逮捕が	
													転居前に名古屋市で2児と暮らし～長女がマンション廊下で泣いているところを一時保護されていた	
													「育児放棄(ネグレクト)に発展する可能性がある」として～名古屋市中央児童相談所に通告	
													住民から「子どもが泣いている」と通報があり、署員が保護した	
32	8/19/10	朝西		○								投稿・男	『育児放棄事件の体制整備を』/幼児の2人の遺体が見つかり～母親の育児放棄で餓死した	他事件(奈良県桜井市で5歳男の子、両親から
		投稿		母親									子どもの安否は確認しなかった～対応に大きなミス	食事与えてもらえず死亡)/核家族

		プライバシー								コメント			その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
33	8/19/10	朝西										○	大阪市の2幼児虐待死事件に関連し～	『保護者に対する出頭要求、厚労省が基準緩和』 臨検について/厚労相が児相視察
34	8/22/10	朝西		○								投稿・女	幼児2人が死亡した事件～逮捕された母親の育児放棄が原因で、到底許されることでは～ 以前は育児に積極的だった～援助の手が差し伸べられなかったことが残念 「子どもが子どもを産んだ」という言い方もされますが、若くても頑張ろうとしている人を 応援することが大事～若い人に子育ての素晴らしさを知ってもらえる この母親は相談する人もいないと思っていたのでしょうか。でも、育児中や育児を終えた人 などに相談できる相手は周囲にいたはず～その手助けができるのはやはり行政	『踏み込んだ対応、行政に求めたい』
35	8/22/10	朝西										投稿・女	罰をうけるべきは虐待を行った親たちだが、周囲の間人も、もっと関心を持つべきだ 悩んでいるように見えたら声をかける、おかしいと思ったら通報する	『「傍観者」という共犯者になるな』 近所付き合いが崩壊し、核家族化
36	8/22/10	朝西										投稿・男	子育て拒否や子どもの虐待死 家族や社会、国を愛する考えと方法をしっかり教育する以外にない	高齢者不明/子育てと老人介護は社会全体で 地域～責任も
37	8/23/10	朝西	○	○				○				○	『母親ケアする専門家を』『閉じこもらずSOS』 大阪市で3歳と1歳の姉弟が母親に放置され、遺体で見つかる事件 人の心の中の大切なものが壊れ始めている。現代の闇の典型例～ あの母親だけの責任なのか～社会のサポートはなかったのか。 離婚して経済的にも苦しい中で2人の子を育てなければならない環境。 誰も助言してあげなかった。せめて周りから一言あれば…。 子どもたちが「ママ」と呼ぶ声がインターホン越しに聞こえるのに、教えなかった 保育所や母子家庭への経済的補助もあったのに。誰かが声をかけてほしかった。 当事者への非難に終わらせず、社会の支援が行き届いていたかと問う方に向かってほしい 同じマンションに住む人たちが「なぜ自分たちは何も行動できなかった」と悔やみ、 今後、何ができるとか会合を重ねているとか。一筋の光を見る思いです 『67%地域との接触乏しく』厚生労働省～「子ども虐待による死亡事例等」に関する報告書～ 死因は身体虐待が約8割で、約2割が育児放棄。加害者は実母59%、実父16.4%。 虐待理由は「育児不安」が4分の1。67%地域社会などとの接触乏しく、 63%は居住自治体の「子育て支援事業」を利用していなかった ▽1歳2カ月の女児を木箱に閉じ込め窒息死させた監禁致死容疑で母(21)と同居の男 逮捕(7月24日、横浜市)▽5歳の女児の首を絞めたなどの殺人容疑で母(34)を逮捕。 「洗濯機に入れ回した」とも供述(6月30日、福岡県久留米市)	特集『後絶たぬ児童虐待—ストップ「孤育て」』 教授と「子育てひろば・相談室」運営者の対談 児童虐待について、現状・問題提起など 7月発表。08年度の犠牲者数128人中、 無理心中以外の死亡者67人。うち、3歳以下が 7割を超える。最も多いのは0歳児の39人 最近起こった事件2例※男の年齢記載無し
38	8/29/10	朝毎		○									母親による2幼児死体遺棄事件を筆頭として～痛ましい事件の報道があいついでいる ～分厚い「家族の壁」をみる思いがする。この壁ゆえに緊急な介入がなされず、 死んでいった子どもたちのことを思うと無念でならない。	精神科医寄稿 『立ちほだかる「家族の壁」』 『ひきこもりと所在不明高齢者』

犯罪報道分析シート 大阪2幼児放置死事件(2010年)

新聞 読売(朝刊→朝、夕刊→夕) 大阪 東京 西部

		プライバシー										コメント	その他	
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
1	7/30/10	夕大	○	○	○								『育児放棄か 住民女性の身柄を確保』 この部屋の住人で、2児の母親とみられる女性(23)～同市内で発見、身柄を確保 女性は同僚に「子どもを放置し、死なせたかもしれない」と漏らしていたといい ～ネグレクト(育児放棄)の可能性があるとみて、事情を聴いている 部屋は、女性が勤務する風俗店が従業員用に借り上げている8畳のワンルーム 女性と娘、息子の3人暮らし 女性は「大変なことをしてしまった。子供を死なせたかもしれない」と説明 女性は約1週間前から、出勤していなかった 児童相談所「大阪市こども相談センター」には～計3回、虐待をうかがわせる通報があり、 職員が訪問したが、女性とは接触できなかったという	地図 遺体の性別・年齢 状況詳細「腐敗し～」 「死後数週間～数カ月」 「～外傷はないが、かなりやせ細っていた」 子の年齢
2	7/30/10	夕大			○		マンション			住人	○	『毎晩泣き叫ぶ声 住民「虐待疑ったが…」』 眠れないほど響く、子供の泣き声と異臭ー 同じ3階～女性 毎晩のように、子供が泣き叫ぶ声～眠れないほど～「痛い、痛い」と うめいている～管理会社に通報した。泣き声は6月頃、ぴたりと止まったという。 ～「虐待を疑い、『中で死んでいるのでは～』と心配したが、まさか～」と涙を流した 住人男性 この部屋から漂う異臭が気になった。おむつを放置したような悪臭だった エアコンは動いていなかった。室内にはカップラーメンの容器など大量のゴミが散乱し、ベランダにもあふれ 「虐待のシグナル」を把握しながら、幼い命を救うことができなかった事例は後を絶たない。 大阪府寝屋川市で、今年1月、1歳10か月の女児が両親から虐待を受け～死亡した事件 ～母親の説明を信じて、一時保護などの対応を取らなかった 東京・江戸川区で、今年1月両親からの暴行を受け、小学1年の男児(7)が死亡した事件 ～「父親の『二度と殴らない』という言葉信じた学校やセンターに甘さがあった」 センター「夜中に『ママ』と叫ぶ声が聞こえる」虐待を疑う通報があった～ 「女性や子どもの特定ができなかった」と釈明	部屋の見取り図 教授コメント「十分な調査行ったか」 センター担当課長コメント	
3	7/30/10	夕東	○	○	○							○	『姉弟か2幼児の遺体 23歳母親「死なせたかも』』 2児の母親とみられる女性が同僚に「子どもを死なせたかもしれない」と漏らしたといい ～ネグレクト(育児放棄)の可能性があるとみている 部屋は、女性が勤務する風俗店が従業員用に借り上げている8畳のワンルーム 女性と娘、息子の3人暮らし 女性は「大変なことをしてしまった。子供を死なせたかもしれない」と説明 室内ではエアコンは稼働しておらず、カップラーメンの容器など大量のゴミが散乱し、ベランダにもあふれ センター「夜中に『ママ』と叫ぶ声が聞こえる」虐待を疑う通報があった	遺体の性別・年齢 状況詳細「腐敗し～」 「死後数週間～数カ月」 「～外傷はないが、かなりやせ細っていた」 子の年齢
4	7/31/10	朝大	○	○	○	○		○	○				『「世話が嫌になった」』 『遺棄容疑で母逮捕』』 男女2人の幼児の遺体が見つかった事件で～母親の風俗店従業員・下村早苗容疑者(23) を死体遺棄容疑で逮捕 「子供の世話が嫌になり、いなければよかったと思い、2人を残して部屋を出た。 私が育児を放棄したから亡くなった」と供述 ネグレクト(育児放棄)の末に2人を死なせたとみて、殺人や保護責任者遺棄致死の容疑 自宅マンション室内に長女と長男を置き去りにして部屋を出て、数日後に帰宅した際、 2人が死んでいるのを確認したが、そのまま遺体を放置し、遺棄した疑い	子の名前・年齢

		プライバシー										コメント			その他
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など		関連・問題提起・提案・その他
													長期間、ネグレクトの状態が続いていたとみている	司法解剖結果詳細	
													2人は元夫との間の子～離婚後、旧姓に戻り、～2人を連れてこの部屋に入居	死後約1～2か月	
													室内やベランダには大量のゴミが散乱しており、冷蔵庫は空っぽだった	死亡前の数日間は何も食べていなかった	
													「ご飯をあげたり、風呂に入れたりするのが嫌になった。自分の時間が欲しかった。	やせており、栄養不足状態	
													ご飯も水も与えず、小さな子供だけで生きてはいけないことはわかっていたが、		
													『助けてやらなければ』という気にはならなかった』と供述		
													「(置き去りにしてから)1週間後には死んでいるかもしれないと思った」と話し		
													「部屋を出た後は友人宅を転々としていた。～戻ったら遺体があった。		
													それまでは怖くて一度も帰れなかった」と話したが、		
													～部屋を出た数日後に一時帰宅していたことを確認した		
													行方をくらましていたが、同僚男性に携帯電話で呼び出され～現れたところを捜査員に確保	現場の場所詳細、「若者に人気のエリア」	
5	7/31/10	朝大	○	○								○	『増加するネグレクト 子育て相談相手おらず』	容疑者が住所登録をしておらず	
													ネグレクトの定義▽子供の健康・安全への配慮を怠る▽食事、衣服などが極端に不適切	教授コメント「立ち入り要件を再検討」	
													～具体的には「乳幼児を置いての外出」「食事を与えない」などを挙げる	厚労省、児相対応件数4万2664件うち、	
													息子2人を自宅に放置し交際相手の元に走り、1人を死亡させた～07年に逮捕された	ネグレクトは1万5905件(37%)増加傾向	
													北海道苫小牧市の母親は「楽しい生活がしたかった。もう面倒を見たくなかった」と供述	ネグレクトについて厚労省担当者コメント	
													今年3月、5歳の長男を餓死させ～逮捕された奈良県桜井市の両親も「愛情がわかなかった」	児相の虐待対応件数の図	
													教授「手間暇かかることをいとう世の中で、夜泣きや病気など意のままにならない子育てに		
													耐えられず、相談する人もいない親が増えていることが背景にあるのではないか。		
													身近な人が相談に乗り、虐待が疑われるケースは勇気を持って通報すべきだ」		
6	7/31/10	朝大	○	○	○	○	○					○	『「ママ」幼い声届かず』	市緊急記者会見「反省し後悔」	
													母親	図、住民から寄せられた情報と	
													ベランダ	関係機関の対応	
													風俗店で働き	警察にも通報あった	
													市		
													「ママ、ママ」。閉じ込められた～助けを求めた幼いきょうだいの叫びは届かなかった	子の名前・年齢	
													泣き叫ぶ声や大量のゴミ。ネグレクト(育児放棄)を示すサインはあったが～最悪の事態	経歴、出身地の県市、結婚・離婚年月	
													母親の下村早苗容疑者(23)は～自宅に放置した2児について「1週間後には死んで		
													いるかもしれない、と思った」と供述、反省の言葉はないという。		
													～通報は「夜中にインターホンを使って『ママ、ママ』と長時間叫んでいる」		
													置き去りにされた長女と長男が～助けを求めていたとみられ		
													『「子供だけで生きてはいけない わかっていた」下村容疑者 反省の言葉なく』		
													～結婚～2人を出産～結婚生活破綻～離婚。～2人を引き取り～飲食店で働きながら育児		
													風俗店で働き始め、現在のマンションに転居。		
													店には子供がいることを伝え、～連れて来ることもあったが、次第に家に置いたまま仕事に		
													出るようになるなど育児がおろそかに。		
													ベランダや室内にゴミや食べかすを放置するなど家事もしなくなった		
													親や親族らに助けを求めることはなく、行政などに育児を相談したこともなかった		
													「小さな子供たちだけでは、生きてはいけないことはわかっていた」と供述		
													子供を放置して家を出た理由について「自分の時間が欲しかった」などと身勝手な釈明		
7	7/31/10	朝東	○	母親								○	部屋は汚れていい。スボウでいい。食事と健康にだけ目を配り、あとは	与謝野晶子の歌を引用	
													晶子流で図太く構える。できなかったか。		
													逮捕された母親は(23)は「育児がいやになった」～食べ物も水も与えられなかったのだろう	子の名前・年齢	
8	7/31/10	朝東	○	○	○	○		○	○			○	『2児死亡 放置の母親逮捕』『遺棄容疑「世話嫌に」自宅戻らず』		
													男女2人の幼児の遺体を放置～母親の風俗店従業員下村早苗容疑者(23)を死体遺棄容疑で逮捕		
													「子供の世話が嫌になり、いなければよかったと思い、2人を残して部屋を出た」と供述		
													ネグレクト(育児放棄)の末に2人を死なせたとみて、殺人や保護責任者遺棄致死の容疑		

		プライバシー										コメント		その他		
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など		関連・問題提起・提案・その他	
														自宅マンション室内に長女と長男を置き去りにして部屋を出て、数日後に帰宅した際、2人が死んでいるのを確認したが、そのまま遺体を放置し、遺棄した疑い	子の名前・年齢	
														2人は元夫との子～離婚後、2人を連れて入居	司法解剖結果詳細	
														エアコンは稼働しておらず、室内やベランダはカップラーメンの容器など大量のゴミが散乱し、冷蔵庫は空っぽだった。	死後約1～2か月	
														「ご飯をあげたり、風呂に入れたりするのが嫌になった。 ご飯も水も与えず、子供たちだけで生きてはいけないことはわかっていた」と話し	死亡直前数日間は何も食べていなかった	
														センター「夜中に『ママ』と叫ぶ声が聞こえる」など虐待を疑う～通報があった	栄養不足状態	
9	7/31/10	夕大	○	○	○	○						○	幼いきょうだい2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕された母親の風俗店従業員・下村早苗容疑者(23)の部屋から聞こえた子供の泣き声は～			
														子供を置き去りにして頻繁に外出するようになり、ネグレクト(育児放棄)をエスカレートさせた		
														長女と長男を連れて、勤務先の風俗店が借り上げていたこの部屋に入居	子の名前・年齢	
														泣き声～当初は夜間や未明～2人を残して仕事に出かけたとみられる		
														～昼夜を問わず泣き声～「マー、マー」と容疑者を捜すような叫び声		
														「～入居した頃から子供の世話が嫌になった。自分の時間が欲しかった」と供述		
														子供を放置して家を空ける時間が長くなり、2人が徐々に衰弱していった		
														ネグレクトするようになったきっかけを追及する		
10	7/31/10	夕東	○	○	○	○	子	○				○	男女2人の幼児の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕された母親の風俗店従業員・下村早苗容疑者(23)の部屋から聞こえた子供の泣き声は～			
														子供を置き去りにして頻繁に外出するようになり、ネグレクト(育児放棄)をエスカレートさせた		
														長女と長男を連れて、勤務先の風俗店が借り上げていたこの部屋に入居	子の名前・年齢	
														泣き声～当初は夜間や未明～2人を残して仕事に出かけたとみられる		
														～昼夜を問わず泣き声～「マー、マー」と容疑者を捜すような叫び声		
														「～入居した頃から子供の世話が嫌になった。自分の時間が欲しかった」と供述		
														子供を放置して家を空ける時間が長くなり、2人が徐々に衰弱していった		
														ネグレクトするようになったきっかけを追及する		
														虐待を疑う～通報～結果として幼い命を救うことができなかった	教授コメント 強制立ち入り制度について	
														『過去のブログにわが子への愛「可愛い娘と毎日過ごせる 本当に幸せ』	07年12月～08年4月のブログ内容	
														〈可愛い娘と毎日をのほほん過ごせることが本当に幸せ〉		
														〈子どもが元気なことほど、心が痛いことはありません〉		
														離婚前～自らのブログにわが子へのあふれる愛情をつづっていた		
														〈ハチになって1週間後、待望の娘を出産。だんだん大きくなるおなか、私はひとりじゃないんだと、		
														思わせてくれた小さな命。わが子に直面したときは、言葉にならないほど嬉しかった〉		
														長男を身ごもったことを知った～毎日のようにブログを更新		
														〈来年は、もうひとり家族が増えてお花見だなあ〉と、誕生を心待ちにしていた		
														〈桜子が無事に生まれてとなりにて、そしておなかの中には赤ちゃん。幸せに思う。		
														これってわたしも母親として少しは成長できたんだろうか〉		
														〈ただ、無事に産まれてきてくれたら、それでいいよ〉		
11	8/1/10	朝大	○	○	△	○		○	○	○	父		『「娘のサイン気づかず」梅やむ下村容疑者の父』	父 年齢・県市・仕事		
														父親「～電話で話した時は『子供も元気。ちゃんとやっている』と言っていたのに。なぜ～」		
														中学時代はいじめに遭うなどして荒れた時期も～、結婚した後は、本当に幸せそうだった		
														長女と長男を連れて遊びに来た時は、「将来、～ラグビーをさせたいな」と語り合うことも		

		プライバシー							コメント			その他		
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
													最後に会った～離婚した～「子供を中心に頑張るから大丈夫」と話し～ 時折、孫たちの写真付きメールが携帯電話に送られてきていた 仕事や転居先を教えようとはせず、「ちゃんとしているから心配せんといて」と言うばかりだった 「こんなことになるまで、サインに全く気づかなかった。相談に乗ってやることができたら…」と悔やんだ インターネット上で～ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)に会員登録し、日記や写真を掲載していた 「sakurakoとkaedeとのんびり暮らしています ～すくすく育ってくれてママはほんとにhappy」 子供の写真には「元気いっぱい大きくなあれ」「早苗の効ヲモ 可愛すぎるるる～」など書き込み 公園で～何度か言葉を交わした～主婦は、5歳と3歳の息子を伴って～「食べ盛りの 子供が何も与えられず、暑い部屋に閉じ込められて亡くなるなんてむごすぎる」と涙ぐんだ 2人の子供がいる主婦「7歳の娘がニュースを見て『かわいそう』と言っていた。 どれほど苦しかっただろう。同じ母親として絶対に許せない」と憤った	離婚年月
12	8/1/10	朝大	○	○	○	○					○		『「ホスト遊びで育児嫌に」』 複数の店をはしごするなどし、2～3日間外泊 複数のホストと交際 幼いきょうだい2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕された母親の 風俗店従業員・下村早苗容疑者(23)～「ホストクラブで遊ぶのが楽しくて育児が面倒になった。 もっと遊びたくて家を出た」と供述 ホストクラブ通いにはまったことが、ネグレクト(育児放棄)の直接動機になったとみて 風俗店で働き始めた前後から周辺のホストクラブに通い始めた 複数の店をはしごするなどし、～部屋に残したまま、2～3日間、外泊することも 複数のホストと交際していた～置き去りにして家を出ていった後は、友人宅などを転々とし～ 2人のことは「実家に預けた」と答えていたという	子の名前・年齢 妹あり 地元の県名
13	8/1/10	朝東	○	○	○		子	○	○		父		『「ホストクラブ楽しくて」』『2児遺棄容疑の母 4月頃から数日間外泊』 幼児2人の遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕された母親の 風俗店従業員・下村早苗容疑者(23)～「ホストクラブで遊ぶのが楽しくて育児が面倒になった。 もっと遊びたくて家を出た」と供述 ホストクラブ通いにはまったことが、ネグレクト(育児放棄)の直接動機になったとみて 風俗店で働き始めた前後から周辺のホストクラブに通い始めた 複数の店をはしごするなどし、～部屋に残したまま、2～3日間、外泊することも 複数のホストと交際していた～置き去りにして家を出ていった後は、友人宅などを転々とし～ ～昼夜を問わず泣き声～「ママ、ママ」と母親を捜すような叫び声が響いていた ドアの縁に、粘着テープが貼られた跡～子供たちが室外に出ないようにしていたとみて 『容疑者の父「なぜ」』 父親「～電話で話した時は『子供も元気。ちゃんとやっている』と言っていたのに。なぜ～」 中学時代はいじめに遭うなどして荒れた時期も～、結婚した後は、本当に幸せそうだった 最後に会ったのは離婚した～「子供を中心に頑張るから大丈夫」と話し～ 時折、孫たちの写真付きメールが携帯電話に送られてきていた 仕事や転居先を教えようとはせず、「心配せんといて」と言うばかりだった 『「子どもが元気ないと心が痛い」』『過去のブログにわが子への愛』 <子どもが元気ないことほど、心が痛いことはありません> 離婚前～自らのブログにわが子へのあふれる愛情をつづっていた <ハタチになって1週間後、待望の娘を出産。だんだん大きくなるおなか、私はひとりじゃないんだと、 思わせてくれた小さな命。わが子に直面したときは、言葉にならないほど嬉しかった>	父 年齢・県市 離婚年月 07年12月～08年4月のブログ内容

		プライバシー										コメント			その他
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他	
													長男を身ごもったことを知った～毎日のようにブログを更新 〈来年は、もうひとり家族が増えてお花見だなあ〉 〈桜子が無事に生まれてとなりにおいて、そしておなかの中には赤ちゃん。幸せに思う。これってわたしも母親として少しは成長できたんだらうか〉 ～結婚～離婚。子供2人を引き取り～大阪に転居～飲食店で働いた～ 風俗店で働くようになった。店には子供がいることを伝え、～連れて来ることもあったという	経歴、出身地・縣市、結婚・離婚年月	
14	8/2/10	朝大	○	○	○	○	○					○	『母親を送検』『2か月入浴・炊事せず 水道使用量ほぼゼロ』 「～2人を残して外泊を繰り返していた」と供述 部屋での生活実態がなく、2人の風呂や食事の世話もしていなかったとみている 食器類がまったくなく、弁当のゴミが散乱していた	関係者による水道使用量詳細 市水道局コメント 使用量について	
													母親の風俗店従業員		
15	8/2/10	朝東	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	『水道使用2か月「0」』『風呂、食事世話せず?』 母親の風俗店従業員・下村早苗容疑者(23)は「～2人を部屋に残して外泊を繰り返していた」と供述 部屋での生活実態がなく、2人の風呂や食事の世話もしていなかったとみている 「～入居した頃から子供にご飯をあげたり、風呂に入れたりするのが嫌になった」などと供述 『親代わりの恩師「常識教えたが」』 中学時代、荒れた生活を送っていたが、～親代わりの教諭のもとで立ち直る姿を見せ 教諭「大切な(娘)だった。社会常識を教え、厳しく育ててきただけにショック～」と目を潤ませた 友人ら 中学時代、髪を茶色に染め、授業をさぼるなど素行の悪さが目立った 容疑者の父親が、知人だった教諭に「面倒を見てほしい」と依頼～進学 教諭の母親宅に下宿。当初は反抗し、家事を手伝うことこともなかった。 肉親のように向き合う教諭や母親の姿に次第に心を開き、髪も自ら黒に染め直した 教諭が監督を務めるラグビー部のマネージャーを務めた。 無断欠勤もなくなり、卒業時は、「人生で一番充実した3年間だった」と話した。 結婚前には夫となる男性を紹介するために東京へもきた。 子供を抱く姿に「いい母親になった」と安心した。しかし、～離婚後は連絡が途絶えた。 逮捕をニュースで～「1回でも連絡すれば良かった。何があったのか」と声を詰まらせた	関係者による水道使用量詳細 市水道局コメント 使用量について 教諭の年齢 不登校の生徒を積極的に受け入れている、東京の専修学校に進学 父親の年齢 教諭へ取材、経歴詳細 離婚の年月	
													母親の風俗店従業員		
16	8/2/10	夕大	○	○	母親	○		○	○				『友人に「ちゃんと子育て」 逮捕半月前 良い母演じる』 母親の下村早苗容疑者(23)(逮捕)が～複数の友人に会い、2人の写真を見せながら 「ちゃんと子育てしているよ」と「良き母」を演じていたことがわかった。 逮捕直前には、別の友人に誕生日を祝う電話をかけていたことも判明。 この時点ですでに2人の死亡を知っていたとみられ、～放置していた間の心理を詳しく調べる 結婚～出産。離婚した後は、名古屋や大阪を転々とした 中学時代の友人女性 ～子供を連れていなかったため、「子供をほったらかしにしてるんじゃないの」とただと、～笑顔で「ちゃんと子育てしているよ。～親類に預けてきてる」と答え、携帯電話に保存した子供の写真を見せた。「最近、遊び歩いている様子だったので育児放棄を心配していた。こんなことになっていたなんて」と声を詰まらせた 子育てサークルで意気投合し～近況を報告し合っていた鈴鹿市の主婦 ～容疑者に会った。特に変わった様子はなかった～「遅い時間に出掛けたりしていたので、子供のことが気になっていた。以前から子育ての相談に乗ってもらっていたのに、育児を放棄していることに気付かず悔しい」と胸中を吐露した いったん帰宅した際、2人が死亡しているのを確認。	出身、縣市名/結婚・出産・離婚の年	

		プライバシー										コメント			その他
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など		関連・問題提起・提案・その他
													事件が発覚し警察に行方を追われていた翌30日～誕生日を迎えた同級生の男性に電話し、「おめでとう」と言葉を掛けていたという。		
													男性の母親は「友達を思いやる心を持っていた子だったのに…」と話した。		
17	8/2/10	夕東	○	○	母親	○		○				○	『「ちゃんと子育てしている」 母親、逮捕半月前に友人に』		
													母親の下村早苗容疑者(23)(逮捕)が～複数の友人に会い、2人の写真を見せながら「ちゃんと子育てしているよ」などと語り、良き母を演じていたことがわかった。		
													この時点ですでに2人の死亡を知っていたとみられ、～放置していた間の心理を詳しく調べる		
													結婚～出産。離婚した後は、名古屋や大阪を転々とした		出身、県市名/結婚・出産・離婚の年
													中学時代の友人女性 ～子供を連れていなかったため、「子供をほったらかしにしてるんじゃないの」とただすと、～笑顔で「ちゃんと子育てしているよ。～親類に預けてきてるだけ」と答え、携帯電話に保存した子供の写真を見せ～「最近、遊び歩いている様子だったので育児放棄を心配していた。こんなことになっていたなんて」と声を詰まらせた		
													子育てサークルで意気投合し～近況を報告し合っていた鈴鹿市の主婦		
													特に変わった様子はなかったという。「遅い時間に出掛けたりしていたので、子供のことが気になっていた。育児を放棄していることに気付かず悔しい」と胸中を吐露した。		
18	8/3/10	朝東			母親							○	母親の遺棄時放棄で儂い人生を終えた幼子がいいて、崩壊した「家族」のニュースが見ついた		高齢者不明
													編集手帳		
													記者		
19	8/3/10	朝東		○	○							○	孤立した育児の危険性はつとに指摘～孤立が招いた無責任な育児放棄で残酷の極み		子の名前・年齢
													まだ23歳の未熟な母親の無軌道ぶりに暗然とする。		「～寄り添うように死んでいた」
													離婚して、～風俗店で働き、育児のは孤立無援だった状況と思う。		「～可愛い名前に不憫が募る」
													二人を置き去りにしてホストクラブで遊び回る。マンションの水道使用量が2月で「0」		児童相談所の強制立ち入り～
													ベランダにはゴミの山。虐待を疑わせる通報が～この残酷な結果となった		「不憫な子供の残酷物語に終わりはない」
													この母親は周囲に何も相談せず、ゆがんだ自立を続けていた。		
20	8/3/10	朝東		○	母親							○	3歳と1歳の幼い姉弟が水も食べ物ない部屋で寄り添うように死んだ。		「児童虐待多発」
													猛暑の中、1か月以上、2人を置き去りにした23歳の母親は～		『立ち入り調査権を機能させよ』
													「ホストクラブで遊ぶのが楽しく育児が面倒になった」と話しているという		
													目を覆いたくなるような、子どもの虐待事件が相次いでいる		
													～母親に手足を縛られて洗濯機に入れられるなどの虐待を受け、命を奪われた。		他虐待事件 県市名・子の性別・年齢
													～母親らによって～木箱に閉じ込められ、窒息死した。		※3例中、母親2件・父親1件
													最近の事件の陰惨さを見ると、児童虐待は深刻化している印象をぬぐえない。		09年、児童虐待件数/問題点/提案など
													姉弟のケースも、泣き声を聞いた～何度も通報を受けたのに～		通報の全国共通電話番号
21	8/3/10	朝東										○	幼児2人の遺体が放置された今回の事件～通報があり～安否が確認できず放置していた		『児童虐待の通報 安否確認を要請』
													『厚生省が都道府県へ』/強制立ち入りについて		
22	8/3/10	夕東	○	○	○								『相談所の手紙 室内に 4～5月 2通開封され放置』		
													手紙は開封されていたが、死体遺棄容疑で逮捕された母親の風俗店従業員・		手紙について 入れた月日など
													下村早苗容疑者(23)から同センターへの連絡はなかった。		内容「子供が泣いている知らせを聞き、
													この時点ですでに、育児への意欲を失っていたとみている		調査しています。連絡下さい」
23	8/4/10	朝東			母親								投稿・女 幼い子供2人が母親に置き去りにされ、死亡するという痛ましい事件		『児童相談所 命救える権限を』
													親による虐待事件が相次いでいるが、抵抗できない子供の命が		
													保護すべき親によって奪われるのは異常だ		
24	8/4/10	朝東											投稿・女 『育児は孤独で大変 母親支援策考えて』 6か月の～母親～心から我が子がかわいいと思えます～どうして周囲が母親のSOSに気づいてあげられなかったのか残念でなりません		
													これ以上不幸な親子を出さないため、母親への支援策を考えてほしいです		

日付	紙面	プライバシー								コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他	
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者			
25	8/4/10	朝東											デスク	～幼児2人が遺体で発見される事件に対し、30通近い投書が寄せられ	事件に至る前に阻止する態勢作りの必要性
		投書													
26	8/4/10	朝東	○	○	△								○	『未成熟な親 相次ぐ虐待』『10～20歳代 身勝手な動機多く』 未成熟な若い親による虐待事件が止まらない。 幼い姉弟2人の遺体を遺棄したとして逮捕された下村早苗容疑者は23歳。 下村容疑者は19歳で結婚、20～21歳で2人を産んだ。 ブログなどで母としての喜びをつづっていたが、離婚後は育児を放棄するようになり、 ～「遊ぶのが楽しくて育児が面倒になった」と供述	厚労省虐待死調査(08～09年) 実父と実母の年齢層「10～20代がほぼ半数」 府警 今年摘発10件12人のうち 11人が10～20歳代。 NPO理事コメント「出産や育児の教育を」 教授「行政、異変をつかむ体制づくりを」
					文中に母										
27	8/5/10	夕朝	○	○	母親									『母を再逮捕へ 殺人容疑』 母親の下村早苗容疑者(23)(逮捕)について、殺人罪で再逮捕する方針 1か月以上、2人を放置したまま家を空けていたことが判明 2人に長期間食事や水を与えなければ死亡することを～認識していたと判断 家を出た後、～一度も帰宅していなかったことが裏付けられたという	
28	8/6/10	朝東	○	○	○	○	○	○	○	友人				『幸せママ転落』『1人で子育て何もかも嫌』『ホストクラブ通い大騒ぎ』 逮捕された母親の下村早苗容疑者(23)は結婚、出産と一時は幸せをかみしめた時期もあった インターネットのサイトに子供への愛情をつづっていた「ママ」は激変した 府警の調べに、わが子への思いを吐露することはまだないという 6月以降～何度も帰郷し、友人と遊び歩いた。 逮捕される約1週間前には、3日間ほとんど眠らず大はしゃぎし、電話をかけ続けた。 友人は「異常なハイテンションだった」と話す。 サイトの書き込みも頻繁に。～海岸で友人らとはしゃいだりする様子を写真で紹介した。 だが、子供についての記述は一切なくなった。 くせっかく女に生まれたもんhappyじゃなきゃね～」と自己紹介～母親の面影はなく、 友人がメールで「子供はどうしたの」と聞いても、返信はなかった。 結婚、翌年、長女～、次の年、長男をもうけた。 かわいい服を着せ、家事にも熱心に取り組んだ。 育児サークルにも入り、周囲からは「人が変わった」と評判になった。 ブログなどには、くすくす育てられてママはほんとにhappyなどと書き込んだ。 順調に見えた生活は、わずか2年半で終わった。 育児を夫や義父母に任せ飲み歩くこともあり、自身の交友関係が原因で離婚 2人を引き取り、～キャバクラで働き始めた。～ホストクラブにたびたび姿を見せるようになった 店では安い酒を注文し、大騒ぎしていたという。 「待遇がいいから」と～風俗店で働くようになった。 2人と～暮らし始めたが、～外泊を繰り返すようになり～すべてを投げ出した 「始めて一人で子育てをしなければならなくなり、何もかも嫌になった」。～こう供述	出身地の県市名 海岸名 専修学校卒業後、料理店に就職 結婚の年月/子の名前・年齢 離婚の年月
					母親										
					風俗店で働く										
29	8/6/10	朝東	○	○	母親									『殺人容疑 母を再逮捕へ』 母親の下村早苗容疑者(23)(死体遺棄容疑で逮捕)について、殺人罪で再逮捕する方針 1か月以上、2人を放置したまま家を空けていたことが判明した 2人に長期間食事や水を与えなければ死亡することを～認識していたと判断 家を出た後、～一度も帰宅していなかったことが裏付けられたという 「ご飯も水も与えなければ、小さな子供が生きいくことはできないことはわかっていた」と供述 「～家を出た。1週間くらいで帰るつもりだったが、遊んでいるうちに延びた。 『死んでいるかもしれない』と思ひ余計に帰れなくなった」と話した。	

日付	紙面	プライバシー								コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者		関連・問題提起・提案・その他
													母親を殺人容疑に問う異例の展開となった	
													コンビニ店で購入した少量のおにぎりなどしか残さずに～「自分の時間が欲しい」と幼子2人を残してマンションから立ち去った。～衰弱死したとみられている。	
													「私のご飯を作らず、飲み物も与えなかったので死んでしまった。2人が自力で用意できないことはわかっていた。」と供述	
													「子供たちは私を恨んでいると思います」～明確な謝罪の言葉はまだない。	
													府警幹部は「母親というより遊びたい盛りの子という印象」と首をかしげる	
39	8/11/10	夕大	○	○	○								『2児死亡の母 放置前も1週間家空ける おにぎり置き立ち去る』	
													2人を置き去りにする直前も約1週間、自宅を空けていた	
													いったん自宅に戻ったが、1食分の食料を置いて再び立ち去り～2か月近く、一度も帰宅しなかった	
													「美容院に行った日から帰らなかった」と供述	子の名前・年齢
													2人を置き去りにする約1週間前から～友人らと飲食するなど遊び歩き～いったん帰宅。	故郷の県市
													コンビニ店で購入したおにぎりなどを置き、すぐに立ち去ったという	
													その際の2人の様子について～「いつものようにハイタッチをしてこず、元気がなかった」	
													「～数日間家を空けることが多くなり、家には2人に食べ物を与えるためだけに帰っていた」と供述	
													水道や電気、ガスはほとんど使われておらず、～育児を放棄し、外泊を繰り返していたとみて	
40	8/11/10	夕東	○	○	○								『1食分置き再び立ち去り 母親2か月間帰宅せず』	
													2人を置き去りにする直前も約1週間、自宅を空けていた	
													いったん自宅に戻ったが、1食分の食料を置いて再び立ち去り～2か月近く、一度も帰宅しなかった	
													「美容院に行った日から帰らなかった」と供述	
													友人らと飲食するなど、遊び歩き、帰宅。購入したおにぎりなどを置き、すぐに立ち去った	
													その際～様子について～「いつものようにハイタッチをしてこず、元気がなかった」	子の名前・年齢
41	8/12/10	朝東	○	○	○								長女が～当時自宅のあった名古屋市内のマンションで～保護され	『愛知県警が昨年長女を保護』
													離婚した後、～託児所に子供を預けてキャバクラで働き始め、～風俗店で働いた	『相談所は面会でせず』
													「～子どもが泣いている」と～通報があり～署員が保護～引き取りに来た下村容疑者が	長女の名前・年齢
													「深夜にキャバクラで働いている」と話し～「育児放棄(ネグレクト)に発展する可能性がある」として	名古屋市内コメント「対応に問題なかった」
													児相が～電話～「生活には困っていない。折り返し電話する」と答えが、その後連絡はなかった	
42	8/12/10	夕東	○	○	母親								2人が外に出られないように自宅のドアに粘着テープを張っていた	『扉にテープ 名古屋でも「出歩きの防いだ』』
													長女が～保護された～「勝手に歩きの防ぐためだった」と供述	子の名前・年齢
													置き去りにした際も、ドアに粘着テープを張ったため、2人は～水も飲めず、トイレにも行けない状態	
													離婚後、～3人で生活していた時から、2人を部屋に残して外出する際にドアにテープを張っていた	
													「楓を風呂に入れている間に桜子が外に出て迷子になったことがあったので、安全のためだった」	
43	8/13/10	朝東 特集	○	○	○								～置き去りにした事件。食べ物もないまま亡くなった2人は～	特集記事「届かぬ叫び」4「通報ためらう住民」
													マンションの住民～「ママと叫ぶ声を聞いていた」	子の名前・年齢/通報について
													女性「虐待かと思ったが、どこに連絡していいのかわからなくて迷った」	虐待2例(両親) 県市・子の名前・年齢・概要
44	8/13/10	朝東 緩和急題											啄木は立派ではなかったけれど、真つ当なお父さんだった	社会部次長『続く児童虐待』
													部屋にはごみが散乱し、腐臭が漂っていた。胃や腸は空っぽで栄養失調状態だった。	児童虐待を石川啄木の歌と関連させ
													足の踏み場もない部屋で、泣きながら親をさがしたに違いない。	子の名前・年齢
45	8/14/10	朝大	○	○	○								『犯行許せない。でも孤独 シングルマザーの重症』	
													子供を置き去りにして外泊を続けた理由を「始めて一人で子育てをしなくてはならず、何もかもが嫌になった」と供述	
													同様に夜の繁華街で働くシングルマザーたちは、事件や子育てをどう感じているのか、思いを聞いた	

		プライバシー							コメント			その他		
日付	紙面	氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族	識者	性役割やセクシュアリティに関する表現など	関連・問題提起・提案・その他
													「犯行は許されないが、追い詰められる気持ちはわからなくもない」 「誰かに助けを求めると一人で頑張れなくなる」—それぞれの言葉に複雑な心境がにじむ ラウンジ勤務の掃りに長男(1)を迎えにきた女性「子供の寝顔を見ると疲れが吹き飛ぶ。 放置して遊び歩くなんで理解できない」～育児に追い詰められる心境は「人ごとではない」 出産後、まもなく離婚。周囲に頼れる人もなく～今は女友達と～気持ちも楽になった 「一人で抱え込まないことが大事だと思う」女性は腕の中の寝顔をほほ笑みかけた	
													「何かあると、『やっぱり一人親やからアかんねん』と言われる。それが嫌で、つい無理してしまう」 長男(1)～飲食店員の女性は周囲の厳しい視線が気になるという。 同居していた男性から家庭内暴力を受け、妊娠9か月目で家を出た。 育児に追われる毎日～子育てのサバで～孤独を紛らわしている。 離婚後、転居先の住所を親にも教えず、育児についてSOSを発することもなかった下村容疑者 「誰かに助けを求めると、張りつめた糸が切れ、一人で頑張れなくなるかも、という怖さがある。 (容疑者も)最初は同じ気持ちだったのでは。」	
													4歳男児の母親 日中は会社、夜は実家に子供を預けキャバクラ店に出勤する。 「20代前半が一番遊びたい年頃。すべてを投げ出したい気持ちも少しは分かる気がする」 利用者の半数がシングルマザーの24時間制託児所～園長「夜に働くシングルマザーは周囲と生活サイクルが異なるため『ママ友』も作りにくく、孤立しがち」 自らもスナック経営と育児の両立に悩み～「一人で子育てする母親の助けになれば」と～開園 (写真)～未明の託児所。子どもらは夢の中で母の迎えを待つ	
46	8/16/10	朝東 投書										投稿・女	養育里親～母親に虐待され、パジャマ姿で保護された～男の子もいた 幼児2人が置き去りにされて死亡した大阪の事件を機に～	『里親制度の存在知って欲しい』
47	8/17/10	朝東 特集		母親								○	児童虐待の悲劇が後を絶たない中、～3歳と1歳の姉弟がマンションの一室に放置され 死亡し、母親が逮捕された事件は、社会に衝撃を与えた。 教授、厚労省の児童虐待専門委員会委員長 ～母親が逮捕された大阪の事件では、 結果論で言えば、児童相談所の対応が甘かった 『母を孤立させる社会』/精神科医、教授 子供をマンションに閉じ込めることで、 物理的に子供をいないことになってしまったケースだが、～完全に孤立状態にある 母親の場合、十分起こり得る事件だ NPO児童虐待～ネットワーク理事長、教授 大阪の事件は、ネグレクト(育児放棄)の 極端なケースで、緊急対応が必要だった	特集記事「届かぬ叫び」『識者に聞く』 『児童相談所の整備急げ』
48	8/20/10	朝大										○	大阪市西区のマンションで幼い姉弟2人の遺体が見つかった事件を受け、自殺防止活動 をする市民グループは～シンポジウム「大阪西区の虐待ケースを通じて～」を開いた。	『親の孤立、虐待どう防ぐ 地元市民団体がシンポジウム』
49	8/20/10	朝西 編集手帳										○	子を死に追いやる育児放棄の母がいて、この夏も“蚊いらず”が世を騒がせた	食品偽造
50	8/24/10	朝西 文芸		○ 母								○	幼い2児が放置されて死亡し、死体遺棄などの容疑で母(23)が逮捕～「ママー、ママー」と叫ぶ声 子供を持つ多くの親は、このニュースを胸を引き裂かれる思いで受け止めたのではないか 異常な事件が相次ぐ世の中だ。命や心を大切に扱った作品を読みたい。	文芸月評 文化部記者 『小さな命を育む困難』
51	8/27/10	朝西		母親								○	3歳と1歳の姉弟が母親に放置され死亡した事件	『児童虐待疑い 強制立ち入り 親子名不明でも可能 厚労省見解』

犯罪報道分析シート

栃木自動車運転過失致死事件(2009年)

新聞 下野

No.	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他	
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族		識者	関連・問題提起・提案・その他
1	10/5/09													『畑に女性の遺体』『着衣乱れ 20~30代か』 女性は20~30代とみられ/着衣に乱れがあった 女性はグレーの長袖ワンピース姿。黒のタイツに黒のスニーカー ワンピースは脚の付け根までまくれ上がっていた 女性は身長166センチくらいのやせ形	地図 女性の遺体発見現場 写真 女性の遺体が発見された現場を捜索する捜査員
2	10/6/09		○	○	○	○		○						『宇都宮の畑 女性死亡』『はねた容疑で女逮捕』 女性の遺体が見つかった事件で、女性を車ではねたとして 新宮さんを知る女性「モデルみたいな人で存在感のある人だった」 別の女性「きれいな人でカスマ店長としてお客さんからも人気があった」	新宮さんは、市内の若者に人気の洋服店で働いており、5日が27歳の誕生日だった ひき逃げの疑いもあるとみて捜査
3	10/7/09		○	○	○	○								『宇都宮の畑 女性死亡』	『フロントガラスに毛髪』『ひき逃げ容疑送検も視野』 現場を見ていた目撃情報/修理工場に、車の処分を依頼
4	10/8/09		○	○	○	○								『宇都宮の畑 女性死亡』 『車運転過失致死で逮捕の女 ひき逃げ容疑でも送検』	はねたことに気づきながら現場を離れた疑いがあるとみて
5	5/21/10		○	○	無職	○								『女性死亡事故で初公判』 軽自動車で女性をはねて死亡させ逃走した	『被告、ひき逃げは否認』
6	6/15/10		○	○	無職	○								『宇都宮の女性死亡ひき逃げ』 軽自動車で女性をはねて死亡させ逃走したとして	『懲役4年を求刑』
7	7/13/10		○	○	無職	○								『宇都宮の女性ひき逃げ死亡』 軽自動車で女性をはねて死亡させ逃走したとして	『ひき逃げの故意認めず』『被告に猶予付き判決』

新聞 朝日

No.	日付	紙面	プライバシー							コメント			性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他		
			氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族		識者	関連・問題提起・提案・その他	
1	10/5/09													『休耕田に女性遺体』『仰向け、20~30歳』 仰向けの状態で死んでいる女性/女性は、20~30歳で身長約160センチのやせ形 目立った外傷はなく、グレーのワンピースに黒のスニーカーを身につけていた 女性の身元がわかるものなどは確認されていないという		
2	10/5/09	栃木												『休耕田に女性の死体』 20~40歳くらいとみられる女性が死んでいる 着衣に不自然な乱れがあり、靴も履いていなかった〜事件の可能性が高いとみて 女性が仰向き状態で倒れていた/女性の身元の確認を急いでいる	事件や事故に巻き込まれた可能性が高い	
3	10/5/09	夕刊												『宇都宮の女性遺体 26歳会社員と判明』 女性の遺体が見つかった事件で	はねられ死亡/逮捕/道交法違反(ひき逃げ)容疑も視野に	
4	10/6/09		○	○	○	○								『休耕田の遺体は近所の26歳』/見つかった女性の遺体は 付近男性「夜は街灯も少なく暗くて見通しは悪く、危ない」 近所の女性「彼女の親のことを思うとつらい」	地図/『過失致死容疑者逮捕』『翌日、車を修理に』	
5	10/6/09	栃木	○	○	○	○		○								
6	10/8/09	栃木	○	○	○	○										『容疑者を送検 ひき逃げでも』

新聞 毎日

日付	紙面	プライバシー										コメント	性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他	
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族				識者
1	10/5/09													『水田に女性遺体』『20～30代』 水田に女性が倒れている/20～30代とみられる女性があおむけに倒れており 遺体に目立った外傷はないが、着衣が若干乱れていたという	
2	10/5/09	栃木												『宇都宮に女性の遺体』 若い女性の遺体が見つかり/女性は20～30代とみられ	『事件の可能性も』『周辺住民ら不安な表情』
3	10/5/09	夕刊												『畑の女性遺体は 26歳の会社員』/見つかった女性の遺体について	
4	10/6/09		○	○	○	○								『ひき逃げ容疑で40歳の女を逮捕』 『宇都宮の女性遺体』	
5	10/6/09	栃木	○	○	○	△	○	○						『宇都宮の女性遺体』『逮捕の女、事故翌日に車修理』 容疑者は昼間は保険会社で働く一方、清掃業のアルバイトを掛け持って 近所女性、同世代の娘を持ち「親の気持ちを考えるといたたまれない」	生きていれば27歳を迎えたはずだった 新宮さんの誕生日～緊急逮捕 証拠隠滅を図ろうとしていたという
6	10/8/09	栃木	○	○	○	○									『宇都宮ひき逃げ 容疑者を送検』
7	5/21/10	栃木	○	○	無職	○								車にはねられた女性が遺体で見つかった事件	『死亡ひき逃げ事件 起訴内容一部否認』
8	6/15/10	栃木	○	○	無職	○								車にはねられた女性が遺体で見つかった事件 弁護側「～人が徒歩で移動する時間とは考えにくい」	『昨年10月の死亡ひき逃げ』 『ひき逃げに猶予判決』
9	7/13/10	栃木	○	○	無職	○								車にはねられた女性が遺体で見つかった事件	

新聞 読売

日付	紙面	プライバシー										コメント	性役割やセクシュアリティに関する表現など	その他 関連・問題提起・提案・その他	
		氏名	年齢	職業	住所	顔写	写真	経歴	家族	周囲	家族				識者
1	10/5/09													『畑に女性の遺体』 女性があおむけの状態に倒れている/女性は既に死んでいた 女性は身長1メートル66でやせ形。20～30歳代とみられる。 目立った外傷はないという 茶色の長髪で、緑色の長袖ワンピースと黒いタイツを着て、黒いスニーカーを履いていた	事件に巻き込まれた可能性もあるとみて
2	10/5/09	夕刊												『変死女性は 26歳会社員』 畑であおむけに倒れて死亡しているのが見つかった女性について	事件に巻き込まれた可能性もあるとみて
3	10/6/09		○	○	○	○								『女性死亡で会社員逮捕』	道交法違反(ひき逃げ)でも調べる
4	10/6/09	栃木	○	○	○	○		○						『女性、散歩中はねられたか』/女性の遺体が見つかった事件 容疑者「女性に気付かなかった」 家族が「娘の着衣と似ている」と110番、身元を確認	『ひき逃げ容疑でも捜査』 5日は新宮さんの27歳の誕生日だった
5	10/8/09	栃木	○	○	○	○								女性が車にはねられ、畑で遺体で見つかった事件で	『ひき逃げ容疑でも送検』 人をはねたことに気付いていたとみて
6	5/21/10	栃木	○	○	○	○								車にはねられた女性の遺体が見つかった事件	『ひき逃げは否認』 はねて～そのまま逃げたとしている
7	5/28/10	栃木	○	○	○	○								車にはねられた女性の遺体が見つかった事件	『署名押印拒否した』被告人質問主張/検察官から『遺族が聞いたなら反省していないと思うよね』と言われて署名した
8	6/15/10	栃木	○	○	○	○								車にはねられた女性の遺体が見つかった事件 女性会社員(当時26歳)の母親「対応に不審がぬぐえない。実刑を望む」	『懲役4年求刑』 検察側、廃車する手続き～証拠隠滅悪質
9	7/13/10	栃木	○	○	○	○								女性の遺体が見つかった事件で	『ひき逃げは認めず 執行猶予付き判決』